

第3期 緑区地域福祉推進計画

みどりのわ  
さ、え愛  
プラン

# 令和元年度 推進状況報告書



令和2年3月

横浜市緑区役所 横浜市緑区社会福祉協議会  
緑区地域ケアプラザ・地域包括支援センター

# 第3期緑区地域福祉保健計画 「みどりのわ・ささえ愛プラン」 推進状況報告書

## 活用の仕方



第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、各地区の特徴を踏まえた「地区別計画」、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等が地域と協働し取り組む「区域計画」、さらに、それらを総括する基本的指針である「全体計画」で構成されています。

地域の課題解決に向け、区民・事業者・行政が協働して計画を推進していますが、その概要を年度毎に「推進状況報告書」としてまとめ、冊子を発行しています。

### 1 計画の概要を知りたい!

- 「第1章 計画の概要」をご参照ください  
緑区の地域福祉保健計画の経過や計画の内容、特徴や、年度に取り組んだ事業などを紹介しています。



「地区別計画推進状況の一覧 (P.12) から、気になる取組を発見!

取組の内容や推進状況を細かくチェック!

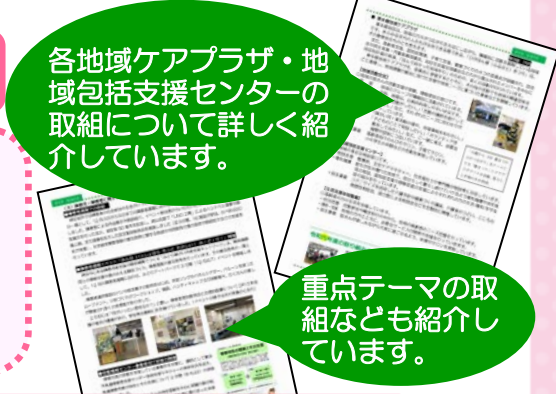
### 2 自分の住んでいる地域の取組を知りたい!

- 「第2章 地区別計画」をご参照ください  
区内11地区それぞれの概況や人口データ、地区別計画推進策定委員会通信などをまとめています。特徴的な取組や推進状況が掲載されている通信は、自治会で班回覧などもしています。
- 他の地区の取組も参考になります  
「第2章 地区別計画」では、地区別計画推進策定委員会の開催状況を一覧でまとめています。「地区別委員会での検討概要」を参考に、気になる取組をチェック! してみてください。



### 3 緑区全体の取組や推進状況について知りたい!

- 「第3章 区域計画」をご参照ください  
「地区別計画」の取組支援を目的とした「地区支援目標」と、区域での必要な取組として選定した「6つの重点テーマと目標」で構成される「区域計画」の主な取組などを紹介しています。



各地域ケアプラザ・地域包括支援センターの取組について詳しく紹介しています。

重点テーマの取組なども紹介しています。

**お問合せ先電話番号**  
● 緑区福祉保健課 事業企画担当  
電話 045-930-2304  
FAX 045-930-2355  
● 緑区社会福祉協議会  
電話 045-931-2478  
FAX 045-934-4355

### 4 他にどんな情報が載っていますか?

- 「参考」ページに地域ケアプラザ・地域包括支援センターの一覧をのせています。  
福祉や保健に関することや、地域活動に関する情報提供などを行っている身近な施設としてご活用ください。



# 令和元年度 推進状況報告書

## 目次



### 第1章 計画の概要

1	地域福祉保健計画とは	1
2	緑区地域福祉保健計画	1
3	第3期計画の内容と特徴	4
4	第3期計画の推進と第4期計画の策定に向けた取組について	8

### 第2章 地区別計画

1	「地区別計画」の推進について	11
2	東本郷地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	13
3	鴨居地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	19
4	竹山地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	25
5	白山地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	31
6	新治中部地区 地域と主な取組 通信 (No.6・No.7)	37
7	三保地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	43
8	山下地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	49
9	新治西部地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	55
10	十日市場団地地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	61
11	霧が丘地区 地域と主な取組 通信 (No.7・No.8)	67
12	長津田地区 地域と主な取組 通信 (No.7)	73

### 第3章 区域計画

1	「区域計画」の推進について	77
2	コラム	81
3	地域ケアプラザ・地域包括支援センターとの連携	83
4	東本郷地域ケアプラザ	84
5	鴨居地域ケアプラザ	85
6	中山地域ケアプラザ	86
7	地域包括支援センターふじ寿か園	87
8	十日市場地域ケアプラザ	88
9	霧が丘地域ケアプラザ	89
10	長津田地域ケアプラザ	90
11	緑区社会福祉協議会の主な取組	91
12	緑区役所の主な取組	93
●	<参考>地域ケアプラザ・地域包括支援センター	95

(表紙中面) 推進状況報告書 活用の仕方

(裏表紙中面) 編集・発行者

※第2回長津田地区別計画推進策定委員会、第38回緑区社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の予防対策に伴い、中止となりました。

## 第1章 計画の概要

### 1 地域福祉保健計画とは

地域福祉保健計画は、誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちをつくるため、地域の福祉保健を推進するための基本理念や課題を明らかにし、課題解決に向け、市民・事業者・行政が協働で取り組む計画で、社会福祉法第107条に基づきます。

横浜市には、市全体の計画である市地域福祉保健計画（以下「市計画」という。）と、区ごとに策定する区地域福祉保健計画（以下「区計画」という。）があります。

また、地域福祉の推進を目指し、地域住民・福祉保健等の関係団体や事業者等が地域で主体的に進めていく計画として、社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画があります。

それぞれの計画は相互に補完・連携し、役割分担をしていくものであることから、横浜市では、地域にわかりやすい計画となるよう策定のプロセスを共有し、整合性のとれた1つの計画として一体的に策定しています。これにより、行政や市民、地域福祉活動団体、ボランティア、事業所などの地域にかかわる方々にとって、より協働しやすく、より実効性のある計画となることを目指しています。

### 2 緑区の地域福祉保健計画

#### (1) 第1期計画（平成18～22年度）

緑区では、平成16年度策定の「市計画」を受け、「みどりのわ・ささえ愛プラン」第1期計画を平成18年1月に策定しました。

策定にあたっては、区内11連合自治会単位で地区別意見交換会を3回ずつ開催しました。また、分野別団体別インタビュー、区民アンケートを実施し、そこで出されたさまざまな意見を、「つながり」「人材・担い手」「機会・場」「情報」「安心・安全・健康」の5つのキーワードに分類し、各団体の代表者や公募委員、学識経験者で構成する策定委員会で検討を進めました。

そして、計画の基本理念と、上記のキーワードを核とした5つの基本目標などを設定しました。



#### ●第1期計画の基本理念と基本目標

**基本理念** 誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして

～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～

**基本目標1** 地域での「つながり」を大切にするまちづくり（キーワード：つながり）

**基本目標2** 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり（キーワード：人材・担い手）

**基本目標3** みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり（キーワード：機会・場）

**基本目標4** 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり（キーワード：情報）

**基本目標5** 「安心・安全・健康」のまちづくり（キーワード：安心・安全・健康）

#### (2) 第2期計画（平成23～27年度）

第1期計画の振り返り等を踏まえ、区内11地区の実状や地域の特色を活かし、区民と協働で策定する「地区別計画」と、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等が地域と協働し、緑区全体で取り組む「区計画」の2つで構成することとしました。

この第2期計画は、日常生活に関連した課題などに対する地域の取組計画をまとめた「地区別計画」と、地域を越える課題や、近隣では対応しにくく区全体を対象とした課題、地域の取組を支援する計画などをまとめた「区計画」とが互いに連動することで、より有効な計画となっています。

## ① 地区別計画策定の経過

## ■地区別計画策定委員会の立ち上げ・委員会の開催

「地区別計画」を区内 11 連合自治会・地区社会福祉協議会を単位として策定することとし、地区別計画の策定等を中心となって進める「推進母体」としての役割をもつ「地区別計画策定委員会」を、各連合自治会を中心に順次立ち上げました。委員会は、連合自治会、地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）、民生委員・児童委員、保健活動推進員、地域の活動団体の代表者などの方々に構成され、区内 11 地区で延べ 32 回の委員会を開催し、延べ 450 人の方々が参加して、検討を重ねました。

また、地区別計画策定に向けた委員会の開催主旨や、今後のスケジュールの説明、各地区の取組内容などの情報交換などを行うことを目的に「地区別計画策定連絡会」を4回開催しました。



## ■地区支援チームの設置

地区別計画策定に向けて、区役所、区社会福祉協議会（以下「区社協」という。）、地域ケアプラザ等で構成される「地区支援チーム」を地区ごとに設置しました。

地区支援チームは、「地区別計画策定委員会」の計画策定を支援するとともに、情報交換や課題の共有など計画推進の土台を構築しました。

## ■みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会からの提言等

「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」では、「地区別計画策定委員会」の検討状況の報告を受け、地区別計画の策定に向けた提言や進捗管理を行いました。

## ② 区計画策定の経過

第2期となる区計画の策定にあたっては学識経験者や自治会、地区社協などの方々に構成される「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」を開催し、検討を行いました。その結果、第1期計画の基本的な考え方を継承し、基本理念と基本目標を再定義したうえで、「目指す姿」を追加することとしました。

## ●第2期計画の基本理念と基本目標

- 基本理念** 誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして  
～一人ひとりが主役・共に支えあう つながりのあるまちづくり～
- 基本目標1** 地域での「つながり」のあるまちづくり（キーワード：つながり）
- 基本目標2** 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり（キーワード：人材・担い手）
- 基本目標3** みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり（キーワード：機会・場）
- 基本目標4** 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり（キーワード：情報）
- 基本目標5** 「安全・安心・健康」のまちづくり（キーワード：安全・安心・健康）

## ③ 第2期計画の振り返り

※下線部分について第1期計画より変更しました。

## ■地区別計画の振り返り

各地区別計画推進策定委員会において、年度ごとに地区別計画の振り返りを行いました。平成 26 年度に第2期計画の中間振り返りを、平成 27 年度には第2期計画5か年を振り返りました。

## ■区計画の振り返り

「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」にて、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等が実施した取組等について、定期的に振り返りを行いました。振り返りを行うなかで、今後取り組んでいくべき方向性について提言がありました。



## ■「みどりのわ・ささえ愛プラン推進状況報告書」の発行

地区別計画・区計画について「推進状況報告書」を毎年度発行し、推進状況を確認しました。

### ④ 第3期計画策定の経過

#### ■地区別計画策定

平成26年度から、第3期計画に向けた「地区別計画推進策定委員会」が各地区で開催され、第2期地区別計画の推進に加え、第3期地区別計画に向けた課題や取組について意見交換が行われました。

#### ■区計画（全体計画・区域計画）策定

「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」が地区別計画を含めた第2期計画での取組状況を把握して振り返りつつ、平成26年度からは、第3期計画の策定に向けた検討も行ってきました。

#### ■第3期計画策定に向けた取組

第3期計画策定に向け、区全域の福祉保健にかかる現状や課題、ニーズ等を把握するため、平成26年度に「区民アンケート」及び「分野別・団体別グループインタビュー」を実施しました。

「地区別計画推進策定委員会」や「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」において、その結果を踏まえながら、第3期計画策定に向けた話し合いを行いました。

#### ■みどりのわカフェの開催

第3期計画素案公表期間内には、第2期計画のこれまでの取組と、第3期計画素案を周知するとともに素案への意見募集のために、PRイベント「みどりのわ・Café」を「緑区市民活動支援センターみどりーむ」で開催しました。



<「みどりのわ・Café」の様子>



誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして



### 3 第3期計画の内容と特徴

#### (1) 基本理念・基本目標の継承

第1期計画から「基本目標」として掲げている「つながり」「人材・担い手」「機会・場」「情報」「安全・安心・健康」の5つのテーマについては、福祉保健施策に必要な要素であることから、第3期計画においても、「基本理念」とともに計画全体の総合的な指針として継承することとしました。

#### (2) 計画構成の見直しと「区域計画」の設定

##### ■区計画・地区別計画の関係性

地域での日常生活の課題や取組をまとめた「地区別計画」と、その中で抽出された、区全体を対象とした課題や地域での活動を支援する取組などをまとめた「区計画」が、互いに連動することでより有効な計画となっています。

##### ■第2期計画の区計画の課題

第2期計画を推進していくなかで、次のような点が課題として挙げられるようになりました。

- 第2期計画の「区計画」で提示した「具体的な取組」は、個々の事業や取組の内容が抽象的になり、計画の推進状況などを確認することが難しい。
- 取組主体となる、地域・区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ（地域包括支援センター）などが、それぞれ個別に取り組み内容となっていたため、連携・協働した取組が見えづらい。
- 地区に共通する課題への取組や「地区別計画」を支援するための仕組みづくりなど、「区計画」に期待される役割も大きくなっている。

##### ■区計画から「区域計画」へ

第2期計画から「地区別計画」が加わり、「基本目標」は、「区計画」と「地区別計画」の両方にかかる目標として設定されましたが、第1期計画の「基本目標」＝「区計画」（計画全般）の色合いが強く残っていました。そこで、第3期計画においては、計画全般を「全体計画」、区計画を「区域計画」とし、「地区別計画」も含め、構成の見直しを行いました。

#### (3) 区域計画の地区支援目標及び重点テーマの設定

##### ■地区支援目標について

第2期計画を推進していくなかで、「基本目標」に応じた各種取組と並行して、各地区で着実に推進されている「地区別計画」の充実や広がりが期待されるようになりました。

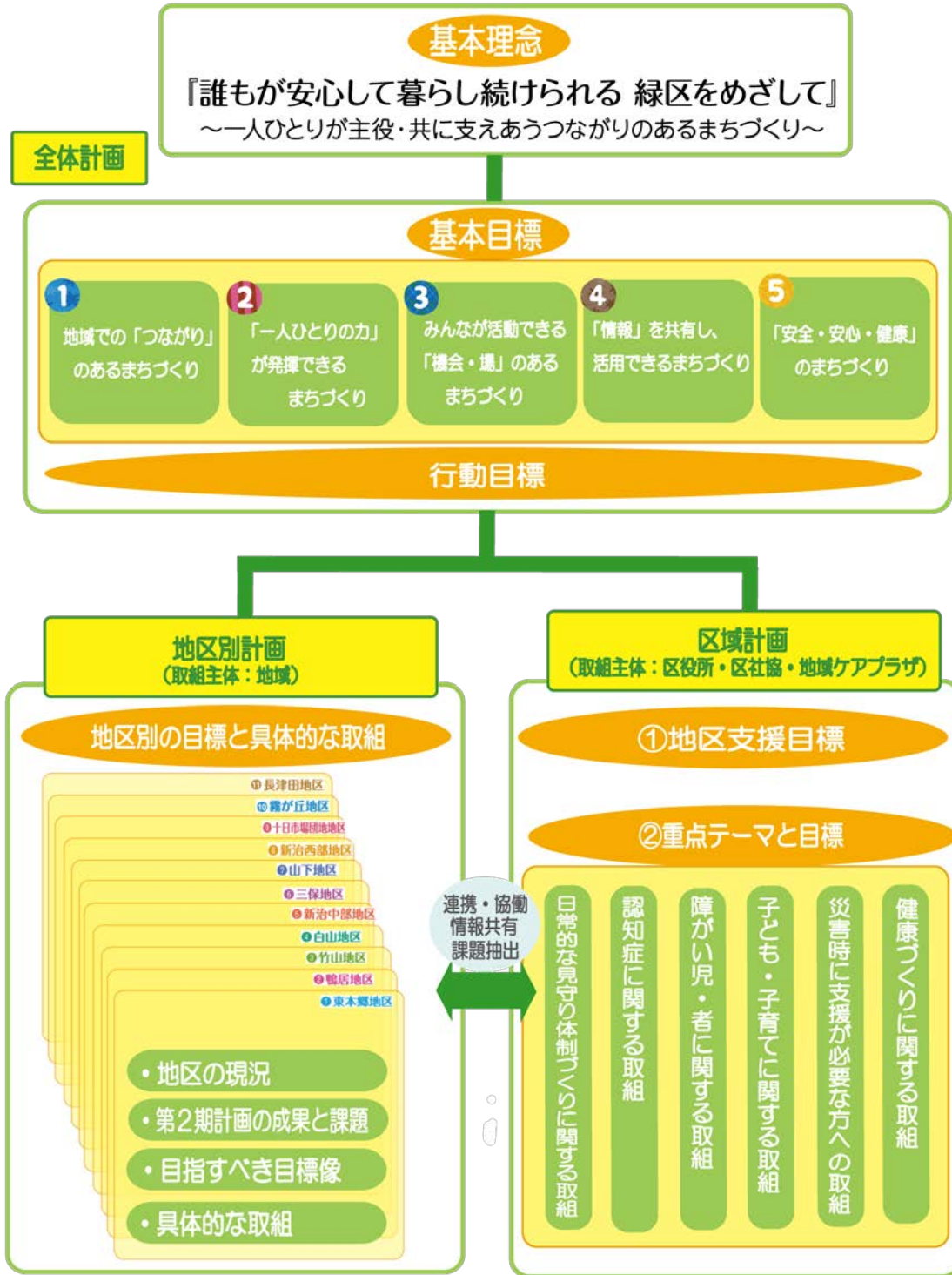
そこで、「地区別計画」の取組への支援を強化するとともに、他地区に広がるきっかけづくりや情報共有を進めることを目指し、「区域計画」に「地区支援目標」を設定しました。

##### ■区域計画の重点テーマについて

第3期計画をより実践的な計画とすることを目指し、

「区民アンケート」や「分野別・団体別グループインタビュー」を踏まえて、重点的な課題を抽出し、そのテーマに沿った目標と具体的な取組を設けました。この「重点テーマと目標」を「区域計画」に設定することで、計画の方向性や推進状況の把握・進行管理をより明確にすることができます。

<第3期みどりのわ・ささえ愛プラン 概要>



「地区別計画」の特徴

区内の11 聯合自治会・地区社協単位で開催される「地区別計画推進策定委員会」（以下、地区別委員会という。）が中心となって、各地区の特徴を活かした「地区別計画」を策定しています。第3期「地区別計画」は、平成28年度からの5か年間に行う、それぞれの地区の特徴をふまえた各種の目標と、地域課題の解決のための具体的な取組をまとめています。

「区域計画」の特徴

「地区別計画」の取組支援と他地区に取組を広げるきっかけづくり等を推進する「地区支援目標」と重点的なテーマに沿った事業ベースの具体的な取組をまとめた「重点テーマと目標」で構成されています。実現に向け、区役所、区社会福祉協議会及び地域ケアプラザ等が、地域や関係団体・事業者などと協働で取り組んでいきます。



## ●地区別計画

## ＜11 地区の地区別計画 目標＞

## ① 東本郷地区

- 地域の人達がつながり、支え合い、一緒につどい楽しみを共有できるまち
- 色々な世代の人が地域活動やボランティアに参加しているまち
- 地域情報が行き渡り、地域全体で支援が必要な人を見守るまち
- 身近な所で健康づくりができ、いつまでも健康に過ごすことができるまち
- 地域全体で防犯・防災に向け取り組み、安全・安心に暮らせるまち

## ② 鴨居地区

- 『「安全・安心・健康」のまちづくり』のために
- 地域での『つながり』を大切にし、地域における後継者を育成するために

## ③ 竹山地区

- ボランティアの取組を充実します
- 知りたい情報を分かりやすく伝えていきます
- 世代間・活動団体間の交流を進めます

## ④ 白山地区

- 地域の防犯力を高めよう
- 自助・共助・近助の力を育もう
- 孤立化を防ごう
- 子育てしやすい地域づくりをめざそう
- 地域の環境課題に取り組もう

## ⑤ 新治中部地区

- 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- 次世代につながるまちにしたい

## ⑥ 三保地区

- 地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい
- 落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい
- 地域が団結して、防災力を高めたい

## ⑦ 山下地区

- 地域での「つながり」を大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり
- 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり
- 「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり

## ⑧ 新治西部地区

- 地域の中での孤立化をなくし みんなの顔が見える環境を目指します
- 自治会加入を促進し、地域情報をより多くの人に届けます

## ⑨ 十日市場団地地区

- 地域が団結して、「つながり」を作り、あらゆる世代の交流を広げよう
- 連携して、「見守り」を進め、いつまでも支えあえる地域を目指そう
- 健康や交流を意識した取組を進め、地域をもっと元気にしよう

## ⑩ 霧が丘地区

- 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 「安心・安全・健康」のまちづくり

## ⑪ 長津田地区

- 地域情報の発信と共有をすすめます
- 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます
- 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます
- 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます

第1章 計画の概要

●区域計画

＜地区支援目標＞

目標1	地域での「つながり」づくりの取組を支援し、ともに推進しながら、他の地域へも取組を広げていきます！＜つながり＞
目標2	多くの人が地域で活躍でき、地域活動が広がっていくことを目指し、地区の支援やコーディネートを行います！＜人材・担い手＞
目標3	より身近な地域で活動できるよう、地域活動における「機会」「場」に関するノウハウを共有し、活用します！＜機会・場＞
目標4	地域情報を共有・活用できる体制づくりをすすめます！＜情報＞
目標5	地域の取組を共有するとともに、活動の広がりを意識しながら継続して取り組めるよう、支援を行います！＜安全・安心・健康＞

＜重点テーマと目標＞

テーマ①

日常的な見守り体制づくりに関する取組

目標

- (1) 見守りが必要な人への地域でのゆるやかな見守り体制づくりを支援します
- (2) 関係機関・団体・事業者等の連携を深め、組織を超えて情報共有ができる体制づくりをすすめます

テーマ②

認知症に関する取組

目標

- (1) 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるよう、認知症に関する普及啓発の取組をすすめます
- (2) 身近な地域を一步出ても、気づきの目があるネットワークづくりをすすめます

テーマ③

障がい児・者に関する取組

目標

- (1) 障がい児・者が必要な支援を受けることができ、より積極的に身近な地域活動へ参加できることを目指します
- (2) 障がいに関する理解を広めるとともに共に支える人を増やし、組織的に活動できる体制づくりをします

テーマ④

子ども・子育てに関する取組

目標

- (1) 生まれる前から学齢期まで、切れ目のない子ども・子育て支援をすすめます
- (2) 児童虐待防止に向けた取組をすすめます

テーマ⑤

災害時に支援が必要な方への取組

目標

- (1) 災害時の支援が円滑にできるような仕組みづくりをすすめます
- (2) 災害時に支援が必要な人と周囲の住民の顔の見える関係づくりを支援します

テーマ⑥

健康づくりに関する取組

目標

- (1) ライフステージに応じた健康づくりに関する取組をすすめます
- (2) 健康で充実した生活を送れるよう、活躍できる機会・場づくりを支援します

## 4 第3期計画の推進と第4期計画の策定に向けた取組について

### (1) 第3期計画（平成28～令和2年度）の推進

第3期計画では、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の基本理念である「共に支えあう つながりのあるまちづくり」の実現に向けて、第2期計画での取組を充実・発展することを目指して取り組みます。

また、令和元年度から「地区別計画推進策定委員会」「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」と名称を変更し、第4期計画（令和3～7年度）の策定に向けた検討も行っています。

#### ①「地区別計画」の推進について

地区別計画に掲げられた各目標の実現を目指し、「地区別計画推進策定委員会」が中心となり、地域課題の解決に向けた取組を行うとともに、地域福祉保健の推進にかかる各種の情報の共有や意見交換や振り返りを行います。

また、推進にあたっては、地域住民が主体となって推進していけるよう、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等の職員で構成する「地区支援チーム」が引き続き支援します。

#### ②「区域計画」の推進について

第1期・第2期計画に引き続き、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」が、第3期計画で掲げた「地区支援目標」及び「重点テーマと目標」を中心に取組状況の把握や振り返りを行います。

また、「地区別計画」の推進に向けた助言等を行うとともに、各地区が共通で抱える課題や地区の先進的な取組の拡充を目指し、「区域計画」との連動に向けた提案等を行います。

### <第3期 推進体制イメージ>

#### 基本理念

『誰もが安心して暮らし続けられる 緑区をめざして』

～一人ひとりが主役・共に支えあうつながりのあるまちづくり～





第1章 計画の概要

(2) 令和元年度の推進策定スケジュール

令和元年度は第3期の推進4年目であり、計画推進と第4期区域計画・地区別計画の策定に向けた検討を中心に、次のとおり進めました。

みどりのわ・ささえ愛プラン 令和元年度 推進スケジュール													
	H18~H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
第1期計画 (H18~H22年度)	第1期計画												
第2期計画 (H23~H27年度)		策定		第2期計画									
第3期計画 (H28~R2年度)						策定			第3期計画				
第4期計画 (R3~R7年度)												策定	

	30年度		令和元年度												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2年2月	3月	
全体スケジュール	社会福祉大会 テーマ別	報告書の発行	第3期計画の推進に取り組みます 地区別計画 区域計画 } 推進									社会福祉大会 テーマ別	報告書の発行		
区域計画		開催② 3/20	各取組主体による区域計画の 関係団体へアライング			6/11					開催②			開催③	
地区別計画		実施関係団体へアライング 区民アンケートの準備・調整		区民アンケート の実施	アンケート 速報					報告書 完成			第4期計画 案作成	第4期 計画 案 骨子	
地区別計画推進委員会 (11地区別開催)			各地区別計画推進委員会を中心とした地区別計画の				地区別開催① ・第3期計画推進に 向けに取組など ・3期中間振り返り	通信①発行				地区別開催② 年度振り返り 4期策定に向けて	通信②発行		
地区別計画推進委員会連絡会 (11地区で構成)			連絡会 5/13			みどりの わ・ささえ 愛プラン特 別講演会									
地区支援チーム		チームリー ダー会議① チームメン バー新任研 修(4/25)						チームリー ダー会議②							
地区支援チーム会議		拡大地区支 援チーム会 議	地区支援チーム会議/毎月開催												
		・組合わせ ・年間予定確 認		地区概況シート							地区概況シート更新		パネル作成	中間まとめ	1年間 の振 り返り

(3) 「地区別計画推進費」の活用

平成24年度から、地域が主体的に行う課題解決に向けた活動等を支援するための「地区別計画推進費」を各地区で活用しています。地区別計画推進策定委員会において具体的な活用策と取組内容を検討しており、地区別計画の推進の一助となっています。

(4) 令和元年度の広報等の取組について

令和元年度は、第4期計画策定を見据えて、区民の方々に計画概要や各地区の取組を知ってもらうために広報を行いました。地区別計画推進策定委員会通信の発行・班回覧等、PRパネルの作成などによるPR活動に加え、周知のため区役所イベントスペースでの動画の常時放映などに取り組みました。

● 「地区別計画推進策定委員会通信」の発行

地区別計画推進策定委員会が出されたさまざまな意見や、課題、地区での取組状況を地域の方々に周知するために作成しました。通信には、第4期地区別計画策定に向けた検討の様子なども掲載し、より多くの方に読んでいただけるよう、地域での回覧や全戸配布などを行いました。



<地区別計画推進策定委員会通信>

## ●動画の常時放映

第3期計画の周知を図るため、初年度に作成したPR動画を多くの方に視聴いただけるよう、区役所1階のイベントスペースで常時放映を行っています。

あわせて、地区別リーフレットについても配架し地区別計画の周知に努めました。



＜区役所1階での動画常時放映＞

## ●地区別計画推進状況PRパネルの作成

各地区の地区別計画の取組の様子を地域の方々に知っていただくために、PRパネルを作成しました。

また、各地区のパネルは、地域ケアプラザなどで展示しています。より多くの方に、地域福祉保健計画や地域の取組に理解を深めていただくのに役立っています。



＜地区別計画推進状況PRパネルの一部＞

## (5) 第4期計画策定に向けた取組について

第4期計画策定に向け、区域の福祉保健にかかる現状や課題、ニーズ等を把握するため、「区民アンケート」と「分野別・団体別グループインタビュー」を実施しました。

### ●区民アンケート実施概要

調査対象：緑区内にお住いの20歳以上の方4,500人（95人の外国籍区民含む）

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

回収数等：1,305票 回収率29.0%

調査期間：令和元年6月22日（土）～7月16日（火）

調査方法：郵送による配布・回収 ※横浜市電子申請・届出サービスも併用

調査内容：合計25問

回答者属性、生活の心配事について、地域でのつながり及び活動の機会・場について、福祉保健に関する情報について、安全・安心・健康について、緑区の福祉保健全般について

### ●分野別・団体別グループインタビュー実施概要

実施時期：令和元年7月12日（金）～11月27日（水）

実施回数：19回

対象：高齢者、障害者、子育て、青少年育成、健康づくり、権利擁護、国際交流等の分野別の当事者・支援者、および福祉・保健活動団体等（延182名）

インタビュー内容：活動の現状、課題、今後に向けて等



## 第2章 地区別計画

### ●「地区別計画」の推進について

#### (1) 地区別計画推進策定委員会について

地区別計画に掲げられた各目標の実現を目指しつつ、第3期計画推進にむけた意見交換を活発に行う「地区別計画推進策定委員会」（以下、「地区別委員会」という。）が開催されています。委員は、連合自治会、地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、地域の活動団体の代表者など、地区の実状に合わせて組織されています。

既に地域では、自治会活動を中心にさまざまな活動が行われています。担い手の確保や世代間の連携などの共通課題を解決するとともに、これまでの地域活動を継続し、団体間の連携体制をより強化することなどが求められています。地区別委員会では、そうした地域課題の解決に向けた取組を行うとともに、計画の推進に係る各種情報の共有や意見交換を行い、地区別計画の目標に向けた地域の取組状況の把握や振り返りを行います。地区別委員会は、各地区の実状に応じて年間2～10回開催され、令和元年度は計画推進とともに、第4期に向けた地域の課題や具体的取組について活発な意見交換を行いました。また、地区別委員会で話し合われた内容をより多くの地域の方々に周知するため、「地区別計画推進策定委員会通信」を各地区2回発行し、連合自治会等の協力の下、地区内での班回覧等を行いました。

#### (2) 地区支援チームについて

緑区では、区役所の運営責任職・保健師や社会福祉職、区社協責任職・職員、地域ケアプラザの所長・地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーター・地域包括支援センター職員（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等）で構成される「地区支援チーム」が地区ごとに編成されています。そして、「地区支援チーム会議」を毎月開催し、チームメンバーが日常業務の中で把握した地域の情報や、地域展開している事業の情報、そこから分析した地域の課題などを共有し、解決策や取組について検討しています。こうして、住民主体の地区別計画の推進に向けた地域の取組支援、地区別委員会や地域住民の活動支援をしています。

#### (3) 地区別計画推進策定委員会連絡会の開催

地区別委員会の委員長、地区支援チームのチームリーダーなどが参加する「地区別計画推進策定委員会連絡会」を5月に開催しました。地区別委員会の開催状況やスケジュールの説明、各地区の取組内容などの情報交換・意見交換などを行いました。

#### (4) 地区別計画推進活動報告

地区別委員会では、地区別計画の目標に向けた地域の本年度の取組状況を振り返るとともに、各地区の推進状況をまとめた「パネル」を制作しました。

#### (5) 地区別計画推進に向けた各種制度の活用

地区別計画推進に向けて、区役所・区社協等による事業費補助制度を活用しています。平成24年度から継続している「地区別計画推進費（→P.9参照）」とあわせ、さまざまな補助金等の制度を活用し、地域住民の主体的な取組による地区別計画がさらに推進していくことを目指しています。



## ●令和元年度 地区別計画推進状況

＜令和元年度 地区別計画推進策定委員会 開催状況＞

地区名	委員数	回数	開催日	地区別委員会での主な意見交換テーマ・概要
東本郷	32人	3	6/21 9/12 1/29	第1回 4つの専門委員会活動報告、ひがほん郷まつりについて 第2回 ひがほん郷まつりについて、第1回委員会の振り返り 第3回 第4期地区別計画策定に向けて(グループワーク)
鴨居	24人	2	7/9 12/21	第1回 「鴨居チョイボラ」本格始動について 第2回 活動・取組を通じて思う鴨居地区の課題について(グループワーク) ～「鴨居チョイボラ」の将来的な推進に向けて～
竹山	27人	2	8/27 2/25	第1回 活動での悩みや課題を共有しよう(グループワーク) 第2回 第4期地区別計画策定に向けて ◆これからの5年間で、竹山地区でできたらいいこと(グループワーク)
白山	34人	10	原則 毎月 第4 土曜日	第2回 第3期計画の推進状況について(5つの地区目標について情報共有) 第6回 第4期地区別計画策定に向けた第3期計画の振り返り(グループワーク) 第9回 第4期地区別計画策定に向けて ◆これからの5年間で、白山地区で実現したいこと(グループワーク)
新治 中部	38人	2	8/22 2/20	第1回 第3期計画の振り返り ◆子ども・子育て世代の声を集めるために、防犯・防災キャッチフレーズの取組 第2回 第4期地区別計画策定に向けて ◆これからの新治中部地区に必要な取組について(グループワーク) 子ども・子育て世代の声を集めるための取組について
三保	38人	2	8/24 1/25	第1回 第3期三保地区別計画の中間振り返り(意見交換) 「見守り・居場所づくり検討委員会」の取組報告 第2回 第4期地区別計画策定に向けて ◆今後、三保地区内で必要な取組について(グループワーク) 「見守り・居場所づくり検討委員会」の取組報告
山下	25人	2	8/8 2/7	第1回 第3期山下地区別計画の振り返り(活動報告) 第2回 第4期地区別計画の策定について(グループワーク)
新治 西部	31人	2	8/20 2/3	第1回 第3期地区別計画について(グループワーク) 第2回 第4期地区別計画の策定について(グループワーク)
十日市場 団地	38人	2	8/5 2/17	第1回 第3期地区別計画の振り返り(グループワーク) 第2回 第4期地区別計画の策定に向けて(グループワーク)
霧が丘	33人	2	6/29 12/7	第1回 霧が丘地区別計画3か年の振り返りと今年度の取組について(意見交換) 第2回 第4期地区別計画策定に向けて ◆活動や取組が将来的に継続・発展するために工夫していること(意見交換)
長津田	30人	1	9/28	第1回 第3期地区別計画の目標について振り返り(グループワーク) ※第2回は新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止となりました。
合計	350人	30		

# 東本郷地区

東本郷地区別計画推進策定委員会

地域

## 東本郷 1～6丁目、東本郷町

緑区の東端に位置し、地区の東側は港北区、南側は神奈川区、北側は都筑区に隣接しています。北側は平野が広がり一部は農地となっていますが、南側は台地となっており、昭和40年代からの計画的な宅地開発により、戸建てや集合住宅の集まる住宅地となっています。

坂道が多く、最寄りの鴨居駅まで距離がある地域もありますが、平成19年3月に住民の要望によりミニバスが開通し、多くの住民に利用されています。

### <主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：東本郷小学校、東鴨居中学校（鴨居地区と共有）

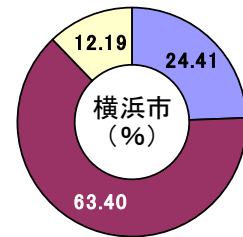
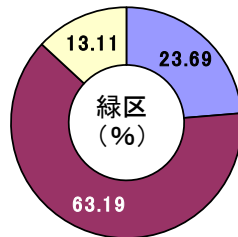
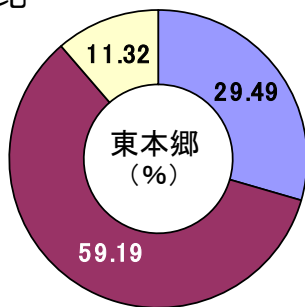
地域ケアプラザ等：横浜市東本郷地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	2,070人
65～74歳	1,633人
15～64歳	7,432人
6～14歳	915人
0～5歳	506人
合計	12,556人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況

#### 第1回

令和元年6月21日  
17:45～20:00

東本郷地域ケアプラザ

- ・第3期計画について
- ・4つの専門委員会活動報告
- ・ひがほん郷まつりについて

#### 第2回

令和元年9月12日  
17:30～19:00

東本郷地域ケアプラザ

- ・ひがほん郷まつりについて
- ・第1回委員会の振り返り

#### 第3回

令和2年1月29日  
17:30～19:30

東本郷地域ケアプラザ

- ・地区別計画について
- ・第4期地区別計画の策定に向けて  
(グループワーク)

通信No.17 発行

通信No.18 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況




# 東本郷地区




『この街に住んでよかった！』と  
みんなが思える東本郷を目指して！


東本郷地区では、5本の柱と具体的なアクションプランを策定し、急速な  
少子高齢化に伴う問題や地域課題等に対し、“**4つの専門委員会**”を  
設置し、より具体的な議論や取組を推進しています。


(今年度の主な取組をご紹介します)

-  **高齢者支援ネットワークづくり委員会**
  - ・改訂版黄色いカードを5,000部配布
  - ・詐欺被害の情報共有

-  **認知症に関する委員会**
  - ・認知症サポーター養成講座開催  
(キャラバンメイトと共催)
  - ・認知症すごろく活用講習会開催



-  **子ども・子育て支援委員会**
  - ・子どもの居場所づくりについて検討
  - ・他区の取組を見学

-  **東本郷健康づくりに関する委員会**
  - ・健康講座「認知症とは？」開催  
(講師:医療法人社団三喜会 岸 博久先生)
  - ・東本郷健康づくり委員会通信を発行



↑今年度は、曇りのなか 3,200 名が来場されました。  
フィナーレのソーラン節では、子どもたちの大きな掛け声  
と熱気が反響し、迫力満点の演技が披露されました。

この計画を推進する中で誕生し、「0歳から  
100歳までの人のつながり」をキャッチフレ  
ーズに、地域と学校が連携して開催している  
「ひがほん 郷まつり」も第9回を数えました。  
6年生の時にはフィナーレでソーラン節を踊  
り、中学生になったら今度はボランティアで  
運営を手伝ってくれています。子どもたちの  
思い出とともに、次世代に「受け継がれるも  
の」が確かに形になってきています。

東本郷地区 地区別計画推進策定委員





令和元年9月発行 第3期 No.7 (通算No.17)  
 <連絡先>東本郷地区別計画推進委員会事務局(緑区総務課)TEL:930-2204

## 東本郷地区別計画推進策定委員会



令和元年6月21日(木)、東本郷地域ケアプラザにおいて、今年度第1回「みどりのわ・ささえ愛プラン 東本郷地区別計画推進・策定委員会」を開催しました。その内容をご紹介します。

今年度の委員長には、東本郷連合町内会の名取会長、就任し、副委員長には、東本郷地区社会福祉協議会の明田会長が就任しました。



### ☑ 「第3期東本郷地区別計画」の振り返りを実施!

みどりのわ・ささえ愛プランについて「東本郷地区別計画」の今年度の地区別計画推進費の用途について確認し、計画期間が平成28年から令和2年度までとなっている第3期計画の進捗状況等の振り返りを行いました。

～東本郷地区 地区別計画～

- 目標① 地域の人達がつながり、支え合い、一緒につどい楽しみを共有できるまち
- 目標② 色々な世代の人が地域活動やボランティアに参加しているまち
- 目標③ 地域情報が行き渡り、地域全体で支援が必要な人を見守るまち
- 目標④ 身近な所で健康づくりができ、いつまでも健康に過ごすことができるまち
- 目標⑤ 地域全体で防犯・防災に向け取り組み、安全・安心に暮らせるまち

この5つの目標の平成28年からの具体的な取組、進捗状況を確認しました。これをもとに、第4期計画の策定を行っていきます!



最後に、「第9回ひがほん郷まつり」に向けて、スケジュールの確認を行いました。「ひがほん郷まつり」とは、「あらゆる年代の人たちがつながり合って支え合おう!」という目標に向かって、地域と学校が連携して実施する地域一大イベントのお祭りです。

開催に向けては、「ひがほん郷まつり実行委員会」が、具体的な内容を検討していきます。

## 第9回 ひがほん郷まつり 開催します!!

2019年 11/3(日) @東本郷小学校 **雨天決行**

昨年度は、約3,200人の方が参加してくださいました!

0歳～100歳まで、世代を超えて交流できる機会となっており、当日は中学生も含め多くのボランティアさんが活躍してくれています



<委員メンバー>東本郷地区別計画推進委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●保健活動推進員 ●老人クラブ連合会
- 環境事業推進委員 ●まちづくり協議会 ●友愛活動員 ●スポーツ推進委員 ●青少年指導員 ●地域防災拠点運営委員会
- 家庭防災員 ●子育てサロン ●ささえ愛の会 ●東本郷公園愛護会 ●みどり養護学校 ●東本郷小学校
- 東本郷小学校PTA ●東本郷小学校コミュニティハウス ●東鴨居中学校 ●城郷中学校 ※順不同

## 4つの専門委員会の今年度の取組について

## 高齢者支援ネットワークづくり委員会



王尾さん

買い物支援については、ケアプラザ作成のマップを活用しています。「緊急連絡先黄色いカード」が作成から2年経過したので改良し、緑警察、救急、ケアプラザの番号を加え、緊急時の連絡先がわかるようにしました。定期的に「認知症に関する委員会」とも合同で実施しています。

## 認知症に関する委員会

地元の商店、郵便局などを訪問し、認知症の方の対応で困っていることなどを伺いました。また、高齢者支援ネットワーク委員会との合同開催時、徘徊する方を警察が保護する時の対応を緑警察署の方から伺いました。

認知症すごろくを使用した普及啓発を、継続して実施します。今後、2か所で行う予定です。「認知症キャラバン・メイト(※)」の活動も人数が増え、充実してきています。小・中学校での認知症サポーター養成講座の開催を予定しており、自治会でも実施できたらと考えています。また今後、医療機関との連携や、認知症カフェも東本郷で実施可能なのか検討していけたらと考えています。

※「認知症キャラバン・メイト」とは…  
認知症の普及啓発のため「認知症サポーター養成講座」を開催する時の講師です。



氣田さん

## 健康づくりに関する委員会



佐藤さん

「健康だより」を発行し、健康づくりについて情報の発信をしていきます。昨年度、ひがほん郷まつりやさわやかスポーツで健康に対する意識調査を実施しました。昨年10月にはラジオ体操の日を実施し、150名の方が参加しました。また11月には新緑総合病院に依頼して健康寿命の延伸についての講座を開催しました。

今年度も11月に講座を開催する予定です。また、なかなか外に出てこれない方々へアプローチを検討していけたらと思います。

## 子ども・子育て支援委員会

地域の中での「子どもの居場所」について検討してきました。地域の中で集まりやすい場所にも常設型の「子どもの居場所」ができたらし、取り組んでいきたいと思っています。

今後、いろいろな方々の意見を参考にしながら、話を具体的にしていけたらと思います。



高林さん

地域福祉保健計画とは…  
「誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して地域の福祉保健を推進するために区民の皆さま、事業者、行政が協働で取り組む計画」です。



←プランの情報は動画でも紹介中。  
「みどりのわ 動画」で検索。







東本郷地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期 No.8 (通算No.18)

## 東本郷地区別計画推進策定委員会通信

### 第3回 みどりのわ・ささえ愛プラン

東本郷地区別計画推進策定委員会 を開催しました！

令和2年1月29日(水)、東本郷地域ケアプラザにおいて、令和元年度第3回「みどりのわ・ささえ愛プラン 東本郷地区別計画推進策定委員会」を開催しました。当日は第4期東本郷地区別計画策定委員会の策定に向けて、委員の皆さんとグループワークを行いました。この通信では、その内容の一部をご紹介します！



▲第3回推進委員会の様子



東本郷地区の課題について、各活動団体にアンケートを実施しました。そのアンケート結果と、第3期東本郷地区別計画の振り返りを共有しました。



○担い手不足      ○活動参加者・自治会員の減少      ○情報の伝達  
○誰もが集える居場所づくり      ○困っている方へのつながり・支援

上記の課題があることを、確認しました。

第4期東本郷地区別計画策定に向けて、確認した課題をもとに

★「魅力ある地域活動を続けていくために、必要なことは何か」★

をテーマにグループワークを行いました。

活発な意見交換が行われました。  
裏面をご覧ください！



＜委員メンバー＞東本郷地区別計画推進委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。  
●連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●保健活動推進員  
●老人クラブ連合会 ●環境事業推進委員 ●まちづくり協議会 ●友愛活動員 ●スポーツ推進委員  
●青少年指導員 ●地域防災拠点運営委員会 ●家庭防災員 ●子育てサロン ●ささえ愛の会  
●みどり養護学校 ●東本郷小学校 ●東本郷小学校PTA ●東鴨居中学校 ●城郷中学校 ※順不同





## 話し合いで出た意見の一部をご紹介します

テーマ：魅力ある地域活動を続けていくために、必要なことは何か

- 地域の活動を知ってもらうためのPRが必要（活動内容が周知されていない）
- 情報は、高齢者は紙での周知が効果的だが、若い世代はスマホ等で確認できる方がよい
- 必要な内容をピンポイントで、伝える工夫が必要
- 地域活動は、役員だけではなく他の人も巻き込みながら、継続できるようにする必要があるのでは
- 気軽に参加できるような、きっかけ作りがあるといい
- 楽しく活動をしていることを、知ってもらうことも大切
- 他の地区の事例から、参考になる取組を学ぶことをしてみてもどうか
- 色々な世代が集まれる場があると、若い世代とも交流が持てるようになる
- 大人も子どもも、ひがぼん郷まつり等で一緒に活動ができると、自治会、地域活動の大切さが伝わるのではないか

最後に名取委員長より

「地域の行事の意義をわかってもらい、参加してもらうことが重要と思います。活動の楽しさで引継ぎ、担い手を増やしていければいいですが、現状は厳しい。ボランティア活動も活発な地域です。色々な形で楽しんでいける地域にしていけたらと思います。」とまとめられました。



▲ 名取委員長

今日の話し合いをもとに、第4期東本郷地区別計画の策定を行っていきます！

【令和3年度から始まる 第4期みどりのわ・ささえ愛プランの方向性】  
多分野横断的な視点で計画を推進  
地区別に目指す姿を設定し、住民の方々にわかりやすい表現に工夫していく



## みどりのわ・ささえ愛プランとは



「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。

緑区では11連合自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

★詳しくはホームページをご覧ください。

みどりのわ・ささえ愛プラン



<連絡先> 東本郷地区別計画推進策定委員会事務局（緑区総務課） TEL：930-2204

# 鴨居地区

鴨居地区別計画推進策定委員会

## 地域 鴨居 1～7丁目、鴨居町

緑区の東側に位置し、地区の北側に鶴見川を挟んで都筑区、南側は神奈川区、保土ヶ谷区に隣接する南北に長い地区です。地区北部には鴨居駅があり、駅を中心に商店街、医療機関が密集しており、南側には丘陵状に住宅地が広がっています。駅周辺は平地ですが、他は起伏に富む地形となっています。

地域ケアプラザをはじめ、障がい者の地域作業所、通所施設など福祉施設が多くあります。

### <主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

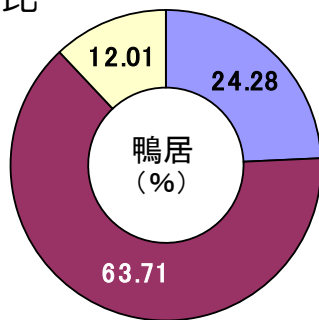
震災時避難場所（地域防災拠点）：鴨居小学校、緑小学校、東鴨居中学校（東本郷地区と共有）

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

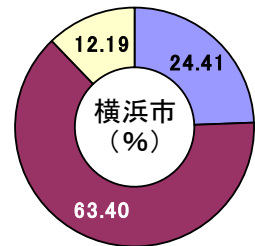
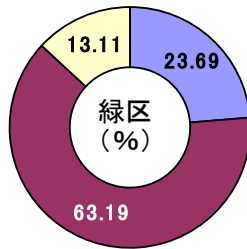
### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)

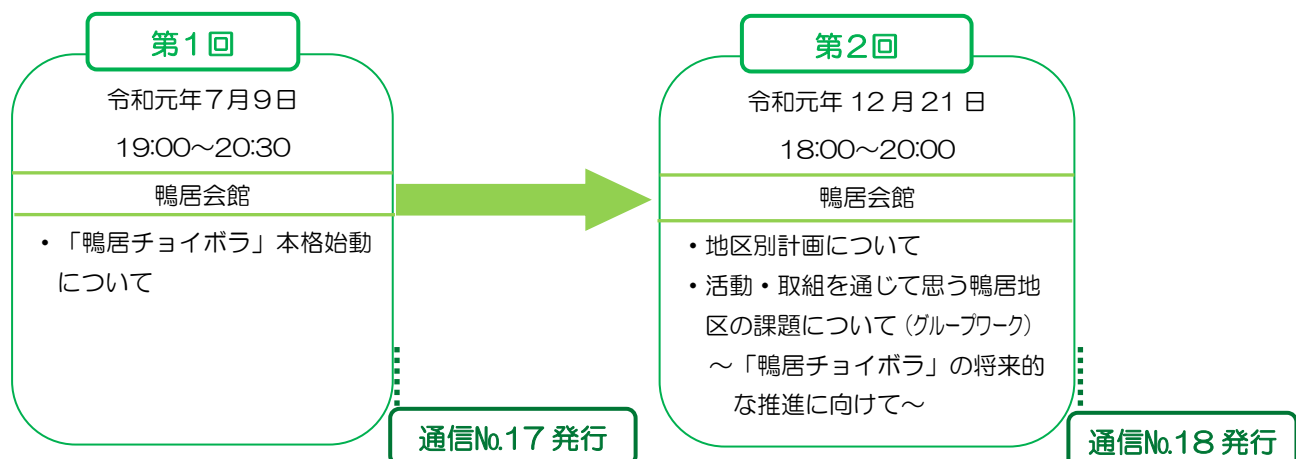


75歳～	1,891人
65～74歳	1,918人
15～64歳	9,996人
6～14歳	1,155人
0～5歳	729人
合計	15,689人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



# 鴨居地区



## 「鴨居チョイボラ」大盛況！



◀活動の様子

「チョイボラ」とは「業者に頼むほどの作業ではないし、かといって無償では頼みにくい」、そんな方々を住民相互で助けあう仕組みです。

鴨居地区では、地区別計画推進策定委員会ほか様々な場で検討してきた結果をふまえ、平成31年4月から本格実施しています。



庭木の枝切り



庭の草むしり



電球の交換

上記の作業を中心に実施した結果、4月から1月までで、計80件の依頼があり、うち75件実施しました。今後は、作業の内容も拡大していきます。

これからも、**高齢者を中心に**、お困りの方の手助けをします。

このように、鴨居地区では地域による活動が活発に行われています。

## 多世代の交流促進へ向けて

「地域のつながりの希薄化」、「地域活動の担い手不足」等が昨今の課題として挙げられています。

地区で行われている様々な活動への参加者が増えることで、住民同士の交流が深まるよう、引き続き取組を進めていきます。



鴨居地区別計画推進策定委員会





鴨居地区別計画推進策定委員会  
令和元年8月発行 第3期 No.7 (通算No.17)



**鴨居地区別計画推進策定委員会通信**

地域のチョット手助けボランティア



**鴨居チョイボラ**

平成31年4月～本格始動！



令和元年7月9日（火）19時から、鴨居会館で「令和元年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画推進策定委員会」を開催しました。  
委員会では、『**鴨居チョイボラ**』の**本格始動**』に向けて進捗状況を共有するとともに、サポート項目の拡大等について意見交換が行われました。

**鴨居チョイボラ**とは///  
高齢化が進行する昨今、「業者に頼むほどではないし、かといって無償では頼みにくい」、そんな方々を住民相互で助けあう仕組みです。地域のつながりを大切に、住みやすい鴨居にしていきます。  
**【対象】高齢者・支援を必要とする方**



サポーターは専用のビズと写真付きの名札をつけて活動します。まずはお気軽にご相談ください。

**サポート項目**

これまでは…

- 1. 庭の草むしり
- 2. 庭木の枝切り
- 3. 電球交換

これからは…

+ その他、お困りごとについてもサポートできるよう検討します。

**料金** 依頼者がサポーターに払う料金  
基本単価：サポーター1人1時間あたり500円

**依頼方法**

依頼者が鴨居会館に電話連絡



活動の様子（イメージ）

※裏面もあります

## 委員会の内容の一部をご紹介します。



- 全戸配布したマグネットステッカーの効果があり、4月以降は依頼が大幅に増えている。
- これまでは試行導入ということで「庭の草むしり、庭木の枝切り、電球交換」に限っていたが、本格始動したので項目を増やしていきたい（例：家具の移動、庭木の水やり等）。
- 幅広い依頼を受けるにあたっては、受付で「これはできない」と断るのではなく、いったん受けて、コーディネーターが可否を判断できるとよい。そのためにはコーディネーターの勉強が必要。 ▲マグネットステッカー
- 実際に依頼者のお宅にお邪魔して話を聞くと、親睦も深まる。そこで出来上がる人間関係がボランティアの魅力だ。相手が困っているからこそ助け甲斐があり、感謝もしてもらえる。



- 「鴨居チョイボラ」の取組を真似したい、という地域も出てきた。
- こういう時はどうしたらよいか、という議論もあったが「みんなで相談しよう」というのが答えだと思う。



▲木村委員長

### 「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは

誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む緑区の『地域福祉保健計画』です。鴨居地区は、鴨居地区の地区別計画にそって活動しています。令和元年度は第3期計画の4年目を迎えています。詳しくは下記HP等からご覧ください。

鴨居地区別計画の目標（第3期：平成28年4月～令和2年3月）

- 目標1 『安全・安心・健康』のまちづくりのために
- 目標2 地域での『つながり』を大切にし、地域における後継者を育成するために

動画も  
あります♪

ホームページ

みどりのわ・ささえ愛プラン 動画

検索

[https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kurashi/fukushi\\_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/](https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kurashi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/)



### <鴨居地区別計画推進策定委員メンバー>

委員会は下記各団体等の代表者・役員で構成しています。（順不同）（委員22名）

- ◎委員長 鴨居連合自治会長 木村 昶
- 連合自治会 ●各自治会 ●会館運営委員 ●民生児童委員 ●青少年指導員
- スポーツ推進委員 ●鴨居小学校 PTA ●東鴨居中学校 PTA ●鴨居おやじの会

<連絡先> 鴨居地区別計画推進策定委員会事務局 緑区戸籍課長 TEL：930-2246





鴨居地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期 No.8 (通算No.18)

## 鴨居地区別計画推進策定委員会通信

# 令和元年度 第2回みどりのわ・ささえ愛プラン

## 鴨居地区別計画推進策定委員会を開催しました！

令和元年12月21日(土)18時から、鴨居会館で「令和元年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン鴨居地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

当日は、第4期鴨居地区別計画の策定に向けて、区民アンケートの結果を共有した後、4グループに分かれて「活動・取組を通じて思う鴨居地区の課題や必要なこと」をテーマとして積極的に意見交換を行いました。



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは

誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む緑区の『地域福祉保健計画』です。鴨居地区は、鴨居地区の地区別計画にそって活動しています。令和元年度は第3期計画の4年目です。詳しくは下記HP等からご覧ください。

鴨居地区別計画の目標 (第3期：平成28年4月～令和3年3月)

- 目標1 『安全・安心・健康』のまちづくりのために
- 目標2 地域での『つながり』を大切にし、地域における後継者を育成するために

動画も  
あります♪

ホームページ

みどりのわ・ささえ愛プラン

検索

[https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kurashi/fukushi\\_kaigo/chikifukushi/fukushi-plan/](https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kurashi/fukushi_kaigo/chikifukushi/fukushi-plan/)





## 意見交換で出た内容の一部をご紹介します。



## &lt;自治会の加入促進&gt;

- 自治会加入率を向上するにはどうすれば良いか。
- 役員の負担が多いことが加入率の低下に繋がっているのでは。
- 自治会の活動がわからない。

## &lt;若い世代の行事参加・多世代交流&gt;

- 子どもや若い人が喜びイベントや必要とする行事を考える。
- OPTA など子育て世代を中心とした団体との連携・交流を促進する。
- 子育て世代にイベントの満足度を聞いてみる。

## &lt;地域のつながり&gt;

- 日常の挨拶や声かけから始めてみる。
- 鴨居チョイボラ※が本格スタートし、地域のつながりづくりにも貢献している。
- 顔が見える関係でも、どこまで踏み込んで良いのか。

## &lt;災害時の対策&gt;

- 防災訓練の参加者が少ない。
- 地域防災拠点同士の交流も必要。
- イベント形式にするなど参加しやすい訓練にする。



## ※鴨居チョイボラとは

高齢化が進行する昨今、「業者に頼むほどではないし、かといって無償では頼みにくい」、そんな方々を住民相互で助けあう仕組みです

今回の委員会で出た意見をもとに、第4期鴨居地区別計画の策定を行っていきます！



▲木村委員長

- ・様々な意見や課題をいただいた。その中には、自治会加入率の低下が原因のものもあると思う。
- ・地域のつながりを強化するためにも、自治会加入の促進については、今後も継続して検討していきたい。

## &lt;鴨居地区別計画推進策定委員メンバー&gt;

委員会は下記各団体等の代表者・役員で構成しています。(順不同)(委員 24名)

- ◎委員長 鴨居連合自治会長
- 連合自治会 ●各自治会 ●鴨居会館運営委員 ●民生委員・児童委員
- 青少年指導員 ●スポーツ推進委員 ●鴨居小学校 PTA ●鴨居おやじの会
- 家庭防災員 ●消費生活推進員 ●ボーイスカウト ●社会福祉協議会

<連絡先> 鴨居地区別計画推進策定委員会事務局 緑区役所戸籍課長 TEL: 930-2246

# 竹山地区

竹山地区別計画推進策定委員会

## 地域 竹山1～4丁目

緑区の南側に位置し、地区の南側は保土ヶ谷区に隣接しています。

昭和40年代に開発された竹山団地が中心にある丘陵地の住宅街です。この地区は、竹山中公園、竹山二丁目公園、竹山南公園等をはじめ、緑豊かな街並みが続きます。

緑区の中では最も高齢化が進んでおり、年少人口比率も最も低い地区となっています。

### <主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

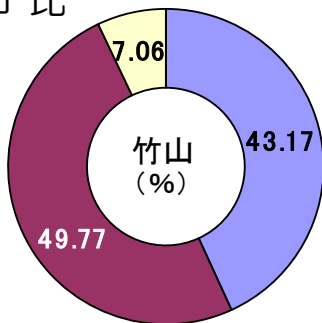
震災時避難場所（地域防災拠点）：竹山小学校

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

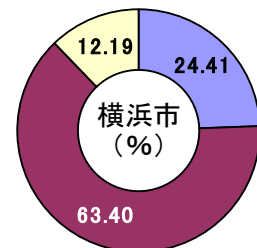
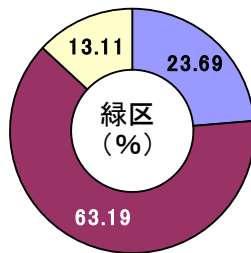
### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比



■ 高齢化率 (65歳以上) ■ 生産年齢人口比率 (15~64歳) □ 年少人口比率 (0~14歳)



75歳～	1,508人
65～74歳	1,433人
15～64歳	3,391人
6～14歳	318人
0～5歳	163人
合計	6,813人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況

#### 第1回

令和元年8月27日

18:30～20:00

竹山ホール

- ・地区別計画について
- ・活動での悩みや課題を共有しよう（グループワーク）

通信No.17 発行

#### 第2回

令和2年2月25日

18:00～19:30

竹山ホール

- ・第4期地区別計画の策定に向けて
- ・これからの5年間で、竹山地区でできたらいいこと（グループワーク）

通信No.18 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



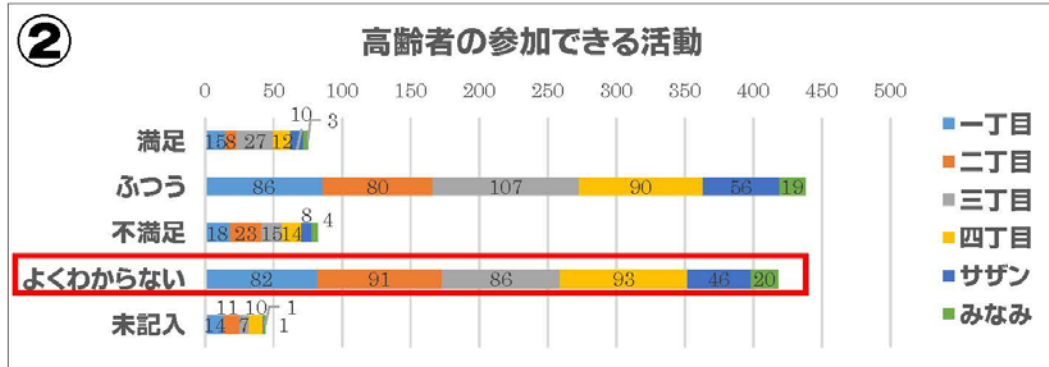
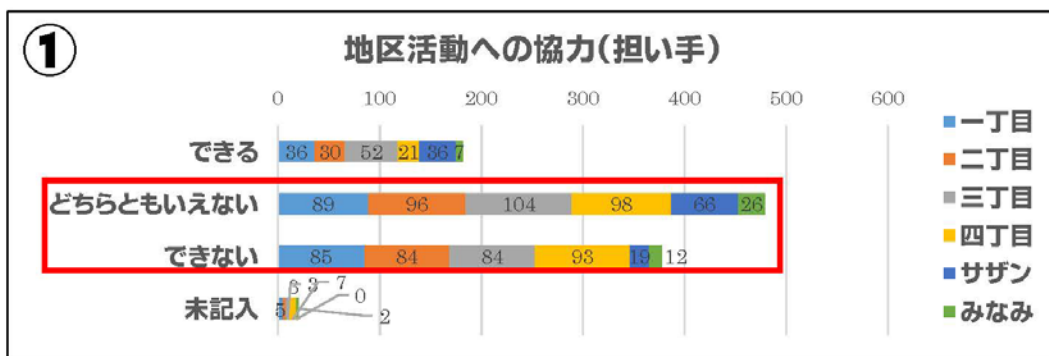
# 竹山地区



## 「住民アンケート」を実施しました！

竹山地区にお住まいの皆さんが、“地域活動に対してどのようなことを感じているのか”を把握するために、全戸を対象に住民アンケートを実施しました。約34%の皆様から回答があり、結果からは、次のようなことが分かりました。一部抜粋してご紹介します。

<問> 地区の活動について困っている事や要望はありますか。



①の結果からは、活動の負担感や高齢化等の理由により、担い手の減少が伺えます。

②の結果からは、活動やサービスについての情報が、広く伝わっていないことが考えられます。

今後、こちらのアンケート結果を踏まえて、**第4期竹山地区別計画の策定**を進めていきます！

竹山地区別計画推進策定委員会





竹山地区別計画推進策定委員会  
令和元年10月発行 第3期-No.7（通算 No.17）  
＜連絡先＞事務局 緑区保険年金課内 TEL：930-2336



# 第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 竹山地区別計画推進策定委員会

第1回委員会を開催し、

地域活動の課題を共有しました！



第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の竹山地区別計画は今年度で4年目を迎えています。昨年度の委員会では取組の振り返りを行いました。今回の委員会では第4期の計画策定に向けて、グループワークで竹山地区の課題について話し合いました。

## 第3期竹山地区別計画（H28～R2）の目標と取組

- 目標1「ボランティアの取組を充実します」
  - ・竹山ボランティアセンターの活動充実・PR強化
  - ・ボランティアの参加者を増やす工夫、仕組みづくり 等
- 目標2「知りたい情報をわかりやすく伝えていきます」
  - ・ホームページや広報紙での活動紹介、竹山の魅力PR強化
  - ・「防災ささえ愛カード」の取組を通じた、平時・緊急時の見守り体制検討 等
- 目標3「世代間・活動団体間の交流を進めます」
  - ・美化活動、竹山池などの魅力を活かした、多世代で参加できるイベント開催
  - ・課外授業などを通じた小学校との連携強化
  - ・ふれあいさろん竹多久を活かした交流や健康づくりの場の充実 等

今年度から第4期地区別計画の策定に向けた議論を行っていきます！



緑区キャラクター「ミドリん」

第4期  
地区別計画  
(R3～R7)

## 地域活動を行う中での課題について～意見の一部を紹介します。

- ・ボランティアの高齢化が進んでおり、活動に限界がある。次世代の参加をどう実現するかが課題である。【活動の担い手不足】
- ・人と人とのつながりが少なくなりつつある。行事やイベントを活用して、住民同士の交流を広げられると地域の活性化につながるのではないか。【つながりの希薄化】
- ・高齢者が増えていく中で、安心できる見守り活動を続けるために、民生委員も苦慮している。つながりの中で必要な情報が届く仕組みがあるとよい。【情報の共有化】
- ・住民アンケートを実施するなら、回答者が簡易に回答できるような工夫が必要である。【ニーズ把握の必要性】



▲ Aグループ発表：  
福地委員（民生委員・児童委員）

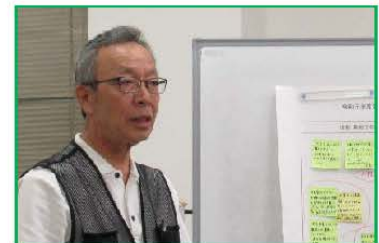


- ・高齢化するボランティアや自治会役員の世代交代ができず困っている。転入世帯に対して自治会加入促進することから、自治会活動に工夫を加えられるのでは。【活動の担い手不足】
- ・支援が必要な人の情報がわからず、各団体の活動を進めていく上で、どのように手を差し伸べていいのか悩んでいる。もう少し各団体間の連携・情報共有ができるとよいが、個人情報などの課題もある。【見守り活動の難しさ】【情報の共有化、団体間連携】
- ・小学校も保育園も地域に根ざした活動、支援を行っていきたい。また地域から様々なアイデアを教えていただくことで、子どもたちが自分のまちのことを身近に考える機会を広げていけたら。【子ども・子育て世代に対する支援体制】



▲ Bグループ発表：  
篠崎委員（竹山保育園園長）

- ・共働き世帯は、地域よりも会社等にいる時間の方が長い現状があり、担い手の核として期待することは現実的に難しい。また、「自治会の役員を引き受けることができないので、自治会を辞めたい」とおっしゃる方もいる。【活動の担い手不足】
- ・何か取組を行うにしても、自治会だけでなく、活動団体同士で協同することで、負担を軽減できる方策があるのではないか。【団体間連携】
- ・住民が今何に困っているのかを把握するアンケートをやるのはどうか。以前に自治会で防災に関するアンケートを実施したら、約80%の回収率であった。【ニーズ把握の必要性】
- ・団地の階段は、上下の繋がりはあっても横の繋がりが少ない。何かしら情報交換の場があると良い。【つながりの希薄化】



▲ Cグループ発表：  
青木委員（自治会会長）

### 委員会のまとめ



▲ 大谷委員長  
（竹山地区連合自治会会長）

- ・昨年度実施した「防災ささえ愛カード」の回収率は約80%と非常に高く、住民の地域への関心や課題意識の高さを実感した。
- ・次世代にも活動をつなげていくためには、若い世代がどのような形であれば活動に協力してもらえるのかを理解する必要がある。
- ・グループワークでも意見が出ていたが、竹山地区として住民アンケートを実施してはどうか。竹山地区に住んでいる方たちが今感じていることや率直な気持ちを把握したい。実施に向けて、部会等の組織を立ち上げて進めていきたい。

## 続いています。誰でもぶらりと立ち寄れる、「カフェぶらり」。

### 認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくり

竹山地区社会福祉協議会が中心になって、認知症の方をはじめ地域の方ならどなたでも集まって、コーヒーやお茶を飲みながら、情報交換等ができる場として「ふれあいさん竹多久」（A コープ2階）で、1～2か月に1度程度、日曜日に開催中です。詳しくは、階段の掲示板や竹山地区社会福祉協議会HP等でご案内しています。



「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。緑区では11地区ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。詳しくはHPや右記PR動画等からご覧ください。



<みどりのわ・ささえ愛プラン・竹山地区別計画推進策定委員会構成団体等>

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、小学校、保育園、こども会 等 計27名



竹山地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期-No.8（通算No.18）  
〈連絡先〉事務局 緑区保険年金課内 TEL：930-2336

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」

# 竹山地区別計画推進策定委員会

住民アンケート結果も踏まえて、  
重点的に取り組む必要があることを議論しました！

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の竹山地区別計画は今年度で4年目を迎えています。今回の委員会では第4期の計画策定に向けて、グループワークで竹山地区で重点的に取り組むことについて話し合いました。



次の5年間、重点的に取り組むべきことは？～意見の一部を紹介します。

【活動の負担軽減に必要なことは？】

- ・イベント数が多く行事をまとめてやるということも考えられる。ただし、単に減らせればよいわけではない。
- ・イベントを小規模化、またはコミュニティを縮小して、各コミュニティで実施していくことも良いのではないか。
- ・行事ごとの役員（担当）を決めたらどうか。



▲ Aグループ発表：平田委員  
(竹山地区社会福祉協議会事務局)

【世代間の交流促進に必要なことは？】

- ・地区内に交流の場や機会（竹多久、池活クラブ、子ども会等）があるので、子どもも大人も参加・交流できるイベントを企画する。
- ・竹多久では、テーマ型イベントを企画し、興味のありそうな人を呼び込み、それがきっかけとなり、別の機会にも訪れてもらうことを目指す。
- ・世代を超えたあいさつ運動を継続的に行っていく必要がある。



▲ Bグループ発表：山田委員  
(竹山二丁目民生委員・児童委員)

【情報をうまく伝えるために必要なことは？】

- ・地域の活動は盛んであるが、必要な人に情報が的確に伝わっていない。伝える側の工夫が大事。
- ・階段掲示している地域活動の情報を分かりやすくするために、見る側の視点に立った掲示物作成がポイント。チラシの作り方研修を開催する、チラシ作り等が得意な人材を探す、など必要。
- ・防災訓練などの活動はもちろん、他の活動も管理組合と連携して企画することで、効果的な情報発信ができるのではないか。



▲ Cグループ発表：高橋委員  
(連合自治会事務局次長)



委員長のまとめ



▲ 大谷委員長  
(竹山地区連合自治会会長)

- ・連合自治会の行事については、すでに多くの皆さんで役割分担をしているが、新しく関わる方にとっては大変に感じるところもある様子。そういう意味で、経験のある人の活躍はやはり必要であると感じている。
- ・では、「世代間交流をどのようにしたらよいか」というテーマは難しい部分もあるが、今後も検討を重ねていかねばならない。
- ・広報紙に自治会の動きを分かりやすく載せた方がよいというような共通の意見があると思われるので、それに応えられるようにしたい。

ご協力ありがとうございました！

## 住民アンケートの結果の一部を紹介します。

【調査概要】 調査期間：令和元年11～12月  
調査対象：竹山地区内全戸（3111世帯）配布 回収数等：1057票（回収率34.0%）

### （1）竹山地区の住民の概況

世帯人数は「1～2人」の世帯が全体の約7割を占めています。  
高齢人口の多い竹山地区では、世帯全体も高齢化していることが考えられます。家族のいない・少ない中で、家庭内だけでは問題解決できない可能性も考えられます。

⇒家庭内だけでなく、地域の住民同士の支え合い・見守りの必要性が高いことが伺えます。

### （2）地区活動について

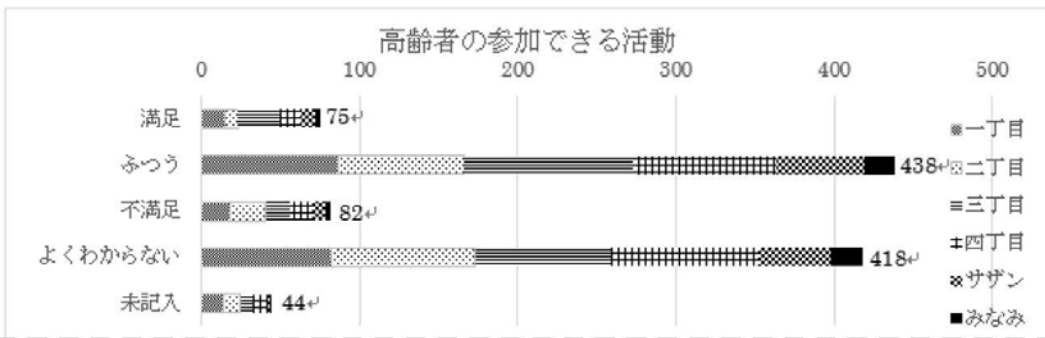
防災・防犯対策等自治会活動は住民の関心も高く認知されていますが、それに比べると高齢者や子ども、障害者に向けた福祉保健活動については、地区内で実施されているにも関わらず、あまり知られていないことがわかりました。

⇒活動やサービスに関する情報が住民の皆さんに十分に伝わっていないことが考えられます。

問 地区の活動について困っている事や要望はありますか。

#### ⑤ 高齢者の参加できる活動

「ふつう」と感じる人が多く、次いで「よくわからない」人が多い。



その他のアンケート結果の内容については、自治会館でも閲覧できます。ぜひご覧ください！



<くみどりのわ・ささえ愛プラン-竹山地区別計画推進策定委員会構成団体等>（順不同）  
連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、  
青少年指導員、竹山小学校、竹山小学校PTA、竹山保育園、こども会 等 計26名

# 白山地区

白山地区別計画推進策定委員会

## 地域 白山 1～4 丁目

緑区の東方に位置しており、地区の南側は旭区、北側は都筑区に隣接しています。北側には鶴見川が流れています。JR横浜線沿いの地区西側には白山ハイテクパーク（産業団地）、市営バス車庫、東側には大規模マンションが建っています。道路沿いに企業、商業施設等が並んでいます。

また、南側に向かって丘陵状になっており、計画的に整備された戸建中心の閑静な住宅地が広がっています。

### <主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

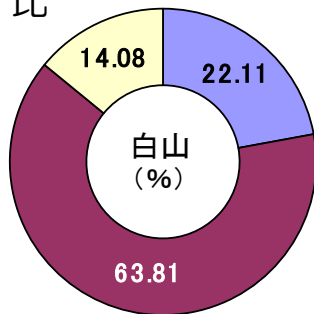
震災時避難場所（地域防災拠点）：鴨居中学校

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

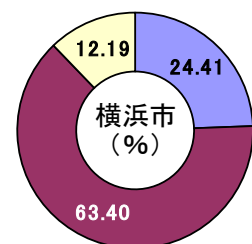
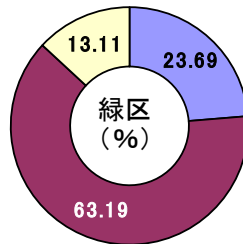
### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)

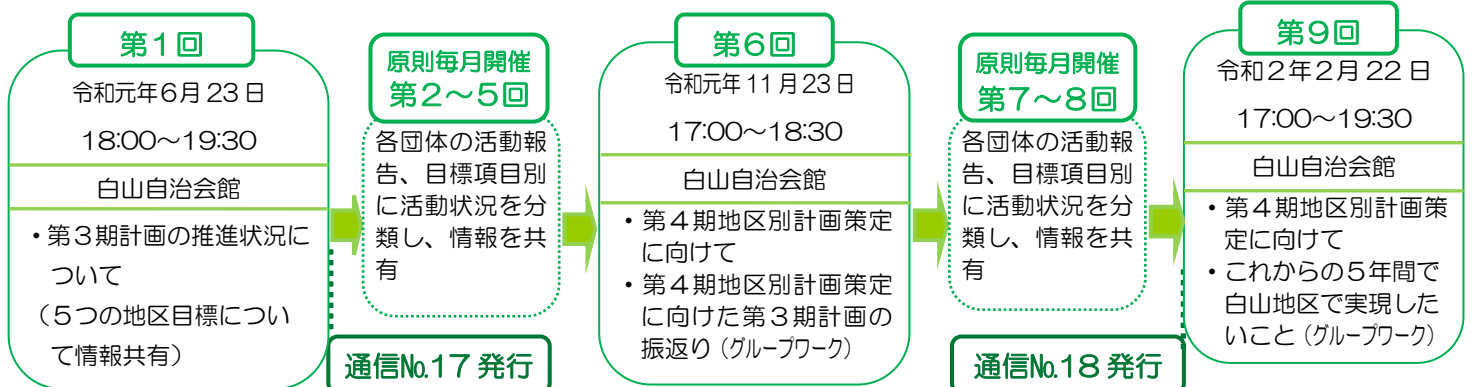


75歳～	1,152人
65～74歳	1,354人
15～64歳	7,234人
6～14歳	1,030人
0～5歳	566人
合計	11,336人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況





緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



# 白山地区



白山地区

## 進めよう！自助・共助・近助による 安全・安心なコミュニティづくり！！



白山地区では、  
『自助・共助・近助による 安全・安心なコミュニティづくり』の  
理念のもと、

①防犯 ②防災 ③福祉 ④子どもの健全育成 ⑤環境  
の5つの目標を掲げ、具体的な取組について、原則毎月、委員による話  
し合いを続けています。令和元年度はこれまでの取組について振り返り、  
今後の課題を共有しました。

1

### 防犯

防犯推進委員会を立ち上げ、防犯活動に取り組みました。  
白山緑自治会が行っている「さすまたパトロール隊」に加え、連合によるパトロー  
ルを年2回実施しました。今後は、マンション地区でのパトロールやイベントでの  
防犯活動のPR、勉強会を計画したいです。

2

### 防災

鴨居中学校の生徒が参加する防災訓練を行いました。今後は、防災についての関心  
を持ってもらうようチラシやホームページなどを活用し、情報発信をしていきたく  
いです。自治会によって災害リスクが異なるので、地域別対応マニュアルの作成も検  
討したいです。

3

### 福祉

「白山まつり」の開催等により、地域の交流の輪を広げています。交流サロン  
「Salon ジーバ」、白山ボランティアの会「猫の手」などの活動も行っています。  
今後は、担い手不足、PR不足への対応を検討したいです。

4

### 子どもの 健全育成

子育てしやすい地域づくりを目指し、登下校の見守りや挨拶活動を行っています。  
親子の集い「はくさんHAPPY MAMA'S」、コガモひろばも開催してい  
ます。今後は、イベントに参加しやすい風土づくり、周知するためのマークやチラ  
シ作成を検討したいです。

5

### 環境

道路や川の清掃や花植えなどのボランティア活動を行っています。今後は、各団  
体が協力し役割分担するとともに、取組成果を共有し活動するメンバーを増やす  
など、メンバーの高齢化に対応した工夫を検討したいです。

これらの目標を掲げながら、白山地区の皆さんが、「全員参加」で  
安全・安心なまちづくりができるよう、地区別計画を推進します。

そのためにはお互いの顔が見える関係づくりが不可欠です。

地域で行われているイベントや催しに、積極的にご参加ください！

白山地区別計画推進策定委員会





白山地区別計画推進策定委員会  
令和元年8月発行No.7（通算No.17）

## 白山地区別計画推進策定委員会通信

# 第3期計画が4年目を迎え、これまでの3年間の振り返りをしました。

令和元年6月23日（日）に令和元年度第1回「みどりのわ・ささえ愛プラン 白山地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

新しく推進策定委員に就任された方もいるため、まず理念と目標の共有を行いました。

5つの目標ごとに各活動に携わった方から、3年間の取組について報告がありました。

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む緑区の『地域福祉保健計画』です。白山地区でも地区別計画を定めて推進しています。

### 白山地区の理念

「自助・共助・近助」による  
安全・安心なコミュニティづくり



▲山口委員長と委員会の様子

### 5つの目標



- 防犯・・・地域の防犯力を高めよう！
- 防災・・・自助・共助・近助の力を育もう！
- 福祉・・・孤立化を防ごう！
- 子どもの健全育成・・・子育てしやすい地域づくりをめざそう！
- 環境・・・ごみ・美化・地球温暖化などの課題に地域で取り組もう！

白山地区では、毎月第4土曜日の18時から委員会を開催し、目標実現に向けた話し合いを続けています。これまで、自治会での防犯パトロール、防災訓練、ボランティアグループの清掃活動、高齢者や親子のサロンの開設など、「安全・安心なコミュニティ」の実現につながる活動が生まれています。

地域の課題に対して理念と目標を全員で共有して全員で取り組んで、「希望」につなげる第一歩となる「飛躍の令和元年度」にしていきたいと思います。

**白山地区別計画推進策定委員メンバー** ◎委員長 白山連合自治会長 山口 章

委員会は下記各団体等の代表者・役員で構成しています。（委員32名）

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員
- コガモひろば ●消費生活推進員 ●スポーツ推進委員 ●青少年指導員
- 保健活動推進員 ●わかば会 ●いちえ会 ●消防団 ●白山グリーンクラブ
- 白山シニア会 ●白寿会 ●環境事業推進委員 ●交通安全協会（順不同）

## 今までの取り組みについて目標別に振り返りと今後の課題を報告しました

### 目標1 地域の防犯力を高めよう

- ・防犯パトロールを充実しました。白山緑自治会では、年間160日、参加者延べ4000人でパトロールを行いました。
- ・3自治会にて合同防犯パトロールを平成30年度は4回実施しました。令和元年度は連合で委員会を立ち上げて7月に2回行う予定です。
- ・パトロール活動は、健康のためにもなっています。

### 目標2 自助・共助・近助の力を育もう

- ・防災拠点の機材を充実しました。その機材の安全な使い方の練習や救出訓練も行っていきます。中学生の参加も頼もしく、地域で支え合う大切さも育まれます。
- ・「防災ささえ愛カード」の整備や安否確認などを検討していきます。
- ・防災拠点運営マニュアルを白山地区版として改訂し、冬を想定した避難所の運営訓練も行います。
- ・救命処置訓練を実施し三角巾の使い方を学びました。

### 目標3 孤立化を防ごう

- ・Salon ジーバは、昨年、年間681名の参加がありました。ケアプラザによる、出張相談会や健康チェックも開催しました。
- ・食事会（白山いちえ会）は平成30年度に3回実施し好評でした。
- ・配食サービス（わかば会）は週1回活動中です。独り暮らしのご高齢の利用者が増えており、食事を届ける際の声掛けを大切にしています。高齢化が進み担い手が減ってきています。
- ・白山ボランティアグループ「猫の手」は地域への宣伝にも力を入れています。

### 目標4 子育てしやすい 地域づくりをめざそう

- ・球技大会、書初め大会を実施しています。こどもの健全育成のためにイベントだけでなく取組を考えていきたいです。
  - ・コガモひろばは月2回鴨居地域ケアプラザにて開催中です。対象は1歳児から未就園児としています。毎回約20組の親子が参加しました。
- ※はくさん HAPPY MAMA'S も開催中!

### 目標5 ごみ・美化・地球温暖化などの 課題に地域で取り組もう

- ・美化分野は白山グリーンクラブによる白山道路への花植えの活動が行われています。
- ・高齢化で活動が難しくなる場合もあり、参加人数の減少化が課題になっています。
- ・ごみ分野の活動はこれから力をいれて進めていけるとよいのでは。

### 今年度の地域防災拠点訓練

#### 【日時】

第1部 令和元年8月31日（土）

第2部 9月1日（日）

第3部 12月1日（日）

#### 【会場】鴨居中学校

多くの皆様のご参加をお願いします！

みんなで防災意識を高めましょう！！



<連絡先> 白山地区別計画推進策定委員会事務局 緑区生活支援課長 TEL：930-2318





白山地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行No.8（通算No.18）

## 白山地区別計画推進策定委員会通信

# 第4期計画策定にむけて～次の5年間に必要なこと

令和元年度「みどりのわ・ささえ愛プラン 白山地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

第2回 令和元年11月23日（土）

第3回 令和2年2月22日（土）

これまでの活動の振り返りと第4期緑区地域福祉保健計画『白山地区別計画』の策定に向けた意見交換をおこないました。

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む緑区の『地域福祉保健計画』です。白山地区でも地区別計画を定めて推進しています。

### 白山地区の理念

「自助・共助・近助」による  
安全・安心なコミュニティづくり



▲ 山口委員長と委員会の様子

### 5つの目標



- ① 防犯・・・地域の防犯力を高めよう！
- ② 防災・・・自助・共助・近助の力を育もう！
- ③ 福祉・・・孤立化を防ごう！
- ④ 子どもの健全育成
  - ・・・子育てしやすい  
地域づくりをめざそう！
- ⑤ 環境・・・ごみ・美化・地球温暖化などの課題に地域で取り組もう！

白山地区では、原則毎月第4土曜日の18時から委員会を開催し、目標実現に向けた話し合いを続けています。これまで、自治会での防犯パトロールや防災訓練、ボランティアグループによる清掃活動、高齢者や親子のサロンの開設など、「安全・安心なコミュニティ」の実現につながる活動に取り組んできました。

地域の課題に対して理念と目標を全員で共有して全員で取り組んで、「希望」につなげる第一歩となる「飛躍の令和2年度」にしていきたいと思います。

**白山地区別計画推進策定委員メンバー** ◎委員長 白山連合自治会長 山口 章

委員会は下記各団体等の代表者・役員で構成しています。（委員 34名）

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員
- コガモひろば ●消費生活推進員 ●スポーツ推進委員 ●青少年指導員
- 保健活動推進員 ●わかば会 ●いちえ会 ●消防団 ●白山グリーンクラブ
- 白山シニア会 ●白寿会 ●環境事業推進委員 ●交通安全協会（順不同）



## 今までの取組について目標別の振り返り、今後の課題・意見交換

### 目標1 地域の防犯力を高めよう

- ・防犯パトロールを充実しました。連合パトロール4回実施。白山緑自治会では、年間160日パトロールを行いました。
- ・パトロール活動は気軽に参加でき、健康のためにもなっています。
- ・今後はマンション群によるパトロールも計画していけたらよい。
- ・様々なイベントでのPR、防犯についての勉強会を開催したい。

### 目標2 自助・共助・近助の力を育もう

- ・ささえ愛カードは個人情報に気にする人が多く回収、管理が難しい。
- ⇒ 玄関に貼り付けるマグネットシートを配布し、災害時に安否確認や避難先を表示できるような仕組みを検討していきたい。
- ・防災に関する広報が不足
- ⇒ チラシなどを活用して、防災訓練など防災に関心をもってもらいたい。有効なチラシ作成のための講習を開催してほしい。
- ・HPやSNSなどを活用して、若者にも防災訓練など防災に関心をもってもらえるとよい。
- ・地域によって災害のリスクは異なる。地区別の対応マニュアルを作成してはどうか。

### 目標3 孤立化を防ごう

- ・自治会未加入者の孤立化を防ぐために、自治会への加入メリットをPRしたい。
- ・ボランティア活動団体のPRをもっと行い、依頼を増やしたい。
- ・担い手の高齢化も今後の課題。対応を考えたい。

### 目標4 子育てしやすい 地域づくりをめざそう

- ・挨拶を交わすのが白山のよいところ。登下校の見守りの他にも挨拶できる風土づくりが大切。
- ⇒ ユニフォームやシンボルマークがあるとよいのではないかな。
- ・イベントに参加しやすい風土づくりを目指したい。役員の負担軽減も必要。
- ・子ども会の負担軽減のためのサポートもできるとよい。
- ・コガモひろば、はくさんHAPPY MAMA'Sは継続していけるとよい。
- ⇒ さらに周知するためチラシを工夫したい

### 目標5 ごみ・美化・地球温暖化などの課題に地域で取り組もう

- ・活動の役員の高齢化が課題
- ⇒ 各団体で同じ活動をしているメンバーが協力し役割分担をする、実践した取組成果を共有し、良い刺激になるとよい。
- ・多様な活動が、コミュニケーションや美化、防犯にもつながっている。



### 冬の地域防災拠点訓練を実施！

令和元年11月30日(土) 会場：鴨居中学校格技場

寒さの中、夜遅くまで多くの皆様にご参加いただきました。ありがとうございました！

☆引き続き…防災意識を高めよう！

<連絡先> 白山地区別計画推進策定委員会事務局 緑区生活支援課長 TEL：930-2318

# 新治中部地区

新治中部地区別計画推進策定委員会

**地域** 台村町、森の台、寺山町、中山1～6丁目、上山1～3丁目

明治41年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成されました。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設があります。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成20年3月開通しました。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり、緑豊かな環境となっています。

### <主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

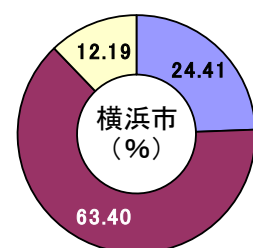
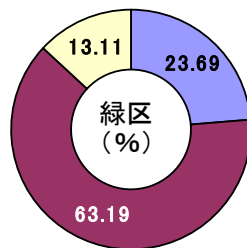
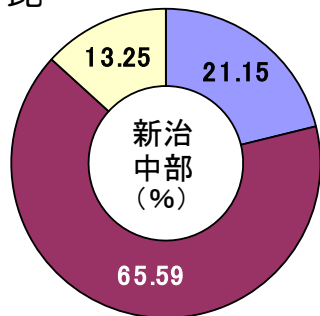
震災時避難場所（地域防災拠点）：上山小学校、中山小学校、中山中学校、森の台小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比



75歳～	3,519人
65～74歳	3,552人
15～64歳	21,927人
6～14歳	2,817人
0～5歳	1,614人
合計	33,429人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況

#### 第1回

令和元年8月22日

10:00～11:30

中山町自治会館

- ・第3期計画の振り返り
- ・子ども・子育て世代の声を集めるために
- ・防犯・防災キャッチフレーズの取組について

通信No.18 発行

#### 第2回

令和2年2月20日

9:30～11:30

寺山町自治会館

- ・第4期地区別計画～これからの新治中部地区に必要な取組について～(グループワーク)
- ・子ども・子育て世代の声を集めるための取組について

通信No.19 発行



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



# 新治中部地区

台村町・森の台・寺山町・中山町・上山の5つの町で構成



## 防犯・防災に強い、次世代につながるまちをめざして！

新治中部地区では、第3期計画で大きく2つの目標を掲げて、まちづくりに取り組んでいます。

### 「第7回 防犯・防災キャッチフレーズ」 & 「第21回 新治中部ふれあいフェスティバル」



地域の防犯・防災意識を高めていく取組として、地域の小・中学生を対象として、キャッチフレーズとなる標語を募集しています。

平成25年度から始まり7回目を迎えた今年度も566件という多くの標語が集まり、最優秀4作品を含む39作品が入選作品として選出されました。入選作品については「地域ふれあいフェスティバル」で表彰式を行いました。

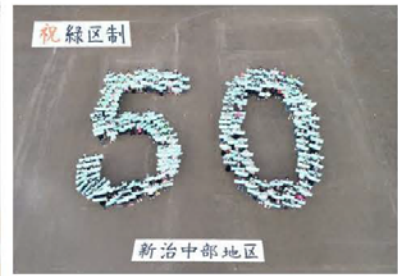
また、フェスティバル当日には、区制50周年をお祝いして、参加者で「50」の文字をつくってドローンで撮影をしました。今後も、フェスティバルを通じて、次世代を担う子どもたちの「健全育成」、そして「ふるさとづくり」につなげていきます。



▲ 最優秀作品をまとめたポスター



▲ ふれあいフェスティバルの様子 ▲



### 子ども・子育て世代への調査実施に向けて検討中 ～次世代につながるまちづくりをめざして



「子どもたちに新治中部にもっと興味や愛着を持ってほしい。それが将来の新治中部の活力につながる」というテーマで、過年度から議論が進められてきましたが、今年度は地域全体で子どもたちの健やかな育ちを見守っていくために、子ども自身や親世代など、もっと多くの声を集めていく調査の実施を検討しています。実施に向けて専門部会を立ち上げて議論を進めています。



▲ 地区別計画推進策定委員会の様子

新治中部地区別計画推進策定委員会





新治中部地区別計画推進策定委員会  
令和元年10月発行 第3期No.6 (通算No.18)



## 新治中部地区別計画推進策定委員会 通信

第1回委員会を開催し、  
計画の振り返りを踏まえた今年度の取組を検討しました！

令和元年8月22日(木)に、「第1回新治中部地区別計画推進策定委員会」を中山町自治会館にて開催しました。  
今回は第3期計画でこれまで取り組んできたことの振り返りを行うとともに、今年度の防犯・防災キャッチフレーズの取組について議論を進めました！



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン」新治中部地区別計画 とは？

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。

緑区では11連合自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

#### ～新治中部地区別計画 2つの目標～

- ① 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- ② 次世代につながるまちにしたい



この2つを  
目標に、取組を  
進めています！



## 第3期計画の振り返りについて～意見の一部を紹介します。

石井委員及び古内委員から、これまでの取組を目標に沿って紹介していただきました。  
参加者からはそれに対する意見を募りました。

- 子どもの自尊感情を高めるには、「ほめる」ことが良いと一般的に言われるが、共通体験（盆踊り、お祭りなど）・共感を積み重ねていくことが大切であるとも言われている。防犯・防災キャッチフレーズについては地域のことを考える良い機会になっている。
- 防犯に関連して、児童をどのように守っていくか関心が高まっている。緊急事態の際には、民生委員・児童委員の皆さんが下校を見守ってくれることもあり、ありがたく感じている。
- 登下校の見守りをより良くしていくために、スクールガード・学援隊と話し合いの場も設けて、具体的な取組を検討していきたい。
- 今後取り組みを続けながら、子どもも地域の方を知ることが大切だと感じる。挨拶等を通じて関係性を構築することで防犯・防災の意識も高まっていくのでは。
- 一方で、子どもが自分から挨拶しているのに対して、大人は自ら挨拶をするという意識が低いのではないか。子どもが笑顔になるためには大人も笑顔になる。
- 自治会同士でも情報交換の場を設けて、良い取り組みは共有して課題は一緒に解決していきたい。



▲ 石井委員  
(地区社会福祉協議会事務局長)



▲ 古内委員  
(民生委員・児童委員)



## 今後の取組について

「次世代につながるまちづくり」をテーマに平成30年度第2回委員会では学校の校長先生方から、子どもを取り巻く現状についてお話をいただきました。それを受けて、委員会では次のような一幕がありました。(以下、通信第3期No.5の記事を抜粋)

**委員のお話から**

- ・夏休みや春休みなど、地域のサロンなど、子どもが来ても来なくても嬉しい場もある。学校で一緒に同じで良かったらいい。
- ・共働き世帯も増えたり、時代が変わる中で、地域で子どもを見守り、育てていくためには、支える側だけでなく、当事者の子ども・親世代・保護者の声を集めて、保護者の生活感や子どもの思いを受け取っていくことが必要。その意見を橋の連携で実現していったらいい。

「できていること」と、「できたらいい」はたくさんあります。  
子どもたちが本当に必要としている支援を図るために→

**来年度は、新治中部の子どもたち、親世代の声を集めていきます！**

これを受けて、今年度、子どもたち又は親世代の声を集める取組を委員会として行います。具体的には、調査に係る専門部会を設立して検討を進めていく予定で、詳細は今後決定します。

地域にお住まいの皆様にご調査協力のお声がけをさせていただいた際には、ぜひご協力をお願いします。



▲ 副委員長  
(地区社会福祉協議会会長)

## 防犯・防災キャッチフレーズ

### 今年度もたくさんのご応募ありがとうございました！

今年度も地区内の小学校3校(中山、上山、森の台)、中山中学校の児童・生徒を対象に「防犯・防災キャッチフレーズ」の募集を行いました。募集の結果、合計566件もの応募をいただきました。

選考委員会で選出された最優秀表彰作品については、ふれあいフェスティバルでの表彰の後、ポスターが地区内の各自治会掲示板等に掲示されます。



＜新治中部地区別計画推進策定委員会 議決団体等＞  
 連合自治会、単独自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、  
 主任児童委員、保護者代表委員、青少年指導員、老人会、食卓会、  
 子ども育成会、小学校、中学校 計38名

＜連絡先＞新治中部地区別計画推進策定委員会事務局  
 緑区福祉保健課長 TEL：930-2352





新治中部地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期 No.7 (通算No.19)

## 新治中部地区別計画推進策定委員会 通信

第2回委員会を開催し、  
次期計画の策定に向けて重点取組を検討しました！

令和2年2月20日(木)に、「第2回新治中部地区別計画推進策定委員会」を寺山町自治会館にて開催しました。今回は次期計画の策定に向けて、重点的に取り組んでいく必要のあることについて意見交換するとともに、今年度の防犯・防災キャッチフレーズの取組報告をしました！



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン」新治中部地区別計画とは？

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。

緑区では11 連自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

#### ～新治中部地区別計画 2つの目標～

- ① 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- ② 次世代につながるまちにしたい



この2つを  
目標に、取組を  
進めています！



## 次期計画で重点的に取り組むこと ～意見の一部を紹介します。

### 【防犯・防災に強いまちづくり】

- ・防犯・防災キャッチフレーズの取組については、子が親と話し合う機会になり、意識醸成にもつながっている。
- ・実際に災害が起きたら互いに支え合えるように、防災訓練の機会に小・中・高生など若い世代が参加することも必要だろう。
- ・外国につながる住民との共生を目指して、防犯・防災活動などに参加してもらえるように取り組んでいく必要があるだろう。



### 【顔の見える関係づくり】

- ・特に災害時に地域での助け合いが必要となることを想定すると、日頃から顔の見える関係づくりのために、近所付き合い、声かけ、地域活動への参加が大切である。
- ・防犯パトロールなどゆるやかな見守り活動を行うことは、地域の方と顔見知りになることができ、お互いの信頼感や安心感につながるのを継続していくべき。
- ・防災訓練の際に、一人暮らし高齢者や白いリボンを玄関先に掲げていないお宅を訪問して、支援が必要な方との関係づくりを行っており、今後も継続していく。

【次世代につながるまちづくり】

- 子ども・子育て世代から高齢世代までの世代を超えた交流が必要である。おまつりや運動会、防災訓練など**全員参加型のイベント**を継続するとともに、**参加者同士がつながりを深めることのできる取組**が必要だろう。スタッフ側でも参加しやすくなるように**役割のコンパクト化、明確化**が肝要である。
- 子どもが参加することで、保護者も参加しやすい。若い世代や子どもが**遊び感覚**で参加できる工夫が必要である。
- 若い世代が活動の情報を入手できるよう、学校と地域が連携して発信や、SNSの活用などが必要である。



委員の皆さんからいただいた様々な意見を踏まえると、新治中部地区は「防犯・防災に強いまち」、「子ども・高齢者の見守りなど顔の見える関係づくり」、「次世代につながるまち」などがとても大切なテーマとなると思います。第4期計画の策定にあたっては委員の皆さんの意見も踏まえて、検討を進めていきたいと思っています。



▲ 臼井委員長  
(地区連合自治会長)

## 子ども・子育て世代向け調査を実施予定です！

「次世代につながるまちづくり」をテーマに、子どもや子育て世代の皆さんが地域活動にどのようなことを期待しているのかを確認するために調査を行うことを検討しています。

具体的な調査の手法や内容について検討をしている調査部会（委員：自治会、地区社協、主任児童委員、子育て支援有識者等）から、現在の検討状況について報告がありました。

今後、地域の皆様に調査を行い、その結果を踏まえて次期計画への反映を検討していきます。

春以降には調査を実施できるよう準備を進めます。ぜひ調査のお声がけした際にはご協力をお願いします。



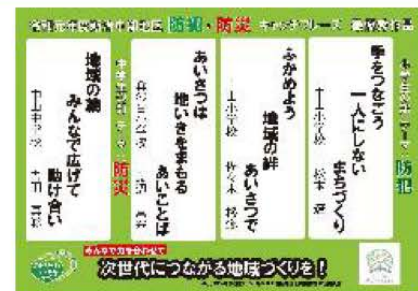
▲ 喜代永副委員長  
(地区社会福祉協議会会長)

## 防犯・防災キャッチフレーズ

### 今年度の最優秀作品がまちに掲示されています！

今年度も地区内の小学校3校（中山、上山、森の台）、中山中学校の児童・生徒を対象に「防犯・防災キャッチフレーズ」の募集を行い（応募件数566件）、選考の結果、4つの最優秀作品を選出して、ポスターを地区内の各自治会掲示板等に掲示しています。

また、優秀作品として選出された児童・生徒の皆さんには、令和元年10月27日（日）の地域ふれあいフェスティバルで表彰を行いました。



▲ 令和元年度 最優秀表彰作品ポスター

＜新治中部地区別計画推進策定委員会 構成団体等＞  
連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、老人会、食事会、子ども育成会、小学校、中学校 計37名

＜連絡先＞新治中部地区別計画推進策定委員会事務局  
緑区福祉保健課長 TEL：930-2352



# 三保地区

三保地区別計画推進策定委員会

## 地域 三保町

緑区の中央に位置し、地区の南側は旭区に隣接しています。北側約半分には、いくつかの集合住宅と既存の住宅など、住宅地が広がっています。南側には「三保市民の森」など広大な緑地が残されていますが、ここ数年間で開発が進み、住宅が増えています。

また、特別養護老人ホームなどの高齢者施設が多くあります。

### <主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

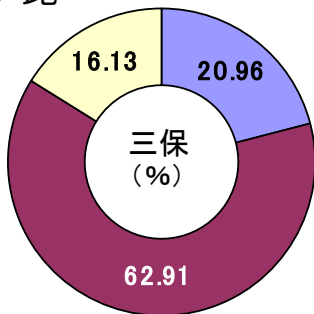
震災時避難場所（地域防災拠点）：三保小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

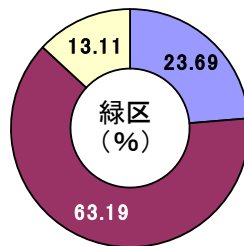
令和元年(2019年)9月末

人口比

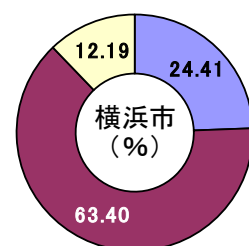


75歳～	1,504人
65～74歳	1,715人
15～64歳	9,661人
6～14歳	1,609人
0～5歳	869人
合計	15,358人

□ 高齢化率(65歳以上) ■ 生産年齢人口比率(15～64歳) ○ 年少人口比率(0～14歳)



75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人



75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況

#### 第1回

令和元年8月24日

14:00～15:30

三保町自治会館

- ・三保地区別計画について
- ・「見守り・居場所づくり検討委員会」の取組報告
- ・第3期三保地区別計画の中間振り返り（意見交換）

通信No.17 発行

#### 第2回

令和2年1月25日

14:00～16:00

三保町自治会館

- ・三保地区別計画について
- ・第4期地区別計画策定に向けて「見守り・居場所づくり検討委員会」の取組報告
- 今後三保地区内で必要な取組について（グループワーク）

通信No.18 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



# 三保地区



地域の「居場所づくり」を進め、  
落ち着いて活動できる街を目指します！

令和元年度は以前から進めている居場所づくりに  
ついて話し合いを進めました。

すでに利用を開始している『さんさんルーム1号館』につき、  
『さんさんルーム2号館』が令和元年10月にオープンしました。  
開設や運営にあたり、管理運営委員会を中心に検討を重ねています。



## さんさんルーム2号館が開設！

第1回地区別計画推進策定委員会では『さんさんルーム2号館』の利用方法や  
運用方法について話し合いました。そして、第2回地区別計画推進策定委員会  
では今後の活動など具体的な報告が行われました。

オープンしたばかりの『さんさんルーム2号館』を  
地域の多くの方々に知ってもらい、また利用してもら  
うため、趣味活動（書道、写真、ヨガ、折り紙）を  
行う予定です。

誰でも使いやすいようにルールを決め、  
『さんさんルーム1号館』とともに地域の財産としてみんなで協力して活用して  
いきます。



## 第4期三保地区別計画の策定に向けて

第2回地区別計画推進策定委員会では、三保地区の  
課題や今後必要な取組みについて意見交換を行いました。

地域の担い手、情報の伝達方法、地区内での交流  
など様々な取組について話し合いが行われました。



「居場所づくり」などの第3期計画を推進しながら、次の第4期計画に  
向け取り組めるとよいことを引き続き検討していきます！

三保地区別計画推進策定委員会





三保地区別計画推進策定委員会  
令和元年11月発行第3期 No.7 (通算 No.17)

## 三保地区別計画推進策定委員会通信

### 第1回三保地区別計画推進策定委員会を開催しました！

令和元年8月24日（土）三保町自治会館において、「令和元年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン三保地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

これまでの取り組みの報告と、状況の共有を行い、計画を推進するための話し合いがおこなわれました。

また、新たな居場所として検討されていた「さんさんルーム2号館」について、令和元年10月の開所に向け運用方法や具体的な活用内容に焦点をあてて意見交換を行いました。



▲委員会の様子

### これまでの取り組み

以前から進めている「居場所づくり」について話し合いを重ねてきました。

すでに利用を開始している「さんさんルーム」（三井住建道路(株)関東支店 南関東営業所 別棟会議室）に加え、新たな居場所としての「さんさんルーム2号館」開設に向け、地域の方々が使いやすいように打合せや調整を行ってきました。

さんさんルーム



使用ルールのパンフレット



さんさんルーム2号館



新しい地域の居場所「さんさんルーム2号館」が  
令和元年10月から使えるようになったよ！

詳しい利用案内は、三保地区の各自治会で配布しているほか、さんさんルーム2号館の入口で入手できます。  
多くの方のご利用をおまちしています！

第3期三保地区別計画の中間振り返りを行いました。  
これまでの取り組みの振り返りと課題を中心に  
意見交換を行いました。

## 三保地区別計画（平成28～令和2年度）



### 目標1 地域でのつながりを大切に、活動を活発にしたい

#### 【活動報告】

- ・ウォークラリー、とうもろこし収穫祭、ふれあい給食、体操教室等について報告がおこなわれました。
- ・イベントの周知方法などの課題について意見交換が行われました。



### 目標2 落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

#### 【活動報告】

- ・学習支援「サンサン」を始めました。  
今後集まりやすさなどを考え、さんさんルーム2号館でも開催。
- ・自治会と老人会で月1回定期的に交流の場を設け、自由にあつまって歓談をしています。



### 目標3 地域が団結して、防災力を高めたい

#### 【活動報告】

- ・三保小学校地域防災拠点での防災拠点開設訓練を行いました。  
訓練には三保小学校5年生も参加しました。
- ・各自治会単位の防災訓練について報告がありました。  
定期的に無線機を使った訓練を実施しています。



- さんさんルーム2号館を地域の活動場所として、みんなで使うためのルールをきめたよ！
- 三保地区別計画第3期計画の振り返りをしたよ。第4期計画策定に向けても、地域の様々な意見を整理しながら、話し合いを進めていくよ！

#### 委員紹介 委員会は下記各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●主任児童委員
- 保健活動推進員 ●消費生活推進員 ●青少年指導員 ●スポーツ推進委員 ●老人クラブ連合会
- 防犯指導員 ●少年補導員 ●ボランティアみほ ●隣友会 ●三保おやじ団 ●友愛活動推進員
- 三保小学校PTA ●三保小学校

＜連絡先＞ 三保地区 地区別計画推進策定委員会事務局  
緑区生活衛生課 TEL：930-2364





三保地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行第3期 No.8 (通算No.18)

## 三保地区別計画推進策定委員会通信

# 第2回三保地区別計画推進策定委員会を開催しました！

令和2年1月25日（土）三保町自治会館において、「令和元年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン三保地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

居場所づくりの成果である「さんさんルーム1号館」や「さんさんルーム2号館」の活用など、令和元年度前期の活動を振り返りました。

また、第4期三保地区別計画の策定に向けて、今後の地域に必要な取組について、意見を出し合いました。

【第2回三保地区別計画推進策定委員会の様子】📷



## 令和元年度の取組

### さんさんルーム2号館オープン！

「さんさんルーム1号館」につづき、「さんさんルーム2号館」が令和元年10月にオープンしました。

「さんさんルーム2号館」の開設にあたり、管理運営委員会で検討を重ね、利用方法やルールを決めました。

会場を多くの方に知ってもらい、地域の方々に利用してもらうため、書道、写真、ヨガ、折り紙など様々な趣味活動を行う予定です。



📄 開設のご案内や  
趣味活動のご提案などの  
チラシを作成・配布

地区社会福祉協議会会報📰  
でも特集ページがありました



今後、三保地区でどんな活動をしていきたいか、また、どんな課題があるか、グループで意見を出し合いました！ ➡裏面に続く

## 今後に三保地区内で必要な取組・課題

### Aグループ

- ・地域の担い手不足に着目し、どのように発掘していくかという視点で議論した。
- ・PTA 活動も担い手が少ないのが現状。
- ・子育て世代が集まるには、活動中の子供を見てくれる人が必要。ボランティアを募るなら様々な媒体で広報を。

### Bグループ

- ・担い手不足、つながりの希薄化、情報の伝達について議論した。
- ・地域の中で日頃から関わる機会が少なくなりつつある。
- ・地域の取組への潜在的ニーズはあるが情報が届かず参加者が少ない。
- ・情報伝達の方法に工夫が必要。

### Cグループ

- ・担い手の負担が減るよう、運営方法の見直すことも大切。
- ・新たな居場所で、地域の様々な活動団体に利用促進を図ることも大切。
- ・団体間交流の機会をつくるとつながりの輪が広がっていくのではないかな。
- ・集まることで交流につながるから大切。

### Dグループ

- ・活動が高齢者中心。若い世代の活躍も期待したい。
- ・回覧をしても参加者が少ないこともある。地域の行事の時に他の行事のPR をしてはどうか。
- ・団体同士の交流・参加が大切。

各グループで活発な意見交換が行われました。活動・取組での悩みや課題では、担い手不足、情報の伝達方法、地域のとつながりの希薄化などがあげられました。これから取り組めたらよいこととして、情報伝達の工夫、地区内での交流、地域のニーズ調査などが提案されました。



今回あがった意見を元に、みんなでよりよい地区づくりを進めていきましょう！

### 委員紹介

三保地区別計画推進策定委員会は、下記各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●主任児童委員
- 保健活動推進員 ●消費生活推進員 ●青少年指導員 ●スポーツ推進委員 ●老人クラブ連合会
- 防犯指導員 ●友愛活動推進委員 ●隣友会 ●三保おやじ団 ●三保小学校PTA
- 三保小学校 ●さんさんルーム2号館管理運営委員会

## 三保地区別計画（平成28～令和2年度）

### 目標1

地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい

### 目標2

落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

### 目標3

地域が団結して、防災力を高めたい



<連絡先> 三保地区別計画推進策定委員会事務局 緑区生活衛生課 TEL：930-2364



# 山下地区

山下地区別計画推進策定委員会

## 地域 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

緑区の北側に、恩田川と鶴見川に挟まれた形で東西に長く位置し、地区の北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接しています。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅が並んでいます。

山下地域交流センターや山下みどり台小学校コミュニティハウスが活動の拠点となっています。また、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの福祉施設が多くあります。

### <主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）、青葉台駅、藤が丘駅（東急田園都市線）

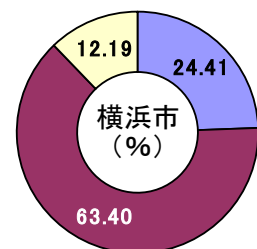
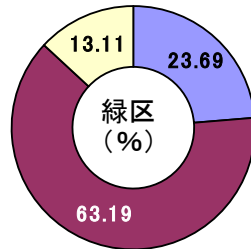
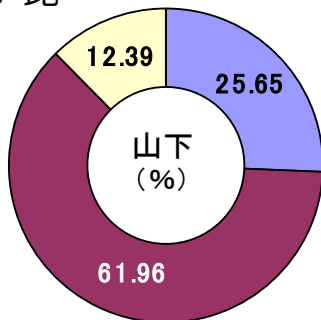
震災時避難場所（地域防災拠点）：山下小学校、山下みどり台小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ、地域包括支援センターふじ寿か園

### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比

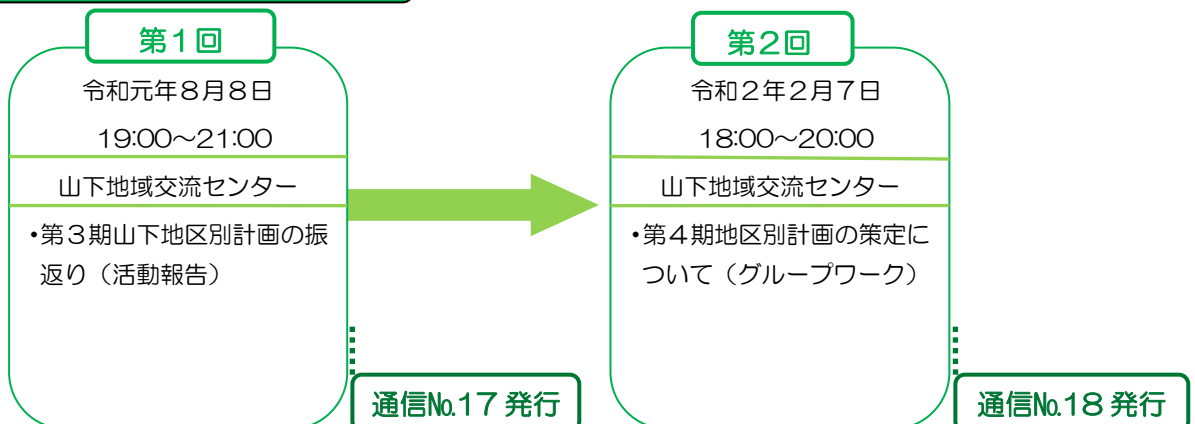


75歳～	2,497人
65～74歳	1,761人
15～64歳	10,285人
6～14歳	1,262人
0～5歳	794人
合計	16,599人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



# 山下地区



～ 安全・安心で住みやすい「山下地区」へ～  
**令和元年度の新しい取組み！**

## 生活支援活動の開始

令和元年から、山下地区では生活支援活動を開始しました！ これは山下地区にお住まいの高齢者世帯、一人暮らしの方、その他支援を必要とする方の「チョットした困り事」に手を差し伸べるささえあい活動です。

「草取り」、「枝切」、「電球交換」、「部屋の掃除片付け」「家具の移動」の5つのメニューがあります。すでに、50件以上の依頼を受け、期待の大きさと必要性を感じています。



山下ボランティアセンターでは、1件1件お申し込みを随時受付し、一人暮らしの高齢者、世帯内高齢者を最優先して必要なサービス提供を行っています。

料金は無料！  
 個人情報厳守します。  
 山下「チャイボラ」の会より  
**ボランティアアサイン募集**  
 都合の付く時間と一緒に活動しませんか？  
 地域の助け合いに情心のある方、ぜひボランティアに活動ください！

山下ボランティアセンター  
**ご利用案内**

ちょっと困ったときは  
 お電話ください！

電話番号  
 090-8144-0361  
 山下ボランティアセンター

## ささえあいバスの本格運行

ささえあいバスの本格運行が始まりました！  
 このバスは、山下地区内の交通網の充実を進め、高齢者や子育て世代の移動手段を提供することを目的に、2年4カ月の実証運行を経て平成31年4月から本格運行となりました。

現在、会員数は220名を超え、少しずつささえあいバスの認知度が増えています。実証運行時からの山下地域交流センターを中心とした交流センター便と近隣のスーパーへ行く買物便を定時定路線運行しています。また利用者の要望により運行するグループ便なども取り入れていくことで、地域の活動にも参加しやすくし、利便性を高めていきます。



山下地区 地区別計画推進策定委員会





山下地区別計画推進策定委員会  
令和元年9月発行 第3期No.7 (通算No.17)

## 山下地区別計画推進策定委員会通信



# 地域で温かくささえあう安全・安心な「山下地区」へ

例年になく長かった梅雨が明け、厳しい暑さがやってきた令和元年8月8日(木)、令和元年度の第1回「山下地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

まず、第3期「みどりのわ・ささえ愛プラン」山下地区別計画における、平成30年度の取組と第3期山下地区別計画の振り返りを行ったのち、令和元年度の取組の報告をしました。



▲第1回委員会の様子

### ★ 令和元年度の取組 ★

#### 1 ささえあいバスの本格運用



交通網の充実を進め、高齢者や子育て世代の移動手段を提供することを目的に、平成28年12月から実証運行が続けられてきました。実証運行の実績、会員へのアンケート結果を踏まえ**本年4月からは、本格運行へと移行しました。**

現在、会員数は194名となり、毎月利用者数が増えてきています！今後、定時定路線運行の他、利用者の要望により運行するグループ便なども取り入れさらに利便性を高めていきます。

#### 2 生活支援ボランティア活動



支援を必要とする利用者をボランティア活動で支え、「ささえあい」による明るい生き甲斐のあるまちづくりに取組んでいきます。この事業の推進と支援を行う「山下地区生活支援事業推進委員会」、要援護者の依頼をボランティアにつなぐ「山下ボランティアセンター」、実際にボランティア活動を行う「山下チョイボラの会」で構成されています。

試行期間として、7月からスタートし、来年1月からの本格実施を目指しています。

利用メニューは ①草取り ②枝切 ③電球交換 ④部屋の掃除片付け ⑤家具移動 です。

【令和元年度 山下地区別計画推進委員 令和元年8月8日現在】(50音順 敬称略)

安部智恵、荒谷孝道、井上和子、小熊富美、落合秀行、小嶋賢治、小柳新一、口櫻井憲一、○篠崎 慧、  
澁井まどか、菅沼繁晴、鈴木哲生、田中大成、谷井春夫、口中野達也、仲原富士夫、中村逸子、中村忠治、  
成島昭吾、濱野健次、平山千恵子、福島信秀、堀内倭文子、宮田文夫、口村田忠義(○印：委員長、□印：新任)

### ★ 第3期地区別計画の中間振り返り（平成28年度～30年度の取組） ★

次に、山下地区で掲げている「みどりのわ・ささえ愛プラン」地区別計画の3つの目標に沿って、各自治会や団体等からの取組発表の一部をご紹介します。

#### 目標1 地域での「つながり」を大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり

- ・スポーツ推進委員会会長（落合委員）  
平成30年の体育祭では、子育てが終了した中高年世代向けに「みんなでメデシン」を企画し、とても好評でした。もっと、子ども会の加入率を増やしていきたい。
- ・民生・児童委員協議会会長（澁井委員）  
区から提供されるひとり暮らし高齢者の名簿をもとに、見守り活動を行ってきました。自治会が進めている要援護者の把握にも務めており、自治会との連携を図っています。
- ・保健活動推進委員会会長（小林氏）・副会長（井上委員）  
元気づくりステーションや健康教室、赤ちゃんサロンへの参加を呼びかけたいです。様々な取組の中で参加者同士のつながりが広がり、さらに世代間の交流が活発になると思います。

#### 目標2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- ・広報部長（安部委員）  
「連合だより」を年4回発行しています。編集会議を設けてテーマを設定しているほか、イベント情報や山下人物風土記を盛り込み、地区内の自治会の動き等を伝えています。
- ・北八朔自治会（菅沼委員）  
地区社協の昼食会の参加者が増えており、部屋に入りきらない時もあるほどです。このような場を通じて、自治会・各種団体等の情報を地域全体で共有していければと思います。

#### 目標3 「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり

- ・小山町自治会（篠崎委員長）  
「防災ささえあいカード」に基づき、要援護者と支援者を見える化したマップを作成し、消防団や自治会役員などと共有しています。これからは、地域住民で支援していく仕組みづくりが重要だと考えています。
- ・青少年指導委員会会長（仲原委員）  
年1回の7月にパトロールを実施しており、ボランティア6人で公園、小学校、中学校、幼稚園を見回りました。時には公園に集まっていた中学生に注意を促すこともありました。
- ・パークシティ横浜中山自治会（中野委員）  
自治会として、防犯カメラの積極的な活用に取り組んでいます。

3つの目標にそって、さまざまな取組を行ってきました。  
今回の振り返りをもとに、第4期山下地区別計画の策定を行っていきます！



<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2260（緑区税務課内）





山下地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期No.8 (通算No.18)

## 山下地区別計画推進策定委員会通信

# 前進します！ 第4期計画の「山下地区別計画」へ

令和2年2月7日（金）、令和元年度の第2回「みどりのわ・ささえ愛プラン 山下地区別計画推進策定委員会」を開催しました。前回の委員会で、第3期山下地区別計画の振り返りを行いました。



当日は令和3年から始まる第4期山下地区別計画の策定に向けて、こういった取り組みが必要か活発な意見交換を行いました。



内容を一部ご紹介いたします！

▲ 当日の委員会の様子

### 【第4期みどりのわ・ささえ愛プランの方向性】

- 多分野横断的な視点で計画を推進
- 地区別に目指す姿を設定し、住民の方々にわかりやすい表現に工夫していく

## 第4期「みどりのわ・ささえ愛プラン」山下地区別計画の策定について



山下地区には、ソフト面から取り組む「みどりのわ・ささえ愛プラン」とハード面から取り組む「山下地区安全・安心まちづくりプラン」の2つのプランがあります。

みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画では、「地域のつながりや支え合いのある誰もが元気で暮らし続けられる街」を目指して、三つの視点「支え合い」「つながり」「情報共有化」から活動を進め、安全安心まちづくりプランと連動させ、一体的に推進をしていきます。

### 【山下地区 地区別計画推進策定委員】

推進策定委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、地域防災拠点運営委員会などから構成されています。

★ 第4期山下地区別計画の柱となる、3つのテーマに分かれて  
グループワークを行いました ★

Aグループ テーマ：支え合い

- それぞれの活動の中で、あるいは隣近所で見守りを行っている
- 困っているときの相談先を伝える等、適切に情報提供できるようにすることが支え合い
- 何かあったら助けるのではなく、日頃から支え合うことが重要
- 地域の行事の間口を広げたら、これまで参加しない方が参加するようになった

Bグループ テーマ：つながり

- 地域では、体操、サロン、食事会等、色々な活動を行っているが、年々参加者が減少している
- 地域の活動団体が集まり、情報交換をする場がない。「地域活動の参加者を、どのように増やしていくか」等、テーマを決めて議論してもいいのではないかな？
- 活動を行っている担い手の縦、横のつながり作り、相談できるようにしていくことも必要

Cグループ テーマ：情報の共有化

- 若い世帯は、メール、LINE で共有することが多い。一方高齢者は、パソコンを使わない人が多く、回覧板や掲示板のチラシで情報を得ている。電子媒体と紙媒体の両方の情報発信が必要
- 高齢者向けに、スマートフォンの使い方を教えてくれる教室があるといい
- 人が良く集まるような場所（ささえあいバス、交流センター、近隣のクリニック等）に、目につくように、地域活動のチラシなどの配架をしていく

最後に、篠崎委員長より

「第三期計画までに議論してきたテーマもありますが、すぐには解決できないテーマでもあり、第4期計画の策定に向けて、いろいろな視点から議論を続け、少しでも『やって良かった』と言えるやり方を考えていく必要があります。今日の議論を参考に、第4期計画を作っていきたい」とお話がありました。



▲ 篠崎委員長



策定委員会事務局としては、山下地区のソフト面の課題に取り組む第4期山下地区別計画の策定を、今日の委員会での議論をもとに、地域の皆さんが身近に感じる計画となるように進めていきます！

<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2260（緑区税務課内）



# 新治西部地区

新治西部地区別計画推進策定委員会

地域

## 新治町、十日市場町、長津田みなみ台6・7丁目の一部 (十日市場団地地区を除く)

緑区の西北に位置し、地区の北側は恩田川を境に青葉区に隣接しており、新治町、十日市場町（十日市場団地地区を除く）、長津田みなみ台6丁目の一部（十日市場町自治会）、長津田みなみ台7丁目の一部（後谷地区）で連合自治会を形成しています。

十日市場駅南側を中心に、公共施設、商業施設、医療機関やマンションなどの集合住宅を中心とした住宅が密集している一方、横浜線北側や新治町には農地や新治市民の森などの緑地も多く残されています。

### <主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

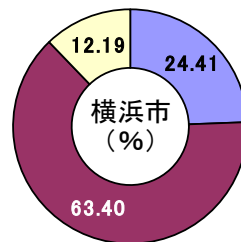
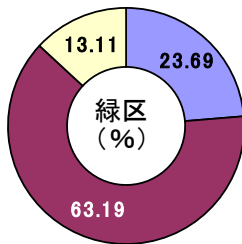
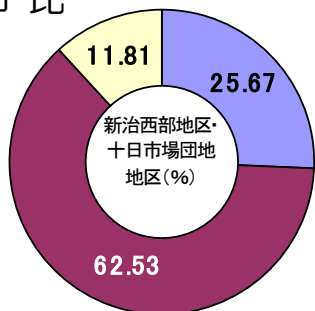
震災時避難場所（地域防災拠点）：新治小学校、十日市場小学校

地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比



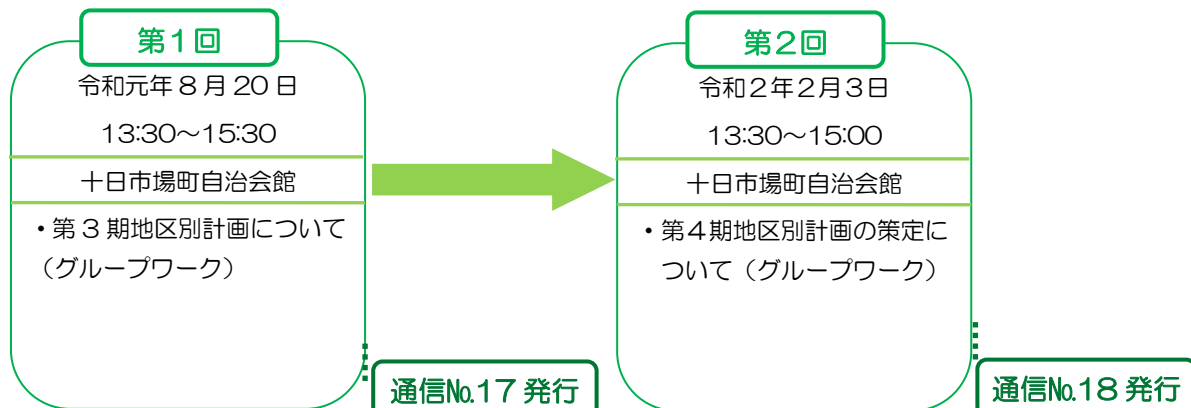
75歳～	2,939人
65～74歳	2,141人
15～64歳	12,375人
6～14歳	1,412人
0～5歳	925人
合計	19,792人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



## 新治西部地区



新治西部地区

地域での「つながり」を深め  
顔の見える元気な街を目指して

新治西部地区では、様々な世代が集い、知り合うきっかけづくりに取り組んでいます。

### 『こども村』が 1周年を迎えました！！

地域の中での“子どもの居場所”  
として昨年12月にオープンした  
「こども村」が1周年を迎えました。  
ケアプラザでの定期的な開催を継続  
するとともに、夏休みのイベントやバ  
ザーも実施するなど、地域に根付いた  
活動として定着してきています。



新治西部連合自治会の、単位自治会  
ごとに、認知症サポーター養成講座  
を十日市場ケアプラザが中心となっ  
て行いました。  
認知症について、また認知症の方や  
家族の気持ち・接し方を講座で学び  
ました。



### 認知症サポーター 養成講座を行いました！



これからも様々なイベントや世代を超えた交流を通じて、  
みんなの顔が見える、元気な街になるような取組を進めます。

新治西部地区 地区別計画推進策定委員会





新治西部地区 地区別計画推進策定委員会  
令和元年10月発行 No.17

**新治西部地区 地区別計画推進策定委員会 通信**



**みどりのわ・ささえ愛プラン**

**新治西部地区別計画推進策定委員会 を開催しました！**



令和元年8月20日（火）に、十日市場町自治会館において「みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区 地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

当日は第3期計画の中間振り返り及び第4期計画の策定に向けたスケジュール確認を参加者全員でした後、3つのグループに分かれ、第3期計画で掲げた2つの目標（下記参照）を踏まえつつ、現状の取り組みの進捗等を振り返りながら意見交換を行いました。

この通信では、その内容の一部をご紹介します！

**新治西部地区 第3期地区別計画 2つの目標**

- ☆地域の中での孤立化をなくし、みんなの顔の見える環境を目指します。
- ☆地域情報を多くの人に届けるため自治会加入を促進します。



全体の様子



Aグループ



Bグループ



Cグループ

（裏面に続く）

## 話し合いで出されたご意見の一部をご紹介します



- 「こども村」の取り組みは現在も継続され、非常によい取り組みとなっている。先生からも、生徒の参加が多く、良い居場所になっているので、これからもお願いしたいという話があった。「こども村」へは高齢者も参加していてよい取り組みとなっている。
- こどものお泊まり会などをやっているが、こどもの行事の参加が少ないことが課題である。後谷では工夫していろいろ企画し、「肝だめし」など色々な内容をやり、大盛況となったイベントもあった。
- こどもとの触れ合い、敬老会などの催しは良い方向ではないだろうか。敬老会での見守りや、公園でこどもが遊ぶ際に祖父母が連れていくことで両者の見守りになっているのではないだろうか。
- 認知症が増えるのはわかるが、実際どのように対応したらよいのか困惑することも多い。認知症サポーター養成講座などに参加した人に話を聞くなどする取組も必要ではないだろうか。ケアプラザの協力もいただく中でやっていけたらと思う。
- 代がかわって新しい方がきても、声をかけて、きちんと自治会に入ってくれている地域もある。一方で町内会費を払うのが大変、役員ができないという声もある。そのような中でも役員が回ってきたのをきっかけとし、自治会活動に参加してくれた方もいる。
- 自治会に加入してくれない人の意見も聞きたい。イベントはいろいろやっている分、新しいことは難しい面もある。新しい取り組みよりも、むしろ、今やっているイベントに、高齢者やこども達に、いかに目を向けてもらうかが大事ではないだろうか。今あるものを、今一度立ち止まって考え、もう一回練り直すことは必要なことではないだろうか。

最後に、松浦委員長から、

「担い手の高齢化が進んでいくのをどうしていくか。また、土地柄によって取り組むべき課題が違ってくるとい側面などもこれから考えていく課題と思っている。これからは皆さんと取組んでいきたい。」とまとめられました。

今回の委員会で出た意見をもとに、第4期新治西部地区別計画の策定を行っていきます！！



▲松浦委員長

誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。平成28年度からは第3期の計画がスタートし、新治西部地区においても目標の推進に取り組んでいます。

## 【新治西部地区 地区別計画推進委員会】

- 推進策定委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進委員会、消防団、老人会、スポーツ推進委員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校などから構成されています。

<連絡先>

新治西部地区 地区別計画推進策定委員会事務局  
緑区区政推進課 (TEL) 930-2218





新治西部地区 地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 No.18

**新治西部地区 地区別計画推進策定委員会 通信**

# みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区別計画推進策定委員会を開催しました！



令和2年2月3日（月）に、十日市場町自治会館において「みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区 地区別計画推進委員会」を開催しました。前回の委員会で、第3期新治西部地区別計画の振返りを行いました。

当日は第4期新治西部地区別計画の策定に向けて、前回の振返りを行った内容をもとに、委員の皆さんとグループワークを実施しました。

第4期計画の策定に向けて、どんなことを取り組んでいきたいかについて、活発な意見交換を行いました。この通信では、その内容の一部をご紹介します！

【令和3年度から始まる 第4期みどりのわ・ささえ愛プランの方向性】  
多分野横断的な視点で計画を推進  
地区別に目指す姿を設定し、住民の方々にわかりやすい表現に工夫していく

**グループワークの様子**

**Aグループ**

「交流の場・多世代交流の必要性について」



**Bグループ**

「情報伝達の工夫と行事等参加へのつなぎ」



**Cグループ**

「活動の運営、担い手等」

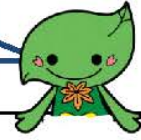


次期計画で、どのような取り組みが必要か活発な意見交換が行われました！

（裏面に続く）



## 話し合いで出されたご意見の一部をご紹介します



## ◇Aグループ◇ テーマ：交流の場・多世代交流の必要性

- ・多世代交流のイベントを実施している、地域がある。地域で実施するイベントは、こどもが参加できるものでないと、参加者が増えない現状がある。
- ・現在行っている行事やイベントを、今の時代に合わせて行っていくことが大切である。今あるものは継続していく必要があると考えている。それぞれで行っているイベントを町内会等が合同で行うことも1つのアイデアではないだろうか。

## ◇Bグループ◇ テーマ：情報伝達の工夫と行事等参加へのつなぎ

- ・情報伝達は回覧板が基本。回す時に、イベントの内容を説明して渡す等、参加の声かけをしている。
- ・地域で実施する行事、子どもの参加が減少してきている。子ども向けのイベントは子供会を通す等の工夫をしている。
- ・民生委員、老人会、婦人部など、それぞれの団体では情報共有をしながらつなっている。しかし、他の団体の活動となると、情報共有できていない部分もある。
- ・行事やイベントに参加して欲しい方へ、きちんと情報が届く工夫が必要

## ◇Cグループ◇ テーマ：活動の運営、担い手

- ・次世代への引継ぎ方を工夫していくことが重要。
- ・周りからのサポート体制や、運営のルールがあると、活動の運営を初めて担う人は取組みやすい。また、優しく迎えるような体制や気配りも重要ではないだろうか。
- ・やっていくうちに、やりがいも出てくる人もいる。自分たちが楽しく行っていくことも重要である。

最後に、松浦委員長から、

「みどりのわ・ささえ愛プランは出来て15年目。皆さんの行っていることが、少しずつ効果が出ていると感じています。

また、プラン自体は知らない人がいても、自治会などの色々な取組が成果を出していると感じています。さらに住みやすい街にしていくため、頑張っていきましょう」とまとめられました。



▲松浦委員長



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。平成28年度からは第3期の計画がスタートし、新治西部地区においても目標の推進に取り組んでいます。

今回の話し合いをもとに、令和3年度から始まる第4期の計画の策定を行っていきます。

## 【新治西部地区 地区別計画推進策定委員会】

- 推進策定委員会メンバーは、連自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員会、消防団、老人会、スポーツ推進委員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校などから構成されています。

## &lt;連絡先&gt;

新治西部地区  
地区別計画推進策定委員会事務局  
緑区区政推進課 (TEL) 930-2218



# 十日市場団地地区

十日市場団地地区別計画推進策定委員会

## 地域 十日市場町（十日市場団地地区）

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区です。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルトンとして平成3年から全面的な建替えを実施し、高層化により人口も増加しました。ヒルトンの名称のとおり、丘陵状の地形に計画的に整備されています。

また、「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の取組の一つとして、民間活力の導入や市有地の有効活用等について検討されています。

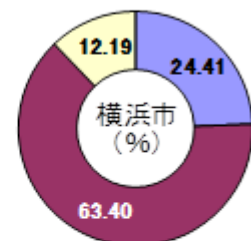
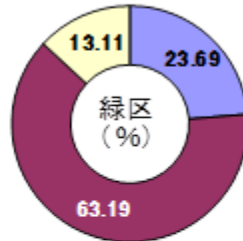
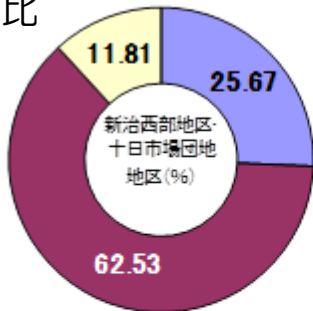
### <主な関連施設>

- 最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）
- 震災時避難場所（地域防災拠点）：十日市場中学校
- 地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口> 人口比

令和元年(2019年)9月末

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



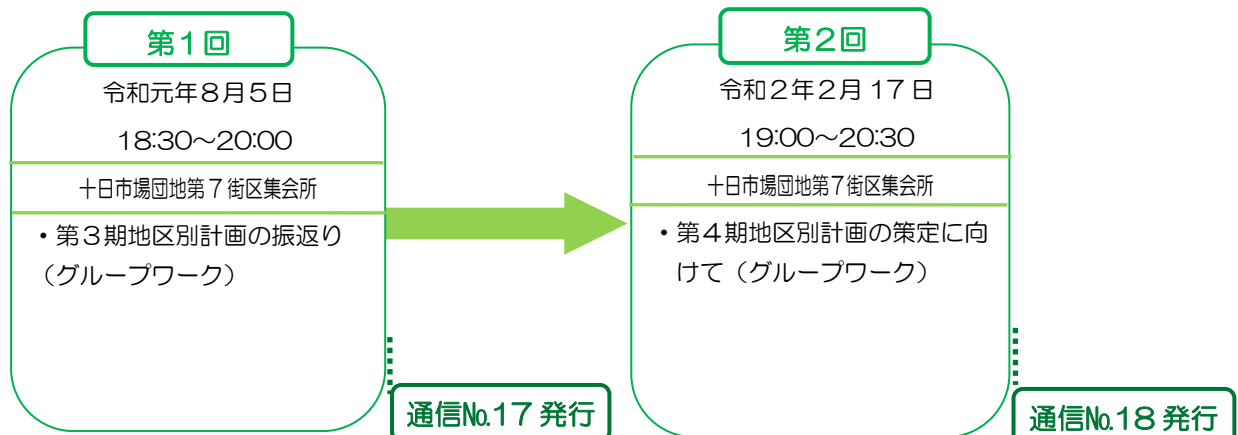
75歳~	2,939人
65~74歳	2,141人
15~64歳	12,375人
6~14歳	1,412人
0~5歳	925人
合計	19,792人

75歳~	22,028人
65~74歳	20,929人
15~64歳	114,577人
6~14歳	14,867人
0~5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳~	472,212人
65~74歳	443,935人
15~64歳	2,379,379人
6~14歳	283,586人
0~5歳	173,729人
合計	3,752,841人

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



## 十日市場団地地区



地域が団結していつまでも支えあえる  
十日市場団地を目指します！

十日市場団地地区では、『いつまでも支えあえる十日市場団地』を目指してまちづくりに取り組んでいます。

### 「十日市場団地 お茶飲み会」 が7周年を迎えました！

令和元年12月に7周年を迎えた「十日市場団地お茶飲み会」は、『一人ぼっちにさせない』を合言葉に、毎月開催しています。8月・12月には、近隣保育園の園児も歌や踊りを披露し、多世代交流の場にもなっている憩いの会です。



### こどもの居場所「こども村」1周年！



地域の中での“子どもの居場所”として昨年12月にオープンした「こども村」が1周年を迎えました。ケアプラザでの定期的な開催を継続するとともに、夏休みのイベントやバザーも実施するなど、地域に根付いた活動として定着してきています。



これからも団結して地域の「つながり」を作っていきます！

十日市場団地地区 地区別計画推進策定委員会





十日市場団地地区別計画推進策定委員会  
令和元年10月発行 第3期 No.7 (通算 No.17)

## 十日市場団地 地区別計画推進策定委員会



令和元年8月5日(月)十日市場ヒルタウン第7街区集会所において「令和元年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。まず、第3期「みどりのわ・ささえ愛プラン」十日市場団地地区計画における、平成30年度の取組と第3期十日市場団地計画の振り返りを行いました。また、十日市場団地の人口構成と今後について、データを基に地域の状況を委員の皆さんと共有しました。

### みどりのわ・ささえ愛プランとは・・・



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。



### ✓ 十日市場団地地区の現状と今後の予測

- ・少子高齢化が進行し、世帯規模も縮小傾向にある。
- ・市全体に比べると、10代、70代~の割合が高いが、20代から40代の生産層の割合が低い。
- ・65歳以上の高齢化率が50%を超える自治会がある等、高齢化が進行している。
- ・今後も人口は減少傾向にあり、地域活動の担い手として期待される世代の人口も減少することが予想される。どのように地域活動を継続させるかが課題



### 【令和元年度 十日市場団地地区別計画推進委員】

○推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校などから構成されています。

★橋川茂子、宮本増穂、百武節代、相田泰喜、川村武子、山内ユミ子、古川十三雄、吉田貞雄、岩附イソ、三好一明、野田義人、吉田俊二、白石武、石上國雄、久保田サチ子、羽鳥節子、石川多美、大村律子、田中正人、堀川智子、長崎清美、鈴木雄二、尾崎敏明、笠原紀代子、古屋紀美代、平良美枝子、川隅やす子、倉澤啓子、池袋タツ、金谷エイ子、白田邦彦、平井仁女、山口等、本田富男、能登富士子、高杉キサ、八木範夫、平田あや

(敬称略、順不同、★：委員長)

☆☆ 裏面では、委員会での意見交換の内容についてご紹介いたします！ ☆☆

## 第3期地区別計画の中間振り返り (平成28年度～30年度の取組)

第3期みどりのわ・ささえ愛フラン地区別計画」の3つの目標について、活発な意見交換を行われました。

意見交換で出た意見の一部をご紹介します！



### 【目標1】地域が団結して、「つながり」を作り、あらゆる世代の交流を広げよう

- ・十日市場団地お茶飲み会はスタッフも含めると毎回40人程度が参加している。こども達にも参加してもらうため土曜日に開催したが、期待より参加が少なかった。広報を工夫し、参加を増やしたい。
- ・お茶飲み会の担い手は、新しい人が入りやすい雰囲気積極的に作りたい。他の活動に参加しているボランティアにも参加を促してはどうか。
- ・あいさつについては、身近な人とはできていると感じる。地域のこども達にも声掛けをしたい。
- ・清掃活動は月1回継続している。安否確認や情報交換の場として活用できている。
- ・世代間交流は、お茶飲み会の土曜開催や「こども村」を通じて実施。今後も拡充したい。

### 【目標2】連携して「見守り」を進め、いつまでも支えあえる地域を目指そう

- ・ボランティアセンターについては、広報が不足しているのではないかと。
- ・地域行事への参加については女性比率が高い。男性参加者増加が課題。
- ・玄関ポストに郵便物がいっぱいになっていないか見守る、とあるが、いっぱいになってからでは手遅れ。個人情報保護の制約で、様子を探ることができないと感じる場面もある。
- ・防災の取組が十分に出来ていない。高齢者には訓練参加が難しいこともある。いざという時の対策をどうするか、予め日頃から考えておく必要がある

### 【目標3】健康や交流を意識した取組を進め、地域をもっと元気にしよう

- ・ウォーキングやラジオ体操等を他の自治会では活発に行われていると聞き、関心を持った。活動には地域差が出ているのが実情。
- ・“認知症を知る”に関して広報が課題。認知症だけでなくうつ病も増えていると感じる。



当日の委員会の様子



3つの目標にそって、地域で色々な取組、活動を行ってきました。  
今回の振り返りをもとに、第4期十日市場団地地区別計画の策定を行っていきます！！



<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進策定委員会 事務局 緑区こども家庭支援課内 TEL：930-2332





十日市場団地地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期No.8 (通算No.18)

## 十日市場団地地区別計画推進策定委員会

令和2年2月17日(金)、令和元年度の第2回「みどりのわ・ささえ愛プラン 十日市場団地地区別計画推進策定委員会」を開催しました。前回の委員会で、第3期十日市場団地地区別計画の振返りを行いました。

当日は第4期十日市場団地地区別計画の策定に向けて、こういった取り組みが必要か活発な意見交換を行いました。内容を一部ご紹介いたします！

### みどりのわ・ささえ愛プランとは・・・



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

前回の委員会でいった、第3期十日市場団地地区別計画の振返りの共有をしました。

- 参加者・担い手の高齢化
- 担い手不足
- 地域の情報の周知方法
- 交流の場の充実・拡充
- 新しい住民との交流

上記の課題があることを、確認しました。



▲ 当日の委員会の様子

### 【十日市場団地地区 地区別計画推進策定委員】

推進策定委員会メンバーは、連合自治会、地区民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、地区保健活動推進員、保護司会、地区老人クラブ連合会、環境事業推進委員会、十日市場小学校、十日市場中学校 などから構成されています。

★ 4つのテーマに分かれてグループワークを行いました。意見の一部をご紹介します！ ★

Aグループ テーマ：見守りを必要とする住民の増加

- ・見守りをする人（民生委員ではなくても、気にしてくれる人）を増やさないといけない
- ・高齢者だけではなく、子ども・子育て世帯にも見守りが必要
- ・男性は、家から出てこないことが多い。60代ぐらいの男性が参加しやすいような場の検討  
→地域活動に参加してもらうことも、見守りにつながる

Bグループ テーマ：地域の活動の周知方法

- ・現在、住連通信が休止中。頻度を減らしても、同様の広報の発行を続けていきたい
- ・回覧板の内容を見やすくする、行事のスケジュールをわかりやすく掲示する等、工夫が必要
- ・地域の各団体が、どのような活動をしているか周知していきたい

Cグループ テーマ：交流の場の充実・拡充

- ・最近では、住民の方の入れ替わりが進み、住民同士が疎遠になっている
- ・すでにある活動の参加者は、固定化している
- ・役割を担ってくれる人が少なく、続けてくれる人はさらに少ない



Dグループ テーマ：新しい住民との交流

- ・「こども村」の取組を通して、ママ友の繋がりができるといい
- ・ラジオ体操等、新しい住民も参加しやすいような活動の検討
- ・誰も参加できる、地域活動の周知の仕方の検討



▲ 橋川委員長

最後に橋川委員長より

「皆さんから、色々なご意見を頂きました。今日、出た意見をまとめて第4期十日市場団地地区別計画の策定を行います。次年度の委員会もどうぞよろしくお願いいたします。」と話されました。

【令和3年度から始まる 第4期みどりのわ・ささえ愛プランの方向性】  
多分野横断的な視点で計画を推進  
地区別に目指す姿を設定し、住民の方々にわかりやすい表現に工夫していく

<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進策定委員会  
事務局 緑区こども家庭支援課内

TEL：930-2332



# 霧が丘地区

霧が丘地区別計画推進策定委員会

## 地域 霧が丘 1～6丁目

緑区の西方に位置し、地区の南側は旭区に隣接しています。昭和54年から日本住宅公団（現在の霧が丘グリーンタウン）の入居が始まり、昭和56年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街です。

街路樹、歩行者専用道路など（通称「赤道」）、計画的に整備されていることが特徴的で、緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は南側に隣接する新治市民の森に続いています。

平成20年に横浜市初の小学校跡の建物を活用した複合施設「霧の里」が開所し、住民の活動の場として定着してきています。

### <主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：霧が丘小学校（旧霧が丘第二小学校）、霧の里（旧霧が丘第三小学校）

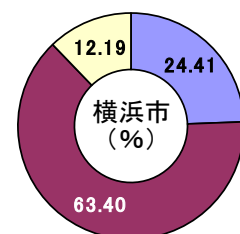
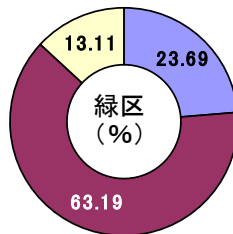
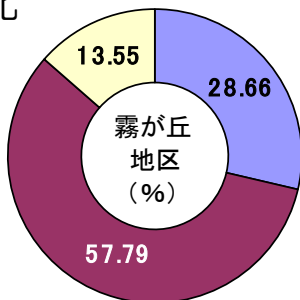
地域ケアプラザ等：横浜市霧が丘地域ケアプラザ

### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)

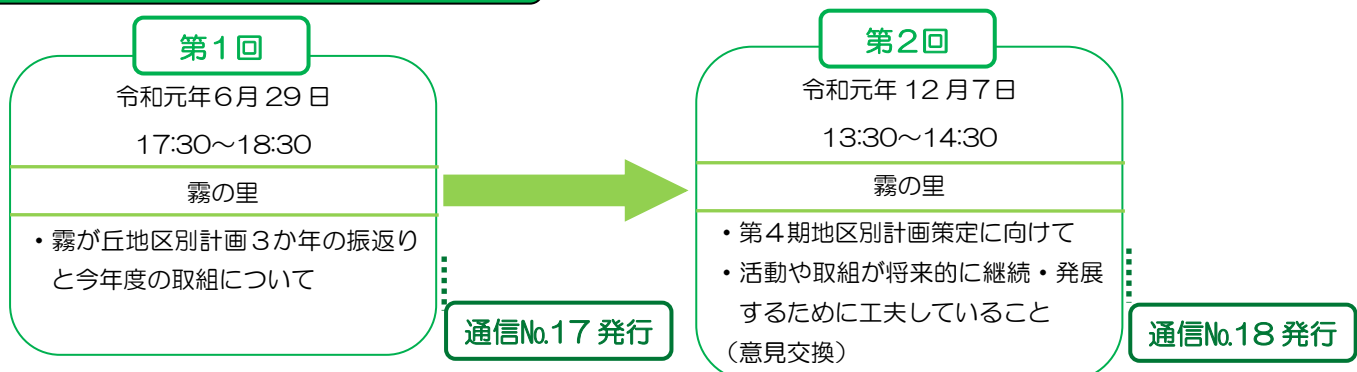


75歳～	1,425人
65～74歳	1,895人
15～64歳	6,694人
6～14歳	1,032人
0～5歳	538人
合計	11,584人

75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況





# 霧が丘地区



霧が丘地区では、だれもが安心して暮らし続けられるために、3つの目標を掲げて活動しています

- 目標1 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- 目標2 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 目標3 「安心・安全・健康」のまちづくり



霧が丘地区は、元気な高齢者が多く、地域活動が活発です。▲塚田委員長  
盆踊り大会や大運動会、どんど焼き、防災訓練など、子どもから大人まで参加できる行事や、異文化を学び、国際感覚を身に付けることを目的としたイベントなど、地域でのつながりを大切にするまちづくりに取り組んでいます。

## 元気づくりステーション

地域の中で高齢者の健康づくりを進める自主活動グループである「元気づくりステーション」が3か所で元気に活動しています。

参加することで身近な地域の中で顔見知りが増え、健康や介護についての相談が気軽にできます。さらに、活動が広がることで、仲間同士の助け合いから見守りにつながっています。



セラバンド (GT2)



ボール体操 (GT4)



ストレッチ (あかしあ)

## 霧が丘見守りネットワーク

活動6年目を迎えた『霧が丘見守りネットワーク』は、「みんなで支え合い・助け合いながら安心して暮らせる街をつくりたい!」と願いながら活動を続けています。見守りだけではなく、防犯パトロールや美化活動も併せて行うこともあります。

見守りネットワーク  
広報紙 ▶



霧が丘地区別計画推進策定委員会





霧が丘地区別計画推進策定委員会  
令和元年9月発行 第3期一第7号(通算第17号)



## 霧が丘地区別計画推進策定委員会通信

# 令和元年度第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会を開催しました！

令和元年6月29日(土)17時30分から、「令和元年度みどりのわ・ささえ愛プラン第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会」を霧の里で開催しました。

地区別計画3か年の取組状況を振り返るとともに、今年度の取組について意見交換を行いました。

委員会での主な意見をご紹介します。



第1回霧が丘地区別計画推進策定委員会の様子



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」(第3期計画：平成28年度～令和2年度)は、誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区域計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、今まで行われてきた取組を継続し、よりよいものに発展させていくため、3つの目標掲げて取組を進めています。

- 【目標1】 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- 【目標2】 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 【目標3】 「安心・安全・健康」のまちづくり



### 霧が丘地区別計画推進策定委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの33人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」(第3期計画)の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

委員会では、33人のメンバーにより「霧が丘をよりよいまちにしていこう」と、活発な意見交換が行われました。

裏面で、委員会での意見交換の内容と関連する取組についてご紹介します。



## 委員会での意見交換の内容と 関連する取組についてご紹介します



### 地区別計画中間振り返りについて

第3期計画（平成28年度～令和2年度）の  
前半の3年間（平成28年度～平成30年度）の振り返りを行いました！

#### 【 委員会で振り返る、主な取組と成果 】

- ・元気づくりステーションを新たに2か所開設 …GT2（H29） / GT4（H30）
- ・各自治会や様々な団体が、気軽に参加できるサロンやイベント等を多様に展開
- ・防犯パトロールとあわせて戸外からの緩やかな見守りを実施
- ・「健康チェックの日」は霧が丘地域ケアプラザ開所以来、進展しながら継続実施
- ・MSO（みんなさいごはおひとり様）研究会の発足

#### 【 主な意見等 】

- 霧が丘地区は地域活動も活発で、元気な高齢者が多い。そのため、様々な活動や取組が継続されており、充実してきている。
- 元気な高齢者が健康を維持するための取組が大切なポイント。実施できている部分を充実させて、課題となる隙間を埋めていく考え方がこの地域には合っているのではないか。
- 担い手の確保が重要である。PTA活動などが活発なので、連携して取組みを進められるとよいのではないか。若い世代を取り込んでいけると活動が広がっていくと思う。役割があると行事に参加しやすいので、声をかけてほしい。
- 転入者に対して自治会への加入を促進している。特に子育て世代は悩みを抱えてしまうこともあるので、ぜひ近隣での顔の見える関係を築いていきたい。
- 季節に合わせたイベントの開催や、特典などを工夫して参加を促す仕組みを作っているのが、いろいろな行事などに広く参加してもらいたい。
- 誰でもふらっと気軽に立ち寄れる居場所があるとよい。



◀ 塚田委員長

見守りの継続や居場所づくりの検討など、引き続き地域の中で考えて取組んでいくことが大切です。

〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2307（緑区高齢・障害支援課）





霧が丘地区別計画推進策定委員会  
令和2年3月発行 第3期—第8号（通算第18号）

## 霧が丘地区別計画推進策定委員会通信

# 令和元年度第2回霧が丘地区別計画推進策定委員会を開催しました！

令和元年12月7日（土）13時30分から、「令和元年度みどりのわ・ささえ愛プラン 第2回霧が丘地区別計画推進策定委員会」を霧の里で開催しました。  
第3期計画の取組状況の振り返りを踏まえて、次期4期計画の策定について意見交換を行いました。



第2回霧が丘地区別計画推進策定委員会の様子



### 「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」（第3期計画：平成28年度～令和2年度）は、誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区域計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、今まで行われてきた取組を継続し、よりよいものに発展させていくため、3つの目標を掲げて取組を進めています。

- 【目標1】 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- 【目標2】 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 【目標3】 「安心・安全・健康」のまちづくり



### 霧が丘地区別計画推進策定委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの33人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」（第3期計画）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

委員会では、33人のメンバーにより「霧が丘をよりよいまちにしていこう」と、活発な意見交換が行われました。

裏面で、委員会での意見交換の内容と関連する取組についてご紹介します。





## 委員会での意見交換の内容と関連する取組について



## 第4期 霧が丘地区別計画の策定に向けて

令和3年度から始まる「第4期 霧が丘地区別計画」策定に向けて、現在の活動を今後もよりよく継続させていくために意見交換を行いました！

## 【みどりのわ・ささえ愛プラン第4期計画全体の方向性】

- ・多分野横断的な視点で計画を推進
- ・地区別に目指す姿を設定し、住民の方々にわかりやすい表現に工夫していく

## 【主な意見】

- ・第3期計画で取り組んできたことを引き続き実施し、さらなる参加者や担い手を増やすことが必要。
- ・イベントなどは繰り返し広報して、新たな参加者を募ることが必要。
- ・直接声かけすると行事に参加してくれることが多く、楽しいと言ってもらえる。また、集まることで仲間づくりになり、次のつながりにも発展している。
- ・若い世代にも声をかけている。役割をもって参加できることが大切ではないか。
- ・これからの高齢化の進行に伴い、困りごとがある人が声を上げやすい環境づくりが一層大切になる。
- ・緩やかな見守り活動をしつつ、時には声かけもして顔の見える関係を作っている。
- ・元気づくりステーションは他の自治会からも参加して良いということが、よく知られていないのではないかな？



広報紙 見守りネットワークだより「霧が丘あんしんサポート」で、活動や取組のPR特集をすることになりました！

【表面】



【内面】



各自治会に配布しています。ぜひ、ご覧ください♪

〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進策定委員会事務局 Tel: 930-2307 (緑区高齢・障害支援課)



# 長津田地区

長津田地区別計画推進策定委員会

地域

長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、  
長津田みなみ台1～5丁目、6・7丁目の一部

緑区の最西端・最北端に位置し、南北に広い地区です。西は東京都町田市、北は青葉区、南は瀬谷区、南東は旭区に隣接しています。区内で最も広く、人口、世帯数ともに最大となっています。

近年、地区の東西を貫いている国道246号線東側、長津田みなみ台の大規模開発に伴い、大型商業施設、大規模マンション等が増加し、転入者が増加しています。また、駅北口地区市街地再開発により、都市型住宅等の整備も進められており、駅周辺に保育施設が多くあります。

### <主な関連施設>

最寄駅：長津田駅（JR横浜線・東急田園都市線・こどもの国線）

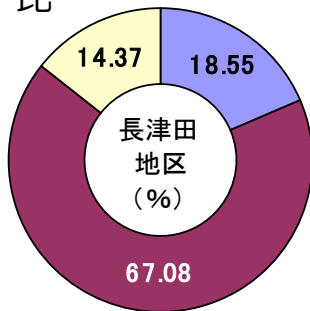
震災時避難場所（地域防災拠点）：いぶき野小学校、長津田小学校、長津田第二小学校、田奈中学校

地域ケアプラザ等：横浜市長津田地域ケアプラザ

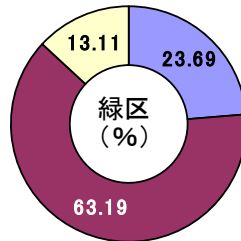
### <年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

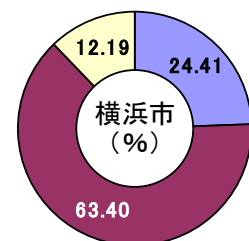
人口比



75歳～	3,625人
65～74歳	3,504人
15～64歳	25,777人
6～14歳	3,319人
0～5歳	2,202人
合計	38,427人



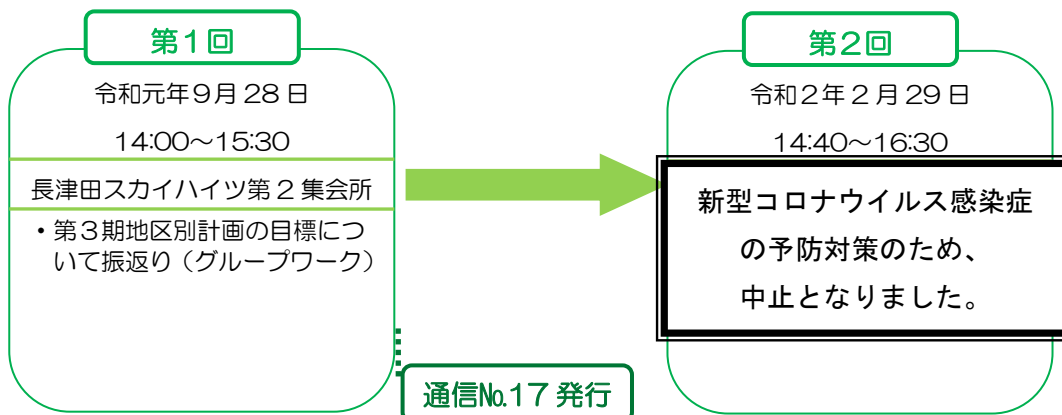
75歳～	22,028人
65～74歳	20,929人
15～64歳	114,577人
6～14歳	14,867人
0～5歳	8,908人
合計	181,309人



75歳～	472,212人
65～74歳	443,935人
15～64歳	2,379,379人
6～14歳	283,586人
0～5歳	173,729人
合計	3,752,841人

### 地区別計画推進策定委員会の開催状況

注) 長津田みなみ台7丁目のデータは、新治西部地区・十日市場団地地区に集計しています。



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



# 長津田地区



～向こう三軒両隣～ ともに支え合う**福祉の街 長津田**を目指して!

長津田町誕生80周年を迎え、29の単位自治会を擁する地区となりました。  
『向こう三軒両隣ともに支え合うまちづくり運営委員会』3つの部会の取組です!

「向こう三軒両隣ともに支え合うまちづくり運営委員会」は、平成23年の発足以来、「誰もが安全・安心に暮らせる『福祉の街 長津田』」を目指して、高齢者福祉を中心とした取組を行ってきました。  
令和元年度からは「高齢者福祉部会」、「ささえあいネット部会」、「子ども・子育て部会」の3つの部会を設置し、高齢者に限らず、幅広く対象を捉えて検討を行っています。

## 高齢者福祉部会

- ・高齢者の外出支援・買い物支援方策の検討
- ・認知症に関する取組検討



## ささえあいネット

- ・新聞販売店、介護保険事業所等、地域の事業者と協力し  
見守りネットワークの構築
- ・新たな協力事業者の拡充
- ・取組を周知するため、ニュースを発行!



▲ ささえあいネットニュース

## 子ども・子育て部会

- ・自治会の枠を超えた子育て支援活動の検討
- ・子育て世帯への、ニーズ調査の検討



長津田地区別計画推進策定委員会





令和2年1月発行 第3期 No.7 (通算 No.17)

<連絡先>長津田地区別計画推進策定委員会事務局(緑区地域振興課) TEL: 930-2237

## 長津田地区別計画推進策定委員会通信

令和元年9月28日(土) 14時~15時30分 長津田スカイハイツ第二集会場において、「第1回みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画推進策定委員会」を開催し、第3期みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画の振返りを行いました。



▲ 当日の委員会の様子



各グループで出た意見を紹介します。

### 目標1 地域情報の発信と共有をすすめます

#### 取組

- ・自治会の回覧物を分かりやすくした
- ・広報の発行、掲示板の活用
- ・さまざまな世代に自治会活動の情報提供

#### 感想・振返り

- ・広報の内容が分かりやすくなった
- ・回覧、掲示板以外の情報発信を始めている
- ・世代に応じた情報発信(メールの活用など)が必要

年代によって、受け取りやすい情報のツールが異なり、色々なツールを工夫しながら情報の発信をしています。イベントを行うと部屋にこもっている高齢者が参加してくれます。



足田委員

### 目標2 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます

#### 取組

- ・自治会活動の工夫
- ・高齢者による通学の見守り
- ・多世代型「向こう三軒両隣」の実現

#### 感想・振返り

- ・近隣の自治会が協力し合い活動を行ったところ活動が活性化された
- ・自治会の防犯部による見守りを実施
- ・「向こう三軒両隣」に、こども・子育て部会を新たに設置

長津田まつりは若い人から高齢者まで参加しています。青少年指導員は、エリアを超えて霧が丘地区と一緒にいも掘りを行いました。県営長津田団地では集会所を開放してサロンを行っています。そのサロンでは子どもから高齢者まで参加しています。「こども・子育て部会」が設置され、具体的に話し合いを行っていきます



原田委員

**目標3** 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます

**取組**

- ・災害時の備えや支援が必要な人への備えの周知
- ・見守りの支援者を増やしていくこと
- ・自治会の班長・組長が中心とした、要援護者の支援の推進

**感想・振り返り**

- ・災害時の備え、隣近所と意思の疎通ができるように呼びかけていく必要がある
- ・「長津田ささえあいネット」で事業所と一緒に見守り支援を更に行うと良い



渡口委員

カフェ、健康麻雀に参加してもらうことで、コミュニケーションの場となっています。災害時に自治会の組単位で意思疎通ができていれば、一番良いと思います。地域防災拠点訓練の参加者が固定化しており、参加者が増えるような工夫が必要と考えます。

**目標4** 認知症の人も障害のある人もその家族も暮らしやすい地域づくりを進めます

**取組**

- ・認知症サポーター養成講座の実施
- ・障害の理解を深める検討

**感想・振り返り**

- ・認知症に関する研修、講演会を開催し、正しい理解の普及啓発を行った
- ・小中学生向けに認知症サポーター養成講座を実施。今後も継続していくべき
- ・障害のある当事者やその家族から、話を聞く場を設け理解を深めた



田中委員

地区社協では認知症講演会を5年実施しました。認知症、障害に限らず困っている人への支援が必要です。公的なサービスが入っていても、地域では孤立している可能性があるのではないかと考えます。

最後にまとめとして、井上委員長より

「情報をいかに伝えるかが、大切ということを改めて感じました。この委員会で色々な意見が出て地域の中で伝わり切れていない現状があります。これからは委員の皆さんが、自分の地域に戻って自ら発信してもらいたいと考えます。

とのお話がありました。



井上委員長

今回行った、第3期長津田地区別計画の振り返りで出た意見をもとに、第4期計画の策定を委員の皆さんと行っていきます！



**【令和元年度長津田地区別計画推進委員】**

市木智子、生駒暁子、井上菜穂子、○井上敏正、井上宏子、大瀧正春、岡部豊、岡田章、小野寺尚子、栗山孝子、小瀧裕子、小林敬子、小林弘、小林由美子、近藤光男、佐藤英一、志田久男、鈴木勝、砂子田貞夫、曾根秀幸、田中成男、中村京子、沼尾礼子、原田ますみ、疋田文賢、福田幹男、本所敏江、前田貴、横塚靖子、渡口博



## 第3章 区域計画

## ●「区域計画」の推進について

## (1)「区域計画」の構成と取組主体

区域計画は、「地区別計画」の取組支援と他地区に取組を広げるきっかけづくり等を推進する「地区支援目標」と、重点的なテーマに沿った事業ベースの具体的な取組をまとめた「重点テーマと目標」の2つで構成されています。

この「地区支援目標」と「重点テーマと目標」の実現に向け、区役所、区社会福祉協議会及び地域ケアプラザが、地域や関係団体・事業者などと協働で取り組んでいきます。

## (2) 地区支援目標

「地区支援目標」は、各地区で展開されている「地区別計画」を中心とした取組について、その充実や実現に向けて、助言等を行うとともに各種助成制度などの活用により、支援を行います。

また、「地区別計画推進策定委員会」や「地区支援チーム」における活動を通じて、各地区の取組を把握し、その手法やノウハウを蓄積して効果的に地域に情報提供することで、他地区にその取組を広げるとともに、取組の支援を行ないます。

目標1	地域での「つながり」づくりの取組を支援し、ともに推進しながら、他の地域へも取組を広げていきます！<つながり>
目標2	多くの方が地域で活躍でき、地域活動が広がっていくことを目指し、地区の支援やコーディネートを行います！<人材・担い手>
目標3	より身近な地域で活動できるよう、地域活動における「機会」「場」に関するノウハウを共有し、活用します！<機会・場>
目標4	地域情報を共有・活用できる体制づくりをすすめます！<情報>
目標5	地域の取組を共有するとともに、活動の広がりを意識しながら継続して取り組めるよう、支援を行います！<安全・安心・健康>

## (3) 区域計画の重点テーマと目標

「重点テーマと目標」は、「区民アンケート」、「分野別・団体別グループインタビュー」や、各地区の「地区別計画推進策定委員会」などでの意見を参考に、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」の提言に基づき、区域での取組が必要と考えられる6テーマを選定しました。

また、「目標」や「主な取組」に関しては、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザを中心に検討を進め、それぞれのテーマの必要性に関して、「背景と取組の方向性」「これまでの取組」「期待されること・求められていること」などを経て、項目を選定しました。

テーマ1	日常的な見守り体制づくりに関する取組	テーマ4	子ども・子育てに関する取組
テーマ2	認知症に関する取組	テーマ5	災害時に支援が必要な方への取組
テーマ3	障害児・障害者に関する取組	テーマ6	健康づくりに関する取組

## (4)「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」について

第1期、第2期計画に引き続き、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」が、地区別計画を含めた第3期計画での取組状況の把握や振り返りを行っています。

委員は、学識経験者、福祉保健活動団体等の代表などで構成しています。

## &lt;令和元年度の開催状況&gt;

【第1回】令和元年6月11日 (内容) 第3期計画の推進状況と第4期計画策定のスケジュール 等

【第2回】令和元年12月4日 (内容) 第3期計画の推進と第4期計画の策定に係る取組 等

【第3回】令和2年3月30日 ※新型コロナウイルス感染症予防対策のため書面会議で実施

(内容) 第3期計画の推進報告と第4期計画策定に向けた進捗状況 等

## ● 6つの重点テーマの推進状況

### (1) 日常的な見守り体制づくりに関する取組

#### ■第2回「助け合い・支え合い活動 Good Job！！交歓会」開催

第1回目は、2年前、区内の助け合いや支え合いの活動に取り組んでいる団体同士の情報交換とそれぞれの活動のすばらしさを再確認・共有することを目的に開催しました。活動を始めたばかりの団体や立ち上げを検討中の地域住民、すでに長く活動している団体等の参加がありました。

その後、立ち上げ検討中だった団体がこれを参考に活動を開始し、またスタートにむけて検討を始めた団体も出てきました。区内で助け合いや支え合いの活動が広がってきたこともあり、今年度第2回目を実施することになりました。この2年間に活動が始まった2団体からの報告と、グループに分かれて助け合い・支え合い活動の周知方法や、依頼をボランティアにつなぐ際の困りごとなどについて話し合いました。

今回は緑区生活支援コーディネーター連絡会で企画しました。今後も地域ケアプラザ・区社協ともに協力して、団体同士の関係づくりや情報交換をはじめ、事例をもとにした話し合いなど、今後の活動の発展と区域での広がりにつながる機会を設けていきたいと思っています。



▲当日の様子

### (2) 認知症に関する取組

#### ■認知症サポーター養成講座の拡充

認知症サポーター養成講座の開催にあたっては、区域・包括圏域・より身近な地域でチラシの配布・広報を行いました。地域住民や学校での開催に加えて、警察署や銀行等の民間企業からの新規依頼も複数回あり、認知症サポーター養成講座は、今年度（令和元年12月末時点）28回実施、1,073名の方に受講いただき、認知症サポーターは緑区全体で16,281人になりました。

引き続き、認知症サポーター養成講座を拡充していくために、活動を行うキャラバン・メイトの支援として認知症キャラバン・メイトのつどいを行います。

#### ■認知症普及啓発事業を区内3つのエリアで開催

令和元年度は、より地域の実情に合わせた普及啓発を行うために、継続して「認知症をポジティブにとらえよう！」をテーマに掲げ、区内を3つのエリアに分けて次のとおり事業を行いました。引き続き、誰もが認知症をポジティブにとらえ、認知症の人が役割や生きがいをもって生きられる地域・社会をつくっていくことを目標に、あらゆる機会をとらえて普及啓発事業を展開していきます。

エリア	日時、場所	内容
東本郷・鴨居エリア	第一部：8月30日 東本郷地域ケアプラザ 第二部：9月28日 鴨居地域ケアプラザ	第一部：「楽しみながら認知症を学ぼう」認知症すごろくを使った講座 第二部：「ペコロスの母に会いに行く」映画上映
中山・山下エリア	2月15日 中山地域ケアプラザ	講話：「認知症をポジティブに捉えよう！～認知症になっても住み慣れた街で暮らすために～」 講師：元気会横浜病院理事長 北島明佳氏
霧が丘・十日市場・長津田エリア	11月29日 十日市場地域ケアプラザ	講話：「カフェを知ろうカフェを語ろう～認知症カフェ立ち上げ物語～」 講師：Dayみどり管理者 若林美紀子氏



### (3) 障害児・障害者に関する取組

#### ■障害者週間での取組

緑区役所では障害者の社会参加や生きがいづくりの支援と、障害理解の普及啓発を行っています。その一環として、12月3日から9日までの障害者週間に合わせ、「障害者週間イベント2019」を開催しました。障害者による作品展示や施設紹介、イベント参加者からいただいたコメントを掲示する参加型展示を行ったほか、緑区制50周年を記念し、緑公会堂で「UNO工房」によるハンドベル演奏や映画上映、また規模を拡大した自主製品販売会を実施しました（全3日間、16施設が参加、のべ約600名が来場）。引き続き障害理解の普及啓発に関する取組や共同販売の場の設定や販路拡大などの支援を行っています。

#### ■障害者週間イベント「みんな いっしょなら もっと たのしい! み・ど・り!」開催

障害児者支援の関係機関でつくる「みどり障がい児者支援ネットワーク」は、関係機関同士の情報交換や顔のみえる関係づくり、障害理解の普及啓発を行っています。その普及啓発の一環として、12月の障害者週間に合わせ、みどりアートパークで3日間（12/5,6,7）イベントを開催しました。

障害者通所施設のパンや焼き菓子の販売をはじめ、手話ソングやパネルシアター、バルーンを使ったムーブメント、小物づくりのワークショップ、落語、ハンディキャップヨガ体験等々、たくさんの催しが開催され多くの来場者がありました。

2日目には「何がいったい差別なの?」と題し、障害者差別解消法と合理的配慮についてDPI日本会議 崔氏の講演があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。（イベントの様子は次の写真のとおり）



#### ■移動情報センター事業者向け研修の開催

障害児者の移動を支援している事業所を対象に、講師として横浜市発達障害者支援センター地域支援マネジャーの神田宏氏を迎え、発達障害児者の特性とその支援について2日間（8/6,22）の研修を開催しました。

1日目は自閉症スペクトラムの特性理解を中心に問題行動が起こる背景や原因の理解を深め、当事者の困り感に寄り添った支援について学びました。

2日目は行動障害のある方への支援に、アセスメントが大切であることを理解し、実際のアセスメント方法として行動チェックシートを用いて学びました。

研修後のアンケートでは、「アセスメントの重要性」についての記載が多く、「アセスメント方法を学び実際の支援に活かしたい」というコメントを多くいただきました。

緑区移動情報センター主催 事業者連絡会研修

#### 障害特性の理解とその支援

～問題行動が起こる背景・原因と理解～

発達障害児者の支援において「どうして伝わらないだろう」この行動にはどんな意味があるんだろうと理解が難しい場面はありませんか。本研修では、1日目に「障害特性（自閉症スペクトラム）」2日目に「アセスメント」について学び、より良い支援につなげます。（本研修は平成30年度に青葉区自立支援協議会が主催した「問題行動の改善とその支援」①障害特性 ②アセスメントと同じ内容となります）

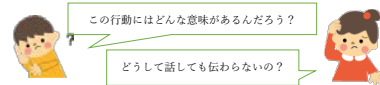
1日目

8/6 (火)  
10:00-12:00  
「障害特性」

2日目

8/22 (木)  
10:00-12:00  
「アセスメント」

【講師】横浜市発達障害者支援センター 神田 宏 氏（発達障害者地域支援マネジャー）



【場 所】 ハーモニーみどり 2階 多目的研修室Ⅱ  
住所：緑区中山2-1-1（緑区社会福祉協議会 福祉保健活動拠点）  
【対 象】 緑区及び近隣区の移動支援事業所  
ガイドヘルパー及び職員等  
【参加費】 無料  
【申 込】 裏面にある申込書でFAXにてお申し込みください（7/27締切）  
【申込先】 緑区移動情報センター 電話：931-3280 FAX：934-4355

#### (4) 子ども・子育てに関する取組

##### ■要保護児童対策地域協議会実務者研修会

「子どもの虐待『通告』について考える」をテーマに研修会を実施しました。子どもの虐待を心配する相談件数は年々増加している一方で、通告を躊躇する事例もみられ一歩踏み込んだ支援が出来ない事例もあります。今回の研修会ではパネルディスカッションを取り入れ、小学校、保育園が通告を悩みながらも実際に通告した事例について報告があり、区や児童相談所も対応について発表しディスカッションを深めました。通告する側、通告を受ける側、双方の思いや対応について理解が深まり、関係機関等の連携を促進する動きにつながりました。引き続き、子どもに関わる地域や関係機関等がチーム一丸となり子どもを虐待から守る取り組みを行っていきます。



▲パネルディスカッションの様子

#### (5) 災害時に支援が必要な方への取組

##### ■緑区福祉避難所連絡会

横浜市では、大規模災害が発生した時に地域防災拠点や自宅での避難生活が困難な方のため、市内の社会福祉施設などと協定を締結して「福祉避難所」として位置づけています。区内では、特別養護老人ホームや地域ケアプラザ、障害者施設等あわせて26の施設を指定しており、これらの施設の代表者にお集まりいただき、今年度も連絡会を開催しました。

連絡会では、警察への災害時緊急通行車両の事前届出などの確認に加えて、今年度から本格運用が開始した「福祉避難所情報共有システム」の操作方法を共有しました。本システムは災害時に各施設の状況について円滑かつ的確に情報共有が区と各施設の間で図られることを目的としたものです。各施設で本システムを活用した避難所運営が進められるよう次年度以降も各施設と引き続き連携していきます。

#### (6) 健康づくりに関する取組

##### ■地域における「オーラルフレイル予防」の取組推進

口腔機能の衰え（オーラルフレイル）についての考え方を広く周知し、自ら予防に取り組んでもらえるよう、普及・啓発に取り組みました。幅広く地域における啓発を進めるため、地域活動団体である保健活動推進員の全体研修・地区研修でオーラルフレイルに関する実践的な啓発研修を行い、各地域で啓発を進めていただくよう取組を進めました。また、高齢関係施設・団体と連携し、研修やセルフチェックの重要性の普及を進めるなど、地域全体で予防活動を進めるための基盤づくりを行いました。

##### ■人生100年時代～のばせ！健康寿命～

「人生100年時代～のばせ！健康寿命～」をテーマに講演会を11月30日に緑公会堂で開催しました（371名参加）。第一部は、「できることを楽しく！長く！人生100年時代を豊かにするヒケツ」をテーマに、ダイヤ高齢社会研究財団の澤岡詩野氏にご講演いただきました。第二部は、各地域包括支援センターエリアの活動団体紹介を行いました。つながりが「介護予防」「地域づくり」になるということで、健康で自分らしい生き方をみんなで考えるきっかけとなりました。

##### 【出演グループ】

にこにこクラブ、かもい合唱団 ONE HUNDRED、なかやまストレッチOB会、チームやました、里山会、きりとも、長津田げんき応援隊・歌声サロン～音のたまてばこ～



生活困窮者自立支援制度

～セーフティネット会議と地域ネットワーク構築支援事業～

「生活困窮者自立支援制度」は平成27年4月に開始され、生活保護制度の前段階のいわゆる「第2のセーフティネット」として、生活困窮者の支援に取り組む制度です。

この制度では、「生活困窮者の自立と尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目指す目標と定めています。

平成30年10月の法改正に伴い、「関係機関間の情報共有を行う会議体の設置」が法定化されました。横浜市では、この支援会議を「横浜市生活困窮者セーフティネット会議」と位置づけ、市・区・個別支援の3階層で実施することにより、支援関係者間の積極的な情報交換や連携を進めています。

緑区では区レベルセーフティネット会議を今年度4回実施し、就労、高齢、障害等の様々な分野の関係機関と共に、緑区の実情や制度の情報共有、実際の支援事例を用いたグループワーク、多問題を抱える世帯（8050問題・ひきこもり等）に関わる相談機関の業務内容・事業等の共有などを行いました。



▲第2回

緑区セーフティネット会議の様子

また、平成30年度に緑区と栄区でモデル実施した「地域ネットワーク構築支援事業」を18区で実施しました。こちらは地域の中で、生活困窮者を早期に把握するための「気づきのネットワーク」づくりや、自立した生活を支えるための「支援のネットワーク」づくりを身近な地域の関係機関等と協働して実施する事業です。

緑区では、昨年度に引き続き、地域ケアプラザ及び地域包括支援センターふじ寿か園と連携を図りながら、生活困窮に関連する取組を行いました。

＜主な取組内容＞

施設名	主な取組内容
東本郷 地域ケアプラザ	・区社協フードドライブ事業と連携した食支援（ひがほんバザール）
鴨居 地域ケアプラザ	・学習支援・食支援団体等と地域関係者の検討会（子どもと大人のe e e場所づくり）の開催
中山 地域ケアプラザ	・高齢者向けの家計に関する講座（ちょこっと勉強会）の開催
地域包括支援センター ふじ寿か園	・地域ケア会議と連携した事例検討
十日市場 地域ケアプラザ	・十日市場駅周辺「こども」の居場所づくり検討委員会の開催 ・「こどもの」居場所（こども村）の開催支援
霧が丘 地域ケアプラザ	・「古い支度」に関する取組（MSO研究部）と連携した制度周知 ・高齢者向け就労支援講座（いきいきセカンドライフ講座）の開催
長津田 地域ケアプラザ	・「生活お役立ちガイド」の配布



▲ e e e 場所づくりの様子  
（鴨居地域ケアプラザ）



▲「こどもの居場所」イベントの様子  
（十日市場地域ケアプラザ）



▲古い支度と取組：F ノート講座の様子  
（霧が丘地域ケアプラザ）

## エンディングノートからはじめる自分らしい暮らしのプロデュース ～いきいきと暮らしていくために緑区エンディングノートを活用してみませんか？～

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、横浜市では「地域包括ケア計画」を策定しました。計画では、地域での生活を支える主な取り組みとして「自己決定の支援」を定めています。一人ひとりが自らの意思で生き方を選択し、最後まで自分らしく生きていく。エンディングノートは、これからの生き方を考えるきっかけになります。

緑区では、緑区エンディングノート「My Life～これからの私がいきいきと暮らしていくために～」を作成しました。さらに、6月29日に緑公会堂でエンディングノートPRイベント「映画上映会&エンディングノート活用講座」を開催しました。第一部の活用講座では、緑区エンディングノートの特徴でもある自分自身の希望や大切にしていることなど「思い」を残すことができる点などを紹介しました。第二部では「オケ老人！」の映画上映を行い、さまざまな年齢層の登場人物が前向きにこれからの生き方を考え直すというストーリーを通じて、「明日からの生き方を考えるきっかけづくり」につながることができました。

このイベントを皮切りに、区役所窓口及び各地域包括支援センターで緑区エンディングノートの配布を行いました。また、各地域包括支援センターでは、書き方など関連の講座を行い、広く区民への周知を図りました。

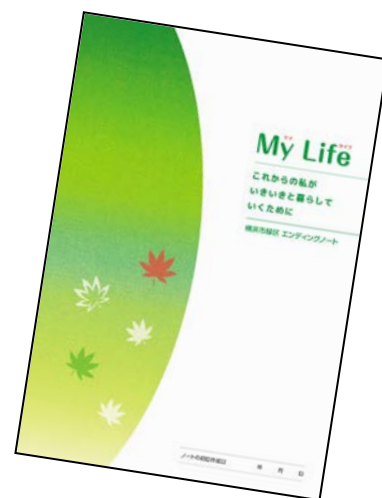
### エンディングノートとは？

これまでの自分の人生を振り返り、これから起こりうる万が一の事態に備えて、治療や介護、葬儀などについて自分の希望や、家族への伝言、連絡すべき知人のリストなどを記しておくノートです。

その名称から「人生の終末期に備えるためのもの」というイメージでとらえられがちですが、「家族や親しい人に覚えておいて欲しいこと」「自分自身の思い」などを伝えるだけでなく、これまでの人生を振り返ることで、これからの生き方を考えることにつながるノートでもあります。

※緑区HP（下記URL）からデータのダウンロードも可能です。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kusei/koho/fukushihoken-center/My-Life.html>



▲エンディングノートPRイベントの様子①



▲エンディングノートPRイベントの様子②



## ●地域ケアプラザ・地域包括支援センターとの連携

地域ケアプラザは、市民の誰もが住み慣れた地域において健康で安心して暮らせるよう、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉保健サービス等を身近な場所で総合的に提供する施設です。

地域包括支援センターは、介護保険法に定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関です。横浜市では、地域ケアプラザ及び市が指定する特別養護老人ホーム（緑区では、「特別養護老人ホーム ふじ寿か園」）に、機能の一つとして地域包括支援センターを設置しています。

緑区内の地域ケアプラザ及び地域包括支援センターの紹介や主な取組は、P. 84～90をご覧ください。ここでは、共通の取組を紹介します。

### 【緑区制50周年記念事業 緑区民まつり】

県立四季の森公園で毎年行われている緑区民まつりですが、2019年は、区制50周年！お祝いムードを盛りあげよう！ということで、緑区内6か所の地域ケアプラザとふじ寿か園の地域包括支援センター職員が一同に協力して、おまつりに訪れた方が楽しめるようにと企画を練りました。①紙飛行機大会 ②まちがいさがし ③ビー玉つまみ大会を行いました。どの種目にも多くの老若男女が参加して、真剣に取り組んで、結構熱くなって、何度もトライしている方もいました。例年、6か所の地域ケアプラザとふじ寿か園の地域包括支援センターが連携して区民にケアプラザ周知の一環としても区民まつりへの参加をさせていただいて来ましたが、今年はとにかくお祝いムードを盛り上げることを第一の目標に職員自身も楽しませていただきました。



### 【エンディングノート普及啓発事業】

今年度、横浜市内全区でエンディングノートの作成が進められ、緑区では5月に「緑区エンディングノート」が完成しました。

その後、PR事業の先駆けとして、6月29日に「エンディングノート講演・映画上映会」を緑区公会堂で開催しました。内容は、エンディングノート書き方説明会と映画「オケ老人」の上映でした。当日は定員を上回る来場者があり、大盛況に終えることができました。(P.82 参照)

以降、北部（長津田、霧が丘、十日市場）、中部（中山、ふじ寿か園）、南部（鴨居、東本郷）の区内3か所で、エンディングノート講座を開催しました。こちらでも多くの参加があり、エンディングノートに対する関心の高さが伺えました。

その他、各地域ケアプラザ等では、老人会や自治会等へ出張してエンディングノート講座を開催しました。

これからも、エンディングノートが必要な方へ広く行渡るように取組んでいきます。

## ● 東本郷地域ケアプラザ

案内図 P95

東本郷地区は、地域の方々がつながりを大切にしながら、積極的に活動を展開している地域です。あらゆる世代の人たちが交流できる場である、「ひがほん郷（ふるさと）まつり」は、その象徴的なものとも言えます。

また、高齢者支援、認知症関連、子育て支援、健康づくりの4つの委員会が組織され、自治会や民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会などのから選出されたメンバーを中心に地区別計画の推進、「住んで良かった地域作り」のための、多くの活動が行われています。

東本郷地域ケアプラザも、委員会に参画するとともに、その他の活動でも地域の関連団体などと連携し、地域課題の解決に向けた支援や地域ニーズに基づいた事業などを展開しています。

### 【地域活動交流】

○地域の皆さんの活動支援や協働、情報提供の窓口です。

- ・貸 室 地域のグループが積極的に活動されています。夕刻、夜間は、比較的利用しやすい状況です。
- ・活動支援 「こんな活動がしたい。」「活動の講師を紹介して欲しい。」など、それぞれのニーズに合わせサポートしています。
- ・相 談 「障がい児・者活動の場や、支援情報を知りたい。」「子どものことで相談したい。」「ボランティア活動してみたい。」など、一緒に考え、必要な機関や団体につないでいます。
- ・自主事業 高齢者向けのんびりサロン、子育てサロン、小中学生の体験などの活動を実施しています。



「0歳から100歳までの人のつながり」をテーマとする「郷まつり」にケアプラザブースを出展。皆さんと平和の木を作成。

### 【地域包括支援センター】

○地域の身近な相談窓口です。

- ・相談支援 看護師、主任ケアマネジャー、社会福祉士の専門職が相談等に対応しています。
- ・権利擁護 誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けていけるよう権利擁護や成年後見の相談、認知症支援や理解促進の支援によりそれぞれの方の生活(権利)を守る取り組みを行っています。
- ・自主事業 コグニサイズを活用した介護予防や健康づくり講座、介護者のつどい、こころの病個別相談会、協力医による相談会などを定期的で開催しています。

### 【生活支援体制整備】

○高齢者の方の生活を支援しています。

- ・状況把握 活動参加や聞き取りの中から、地域の高齢者のニーズ把握を行っています。
- ・開発・支援 地域の方々とともに、必要なサービスの開発や支援を行っています。
- ・自主事業 皆さんが楽しみながら元気に過ごせるよう、体操やサロンを実施しています。

## 令和元年度の取り組みの一部を紹介します！



持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として国連が提唱するSDGsの取り組みの一貫として、緑区社会福祉協議会や近隣小学校のPTAと協働し、寄付物品を活用し「もったいないをなくそう」というテーマのもと配分会を実施。物品の有効活用と生活のために必要とされる方々の支援を実施しました。



## ● 鴨居地域ケアプラザ

案内図 P95

鴨居地域ケアプラザは「鴨居」「竹山」「白山」の3つの地区を担当しています。「鴨居地区」は鴨居駅を中心とした商業地と丘陵の住宅地、「竹山地区」は竹山団地を中心とした住宅地、「白山地区」は幹線道路沿いの産業・商業集積地および計画的な住宅地という特徴を持っています。

これらの地域の特徴や地域ニーズをふまえ、相談や様々な事業に取り組んでいます。

## 届け!響け! 80人の歌声

### 「人生100年時代のぼせ!健康寿命」に参加 鴨居合唱団 ONE HUNDRED

地域包括支援センター・地域活動交流・生活支援体制整備共催(以下略)

“目指すは11月の緑公会堂”を合言葉に、「鴨居合唱団」を再結成。総勢80名は9月から6回の練習を重ね、本番に臨みました。前回に引き続きの「花は咲く」では手話グループと職員も参加して手話を披露、華を添えました。「明日があるさ ウルフズバージョン」では難しい旋律を歌い上げ、年齢?を忘れてみんながのりまくり、会場を沸かせました。これからもみんなで歌う楽しさを広めていけたらと思います。



#### 地域交流・生活支援共催

##### ボランティア講座

「食品」を扱う地域のグループに呼びかけて、ボランティア講座「冬に気をつけたい食中毒と日ごろの予防」を開催しました。

食品衛生や食中毒の話と共に、手洗いチェッカーで手の汚れをひとりひとり測定。手洗いの重要性をあらためて認識しました。



#### 包括・地域交流共催

マイライフフォト撮影会好きな服装や思い出の品と記念写真を撮る「マイライフフォト撮影会」を東本郷地域ケアプラザと共催しました。

ご夫婦参加も2組あり、できあがった写真を見ながらその感想や、これからの人生について語り合いました。



● 中山地域ケアプラザ

中山地域ケアプラザでは、新治中部地区と三保地区の2地区（地域活動交流は山下地区を含む3地区）を担当しています。中山地域ケアプラザのある「ハーモニーみどり」は、緑区福祉保健活動拠点（緑区社会福祉協議会）、中山福祉機器支援センター、シルバー人材センター緑事務所、中山地区センターが入った複合施設です。複合施設内の関係機関とも連携しながら、より地域に根差した地域ケアプラザを目指します。

地域活動交流

赤ちゃんから高齢者まで、すべての方を対象に、お部屋の貸出しや講座の開催、ボランティア活動の相談・支援を行っています。



生活支援体制整備

高齢になっても、地域の中で支えあい、自分らしく笑顔で元気に過ごせる地域づくりのお手伝いをしています。

地域包括支援センター

福祉総合相談窓口として、地域の皆様の身近な相談を受け付けています。  
 例えば… 介護で困っている…介護保険の申請方法やサービスについてご説明します。  
 ご近所さんが悩んでいる…代わりの相談も受け付けます。  
 介護予防について…健康づくりの講座を開催します。  
 他には… お金の管理や成年後見制度など様々なご相談に対応します。

令和元年度の取り組みの一部を紹介します！

マスコットキャラクターが誕生しました！

肌の色はハーモニーみどり入口の大きな桜の木をイメージしたピンク色

エナガは尾がとても長いのが特徴です

“ケアプラザの和” “地域の輪” “つながりの輪” で、ワンピースをぐるっと楽譜の柄にしました。



このたび中山地域ケアプラザのマスコットキャラクターが誕生しました！作成するにあたり、担当エリアの特徴を地域の皆さまに伺ったところ、「自然が豊か」「鳥が多い」「ハーモニーみどりの桜が印象的」「ケアプラザには子どもも大人も集まる」等々沢山の声をいただきました。

それを元に、担当エリア内にある横浜創英大学の学生さん、ボランティアの方と職員で意見交換を重ね、このエリアで多く見かけるエナガという可愛い鳥をモデルにしたキャラクターが誕生しました！そして、12月1日～25日まで、名前募集をしたところ、597件の応募がありました！その中から選ばれた名前は・・・

けあめろ です！



ベリーダンスで地域を巡ろう！

三保に新しくできた居場所 さんさんルーム 1号館、2号館と、地域活動ホームあおぞら、みどりの家の貸室の4ヶ所を巡りながらベリーダンスを楽しみました！どのお部屋も地域に開放されています！



なかやま元気スクール

男性限定で、介護予防を目的とした体操&調理の6回コースの講座を開催しました！

回を重ねるごとに仲間と打ち解けていったり、調理が楽しくなったりしていきました！最後の調理実習では魚を3枚におろしました！





## ● 地域包括支援センターふじ寿か園

介護保険法に定められた機関として、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護保険やその他のサービスを上手に利用するためのさまざまな支援を行っています。  
地域包括支援センター「ふじ寿か園」は、特別養護老人ホーム「ふじ寿か園」に設置されており、山下地区を担当しています。

### 地域包括支援センター

#### <1>地域の相談窓口

地域の皆様からの相談を受けて、必要なサービスや機関につなげています。

#### <2>介護予防支援

体操教室や介護保険の講座などを実施しています。

また、介護度が比較的軽い要支援1・2と認定された人を対象として、介護予防プランを作成します。

#### <3>権利擁護

悪質な訪問販売の被害や、高齢者の虐待防止、成年後見人などの相談を受けています。また、年1回程度、専門家による相談会を開催しています。

#### <4>地域と連携した活動

地域の民生委員、保健活動推進員の皆様や、介護保険事業者などとのネットワークづくりにより、きめ細やかなサービスを行っています。また、地域団体の活動支援を行っています。

### 事業の紹介

#### ■「山下ネットワークサロン」で介護予防講座、認知症サポーター養成講座など実施

「山下ネットワークサロン」は平成28年度緑区チャレンジ事業に採択され、4年がたちました。サロンの時間を借りて、介護予防講座、認知症サポーター養成講座、行政書士による相談会などを実地しました。サロンでは単なる茶話会ではなく、いろいろな情報が欲しいという声があり、サロン世話人、ボランティアの方々から相談を受け、講座に協力をしています。昨年同様に、口腔講座や健康チェックなどは保健活動推進員と協力して実施しています。また、Mr.クッキングに協力してもらい、冷やし中華をサロンに提供してもらいました。サロンをネットワーク化したことで、お互いに協力、交流が出来るようになりました。調整会議を通して情報の共有化をし、ネットワークが上手く機能していくように支援を行っています。

## 令和元年度の取り組みの一部を紹介します！

赤ちゃん教室の後に、もうすこしおしゃべりをしたいとの声からサロンに発展しました。毎週火曜日の午後に保健活動推進員、民生委員・児童委員の方々を中心にサロンを開催しています。新米ママさんの情報交換の場、子供達はおもちゃを通して交流をしています。



## ● 十日市場地域ケアプラザ

十日市場地域ケアプラザでは、新治西部地区と十日市場団地地区の2地区を担当しています。新治西部地区は、十日市場駅周辺に公共施設や商業施設が集中している一方で、農地や樹林地も多く残っています。十日市場団地地区は、市営住宅を中心とした地区で、丘陵地に計画的に整備されています。また、十日市場地域ケアプラザは、緑図書館と緑ほのぼの荘（老人福祉センター）が併設された複合施設の中にあります。地域の皆様や複合館内を含めた関係機関と連携し、地域課題を反映した事業を展開しています。

### 地域活動交流

地域の皆様が福祉保健活動の場として、

幅広くご利用いただける施設です

- ・福祉保健活動の場としてのお部屋の貸出し
- ・ボランティア活動のご紹介
- ・地域の活動団体のご紹介・ご協力
- ・地域の方へ向けたさまざまな事業の開催などを行っています



こどものいばしょ「こども村スペシャルデー」

### 地域包括支援センター

- ・地域の身近な介護と福祉の相談窓口です
- ・地域の介護予防と健康づくりをサポートします
- ・高齢者の生活（権利）を守ります
- ・地域に出向き、相談会や講座を開催します



男の備学（体を整える編）

### 生活支援体制整備

- ・高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるようお手伝いします
- ・いつまでも元気に暮らせるように介護予防などの活動を応援します
- ・趣味活動や地域活動への参加を応援します

## 令和元年度の取り組みの一部を紹介します！

### 【認知症サポーター養成講座】

地域ケア会議などで地域の方から認知症の方を見守るためには正しい知識を得たいという要望があり、今年度は新治西部連合自治会の各単位自治会員向けに認知症サポーター養成講座を行いました。

新治町、十日市場町、後谷自治会の定例会で、認知症について・認知症の方や家族の気持ち・接し方などをキャラバンメイト（講座を開催し講師役を務める方）がテキストを使用して分かりやすく説明しました。

認知症サポーター養成講座を受けた方は「認知症サポーター」となりますが、何か特別なことをするわけではありません。講座受講者の方からは、認知症の方への対応方法が分かった、見守ることの大切さを実感したなどの感想がありました。

今後ご希望があれば講座を開催したり、地域の方と協力して気になる方の見守り等を、行っていくことができると思います。

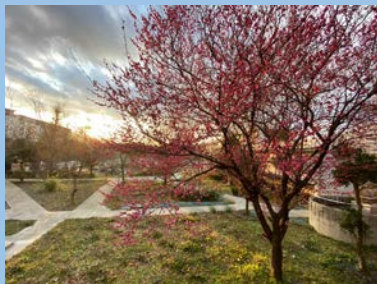


地域での認知症サポーター養成講座



## 霧が丘地域ケアプラザ

案内図 P.95



霧が丘地区は、昭和50年代に大規模開発が行われ、街路樹、歩行者専用道路、公園などが計画的に整備された、緑豊かな街です。

霧が丘地域ケアプラザのある「霧の里」は、学校跡施設として整備された複合施設で、コミュニティハウスや防犯防災センター、地域スポーツ広場、インド系インターナショナルスクールが併設されています。

霧が丘地域ケアプラザは誰もが住み慣れたまちで、安心して暮らせるよう、身近な福祉保健の拠点として様々な取り組みを行っています。

### 地域包括支援センター

介護や福祉に関することはもちろん、生活に関することなど様々な相談を無料でお受けします。まずは、お気軽にご相談ください。

- ・介護保険に関する相談や講座など
- ・介護（認知症）予防、健康づくりをサポート
- ・成年後見、虐待、消費者被害等について
- ・ケアラー支援

健康づくり事業や介護予防事業として、体操教室、健康チェック、協力医による医療相談（無料）を開催しています。

### 地域活動交流事業

地域の皆さまへ学習機会の提供や障害者・子育て支援などを行っています。また、地域の方が活躍できる機会の創設や、活動・交流の場の提供、地域のネットワークづくりも実施しています。

- ・講座について
- ・ボランティアに関すること
- ・子育てに関すること
- ・部屋の貸し出しについて

健康づくり事業として地域包括支援センターと協力しながら、様々な講座を開催しています。

### 生活支援体制整備事業

地域で行われているボランティア活動やサロン、その他趣味サークルなどの紹介や、活動団体の立ち上げ、継続のための相談や支援をしています。

- ・地域の福祉サービス、活動に関する情報収集
- ・地域で活動する団体の支援
- ・住民主体の地域づくりの推進を図る



もくもくひろば

## 令和元年度『霧が丘まちともプラン』の取り組み

### ◆霧が丘まちともプラン◆

「いきいきと暮らす」「仲間とつながる」「学んで備える」「安心して暮らす」をテーマに、介護予防・仲間づくり・ボランティア活動支援・生活支援体制整備事業に力を入れ、誰もが住みやすい霧が丘を目指します！

今年度は「きりともあかしあ元気づくりステーション」がスタートしました！

毎週第2・4金曜日(10:00~11:30)に、あかしあ多世代交流サロンにお出かけください！



地域の方、区役所、区社協、ケアプラザが構成した「MSO 研究部」は、今年度は「明日からのライフデザイン」「E(エンディング)ノート」に加え、「F(ファイナンシャル)ノート」を作成しました。メンバーによる各ノートの書き方講座を開催しました。今後さらにLIFE(ライフ)を充実させるためのL(リビング)、I(アイデンティティ)ノートを発行する予定です。



横浜市霧が丘地域ケアプラザ



● 長津田地域ケアプラザ

案内図 P95

長津田地区は、人口・世帯数とも緑区内最大の地区です。長津田駅周辺や長津田みなみ台の大規模開発などにより、人口増加が顕著で、若い世代が多いことも特徴です。

長津田地域ケアプラザは、長津田駅北口から 300m ほどの市営住宅スカイハイツ 1 階にあります。

地域の関係団体の皆様とともに「福祉の街・長津田」を実現するために、地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援体制整備・居宅介護支援（ケアマネジャー）・通所介護（デイサービス）の5部門が連携し、地区内各所の地域ニーズの把握や課題解決に向けた様々な事業を展開しています。

【地域活動交流】

地域活動の相談・情報提供の窓口です。乳児から高齢の方、障がいのある方等を対象とした事業の実施、福祉保健活動の会場貸出、ボランティア活動の支援等を行っています。

【地域包括支援センター】

3人の専門職（主任ケアマネジャー、保健師等、社会福祉士）が、次のような相談をお受けします。

介護保険に関すること	地域の福祉サービス情報
認知症に関すること	権利擁護について

【生活支援体制整備】

地域の関係者や企業・商店等と連携し、高齢の方の社会参加や介護予防につながる取り組みを行っています。

上記のほかに、居宅介護支援事業（自宅での介護支援）、通所介護（デイサービス）の2部門があり、所内全体で連携して業務を行っています。



子育てに関するアンケートを基に、ニーズに沿った「楽しい子育て講座」（全3回）を開催しました。



地域ケア会議を開催し、「どうしたら住み慣れた地域で暮らし続けられるか」について、検討しました。

地域と共催で、身近な場所でのコミュニティづくりに取り組みました。



令和元年度の取り組みの一部を紹介します！

1 「歌声サロン」について

歌うことを通じて、地域の高齢者の元気づくり、仲間づくりを目指し、4月に「歌声サロン」準備講座を、5月から「歌声サロン～音楽のたまてばこ」を開催しました。運営には様々なボランティアにご協力いただいています。演奏は長津田地区社協エンターテイメントグループが、準備運動等は「長津田げんき応援隊」が担っている他、茶話会の準備を中心となって進めてくれるボランティア等、それぞれの得意分野で活躍していることが特徴です。10月に横浜市元気づくりステーションとなり、毎回盛況の地域の「つどいの場」となっています。

「歌声サロン」では、歌やおしゃべりで盛り上がっています。



2 「長津田人材バンク」について

10月より、長津田地区の「地域の支えあい」を活性化させる仕組み「長津田人材バンク」を設置しました。これは、長津田地区にお住いで、特技や知識を「地域で活かしたい」という方に登録していただき、長津田地区内でその特技や知識を必要としている方々につなげるというものです。地域の方が、自身の持っている力を活かして広く地域で活躍する機会づくりとして、また、地域活動の活性化、新たなつながりづくりとなることを目指しており、徐々に登録者が増えています。

「長津田人材バンク」の周知を進めています



●区社会福祉協議会の主な取組

緑区社会福祉協議会では「区域計画」の推進について、区役所及び地域ケアプラザと共に、全地区での地域課題の解決に向け様々な取組を行っています。令和元年度の取組の一部を紹介します。

お散歩カフェの取組み

●縁側のような気軽な場を利用して、顔を合わせることから始める近所づきあい

散歩の途中に靴を脱がずに気軽に立ち寄れる、縁側をイメージした事業「お散歩カフェ」の取組を進めています。

通りがかりに休憩したり、飲み物を持ち寄っておしゃべりしたり、自由に過ごす憩いと交流の場として、地域住民の方が自宅の敷地を活用したり、自治会の取組みや企業の地域貢献活動の一環として運営されています。

のぼりが出ていたら開催日。「のぼり」はオリジナルを区社協で作成し、運営者・団体に貸し出しています。

今年度、「やってみたい」という地域の方や事業所の方から声があがり、現在5か所のお散歩カフェが運営されています。

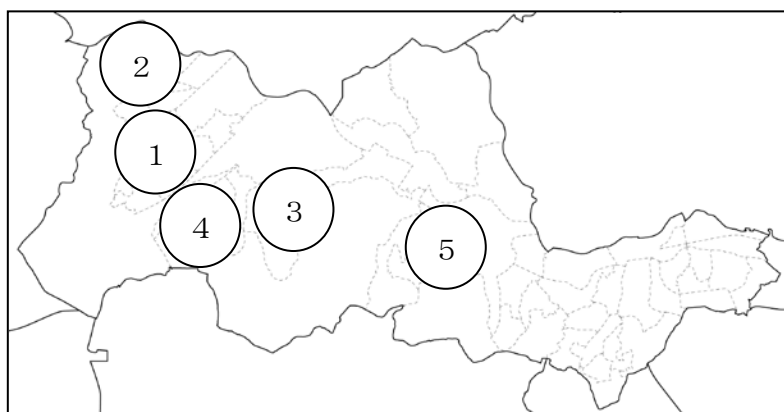
【次のような方・情報などを募集しています】

- 例) ●自宅の庭先・軒先やガレージ（または一部）等を貸して下さる方並びにもてなし役をして下さる方
- 敷地の隅や一角等を貸して下さる施設の方
- 店先の一角や一部を貸して下さる企業や事業所、商店などの方 …… など

おかげさまで現在5か所!

①	②	③	④	⑤
お散歩カフェ「ふらっと」	お散歩カフェ「絵のあるスポットみどり」	お散歩カフェ「グッデイ Good☆Day」	お散歩カフェ「ゆるり YURURI」	お散歩カフェ「輪和話 わわわ」
県営長津田団地	長津田3丁目	新治町	霧が丘6丁目	台村町
火・金	不定期	水	不定期	不定期

緑区内「お散歩カフェ」分布図



## 生活困窮者（世帯）等に向けた「食」を通じた生活支援

### ●フードドライブ（食品の寄付受付）～「もったいない」を「ありがとう」へ～

フードドライブとはまだ食べられるのに、いろいろな理由で処分されてしまう食品を集めて『たべもの』を必要としている人や団体に届ける活動です。最近、「食品ロス」という言葉も出てきて、関心が高まっています。緑区社協では、年に3回募集強化期間を設定し、広く緑区内で広く呼びかけをさせていただいたほか、募集強化期間以外でも随時受付をしたところ、約1年間で延べ100名近い方からご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

集まった食品は、この1年間でおよそ20件の個人・世帯とおよそ60件の団体にお渡し、活用をしていただきました。

### ●ペコペコ110番（食支援専用電話）の開設

フードドライブやセブンイレブンジャパン(株)等、企業からいただき集まった食品を、必要としている方や団体にお渡ししていますが、関係機関や相談者からの利用の問合せを受けるために、食支援専用電話「ペコペコ110番」を開設しました。まだまだ「ペコペコ110番」にかかってくる電話の件数は少ないですが、PRカードを作成し、区内地域ケアプラザの窓口等に置かせてもらい、周知に力をいれました。



## 緑区あんしんセンター

### ●円満相続講座 Part.1 と Part.2 を開催

緑区あんしんセンターは、高齢者や障害者の権利擁護に関する相談窓口です。

令和元年12月19日と令和2年1月22日の2回にわたり、一般区民を対象に正しい相続の知識の普及を目的とした講座を開催しました。講師は、区内で法務事務所を開設している司法書士に依頼し、1回目は、「争続」とならないための準備をテーマに、2回目は配偶者や子がない等将来の相続に不安がある方の必須対策を中心に講義が行われました。講義では、実際の相談場面の寸劇があり、想いを形にするためには正しい知識が必要であること、遺言作成が多くの人の場合、一番の相続対策になることを学びました。

両日とも講義終了後には参加者からの質問が相次ぎ、参加者の真剣さが伝わってくる講座となりました。緑区あんしんセンターでは、今後も権利擁護に関する知識の普及啓発、情報発信に取り組んでいきます。





## ●緑区役所の主な取組

緑区役所では、令和元年度緑区政運営方針において、「次世代につなぐ みんなにやさしいまち～「ふるさと みどり」」を基本目標とし、その達成に向けた施策として、「安全・安心なまち」、「いきいき暮らせるまち」、「みどりの魅力あふれるまち」の3つの柱を掲げました。第3期みどりのわ・ささえ愛プランについても、区政運営方針に位置づけて進めています。今年度の主な新規事業を中心に実施状況を紹介します。

### 1 安全・安心なまち

#### (1) 災害に強いまちづくり

地域防災拠点運営委員会等において避難所開設に係る図上訓練（HUG 訓練）を実施しました（5回）。訓練を通して、災害時要援護者に配慮をしながら生活空間の配分を考え、部屋割りから仮設トイレの配置、炊き出しの場所などを設定していくことについて、参加者が議論や話し合いを行う中で、ゲーム感覚で避難所運営を学びました。

#### (2) 安全・安心な環境づくり

通学路の安全対策について、区内の16小学校においてスクールゾーン対策協議会を実施しました。また、令和元年5月に滋賀県大津市で発生した交通事故を受けて、本市では、保育園児等の散歩コースについて緊急点検を実施しました。今後、点検結果を踏まえて対応を進めていく予定です。

#### (3) 暮らしの衛生の推進

災害時のペットとの同行避難について、飼い主向けペット防災啓発講演会（6月）の開催や地域防災拠点運営訓練での啓発を行いました。引き続き、同行避難の重要性を伝える機会をもっていきます。

### 2 いきいき暮らせるまち

#### (1) 第3期「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進

区制50周年記念事業として、シンガーソングライターの大島花子さんをお招きし、「緑区地域福祉保健計画 みどりのわ・ささえ愛プラン特別講演会」を開催しました。家族の絆や人と人のつながりの大切さ、命の貴さ、そして、次世代に伝え残していくことをテーマに、長年地域福祉に携わってきた方への感謝の意を表すとともに、これからの「緑区の福祉」を担う方々の心に響く講演会になりました。



#### (2) 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援

過年度から引き続き、関係機関・団体とのネットワークの活性化を図る「みどり子育て支援連絡会」（2回）、児童虐待防止に向けた要保護児童対策地域協議会の実務者会議（1回）、地区別連絡会（1回×4地区）を開催するとともに、区内の区民利用施設等にご協力いただき「赤ちゃんの駅」を追加指定（19か所追加）するなど、地域全体で子育てを見守り支える環境づくりを進めました。

#### (3) 地域における青少年の育成（子どもたちの地域社会への参画と体験の場づくり）

緑区制50周年に関連して区内小中学校の代表児童・生徒による「夢みどりリーダー会議」において、昨年度子どもたちが魅力的に思う地域のスポットについてマップを作成しました。今年度はそのスポットに50周年記念プレートを設置しました。プレートは児童・生徒が考えた未来の緑区へのメッセージをいれて作成しました。



#### (4) 高齢者・障害者施策の推進

地域包括ケアシステムの構築の検討・推進として、医療機関や介護事業所等に従事する人材の育成を目的に、多職種4連絡会主催合同研修（「看護職・セラピスト・ケアマネジャー・介護職のためのアンガーマネジメント」）の後方支援、ケアマネジャー向け介護予防スキルアップ研修、在宅におけるチーム医療を担う人材

育成研修（「専門職相互の視点から在宅療養を支えるための連携を考える」）などを実施し、参加者のスキルアップや顔の見える関係の構築を推進しました。

介護予防活動について、今年度は、新たに6か所の元気づくりステーション（東本郷、山下、十日市場団地、霧が丘、長津田地区）が立ち上がりました。

元気づくりステーション Mr.クッキング（山下地区）▶



### (5) 生涯にわたる健康づくりの推進

地域における生活習慣病予防の取組として、子育て支援拠点や子育てサロン・サークル等で健康チェック等啓発事業を実施し、区役所開催の事業には参加しづらい若年層にも啓発を行うことができました。

また、「食」を通じた健康づくりを推進するために、食育月間（6月）にあわせたイベント（講演会開催等）を行いました。また、「食育 SAT システム」を活用した体験型食育講座を小中学校で実施したり、乳幼児健診実施日にあわせて実施するなど、若年層へのアプローチを進めました。

### (6) 暮らしのなかのセーフティネット

民生委員・児童委員によるひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業の対象者について、従来の75歳以上のひとり暮らし高齢者に新規になられた方に加えて、75歳以上の高齢者のみで構成される世帯も対象となり、地域での見守り活動が進められています。また、令和元年12月1日付で民生委員・児童委員及び主任児童委員の改選も行われ、新たな任期がスタートしました。新任の委員に対しては研修会を開催し、区及び区社協の事業説明を実施しました。

## 3 みどりの魅力あふれるまち

### (1) 区制50周年プロジェクト

緑区は令和元年10月に区制50周年を迎えました。実行委員会主催の記念事業として、「子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori」、記念式典、的川泰宜 JAXA 名誉教授の講演会、緑区民まつり、「わらアート」イベントを実施しました。また、平成31年1月から引き続き、緑区今昔写真展の開催や、出生や婚姻の届出時のお祝いメッセージカードを配布する他、「みどりのわ・ささえ愛プラン」特別講演会、区制50周年記念中学生合唱団コンサート、小中学生による壁画作成、区民の皆様との街路樹植樹、小学生デザインのマンホールの設置等を行い、緑区制50周年を区民の皆様と一緒にお祝いしました。



◀ わらアート

デザインマンホール（新治小学校）▶



### (2) スポーツを通じた地域づくり

スポーツ推進委員や緑区体育協会の活動支援を行いました。また、両団体等の協力も得ながら、様々なスポーツイベントを開催し、特にラグビーワールドカップ2019の開催に向けては、元日本代表選手の平尾剛氏を招いたイベント開催や中山商店街が作成した大会PRフラッグの掲出支援を行いました。そして、「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催に向けては、競技種目の一つであるフェンシングの体験会やオリンピックの開催理念啓発のため人権啓発講演会を開催しました。

### (3) 環境行動の推進

外国籍住民に対してごみの分別啓発を行うため、過年度から引き続き、霧が丘地区で地域団体、事業者と連携し、外国籍住民向けの説明会を開催しました。

### (4) 地域力の推進と市民活動の支援

地域活動に携わる人材の「発掘」「育成」を目的とした講座「みどり「ひと・まち」スクール」を開催し、地域活動に関心のある区民を対象に地域課題解決に向けた「夢プラン」（具体的な活動プラン）を作成しました。



## 緑区内の土地域ケアプラザ・地域包括支援センター

誰もが住み慣れたまちで、安心して暮らせる地域をつかっていくための拠点として、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉・保健サービスを身近な場所で総合的に提供する施設です。



### ★東本郷地域ケアプラザ

〒226-0002 緑区東本郷5-5-6  
☎045-471-0661 FAX045-471-0678



**アクセス**  
鴨居駅(JR)からバスで。「東本郷地域ケアプラザ前」「東本郷町」「泉谷寺団地前」バス停下車。

### ★十日市場地域ケアプラザ

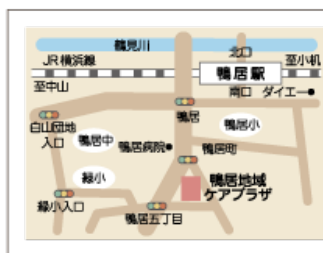
〒226-0025 緑区十日市場町825-1  
☎045-985-6321 FAX045-985-6325



**アクセス**  
十日市場駅(JR)から徒歩3分

### ★鴨居地域ケアプラザ

〒226-0003 緑区鴨居5-29-8  
☎045-930-1122 FAX045-931-2203



**アクセス**  
鴨居駅(JR)から  
●バスで。「鴨居町」バス停下車。  
●徒歩で約10分

### ★霧が丘地域ケアプラザ

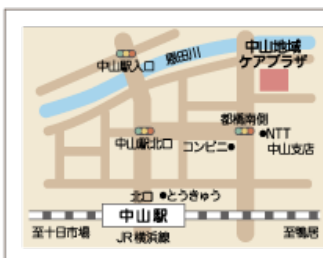
〒226-0016 緑区霧が丘3-23  
☎045-920-0666 FAX045-922-6611



**アクセス**  
十日市場駅(JR)からバスで。「中丸入口」「萱場公園入口」バス停下車。

### ★中山地域ケアプラザ

〒226-0019 緑区中山 2-1-1 (ハーモニーみどり内)  
☎045-935-5694 FAX045-935-5695



**アクセス**  
中山駅(JR・市営地下鉄)から徒歩7分

### ★長津田地域ケアプラザ

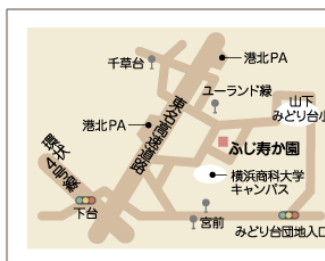
〒226-0027 緑区長津田2-11-2  
☎045-981-7755 FAX045-981-7575



**アクセス**  
長津田駅(JR・東急)北口から徒歩5分

### ★地域包括支援センターふじ寿が園

〒226-0024 緑区西八朔町773-2  
☎045-931-1187 FAX045-931-3990



**アクセス**  
中山駅(JR・市営地下鉄)からバスで。「宮前」バス停下車、徒歩10分

<編集・発行>

横浜市緑区福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当

〒226-0013 横浜市緑区寺山町 118

電話 045-930-2304 FAX 045-930-2355

電子メール md-fukuhoplan@city.yokohama.jp

社会福祉法人 横浜市緑区社会福祉協議会

〒226-0019 横浜市緑区中山 2-1-1 (ハーモニーみどり内)

電話 045-931-2478 FAX 045-934-4355

電子メール info@midori-shakyo.jp

Web <http://www.midori-shakyo.jp/>





プランの詳細は、ホームページをご覧ください。

[みどりのわ・ささえ愛プラン](#)

検索

第3期 緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」

令和元年度 推進状況報告書

<2020[令和2]年3月発行>



みどりのわ・ささえ愛プラン